

## 第4章 学部教育(保健福祉学部)



## 第4章 学部教育(保健福祉学部)

### 本学部の学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

保健福祉学部は、地域や国際社会における人々の健康維持と増進に積極的に貢献できる看護、栄養、福祉、教育に関する幅広い知識と技術を修得し、専門分野に関する課題を科学的、論理的思考や分析に基づいて主体的に解決する能力を備え、高い倫理観と豊かな人間性にあふれ、さらに多様な人々と協働して社会の変化やグローバル化に柔軟に対応できる力とコミュニケーション能力を有する人材の育成を目指しています。

卒業要件を満たすことにより、次の能力や態度・意欲を身に付けた者に学位を授与します。

#### A. 【人間・社会・自然の理解】

人文科学、社会科学、自然科学、健康科学の知識を通して、人間・社会・自然を理解する力を身に付けている。

#### B. 【倫理観】

高度専門職業人として必要な倫理観と豊かな人間性を身に付けている。

#### C. 【専門的知識・技能】【論理的思考力・判断力・実践力】

保健、医療、福祉、教育関連分野の幅広い知識及び技能を修得し、これらを科学的、論理的思考に基づいて統合的に活用することにより、社会に貢献できる判断力、実践力を身に付けている。

#### D. 【課題発見・解決力】【主体性】

各専門分野において課題を発見し、主体的に解決できる能力を身に付けている。

#### E. 【コミュニケーション力】

社会の変化やグローバル化に柔軟に対応するための外国語を含めたコミュニケーション能力を身に付けている。

#### F. 【多様な人々と協働する力】

保健、医療、福祉、教育関連分野で貢献するために自他の役割を理解し、多様な人々と協調・協働して課題を解決する力を身に付けている。

### 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

#### 【基本方針】

保健福祉学部では、学位授与の方針に掲げる人材を育成するため、4年間で系統的に修得した看護、栄養、福祉、教育に関する広範囲な分野の専門的知識を基礎として、専門分野に関する課題を科学的、論理的思考や分析に基づいて主体的に解決できる能力や多様な人々と協働して地域やグローバル社会に柔軟に対応できる力とコミュニケーション能力を発揮し、自身の専門的活動に活かすことができるよう、体系的な教育課程を以下のように編成しています。

### 【共通教育科目】

共通教育科目では、看護、栄養、福祉、教育関連分野の専門職として求められる知的実践的自律性を培うため、教養教育の導入、理論、実践を網羅する科目群を編成しています。

#### 【修学基礎力】

高校の学びから大学での学びへの転換と準備のための初年次教育ならびに各学科の専門性への学びを促す修学基礎科目群

#### 【人間・社会・自然の理解】

人間や社会及び文化について考えるため、普遍的な理論や知識を修得し、人間理解を深めるとともに、社会の仕組みや歴史を修得し、そのあり方を問う論理的思考力や課題発見力を養う人文・社会科学科目群

自然現象やそれに関わる発見から普遍的な真理を探究することを通じ、論理的思考力や課題発見力などを身に付ける、自然科学科目群

心身の健康に関する理論や知識を修得し生活する上で適切な判断を導く思考力を養うとともに、生涯にわたり健全な社会生活を送るための技能を修得する健康科学科目群

以上の学問分野において、主体的に課題を設定し、調査、考察、発表、討論を経て最終的な解決に取り組む複合 PBL 科目群

#### 【コミュニケーション力】

グローバル化する国内外の地域で活躍するために必要な語学力を育成する語学国際科目群、相互対話によって主体的に問題に取り組み自らの見解を他者に合理的に発信できる複合 PBL 科目群

#### 【多様な人々と協働する力】

豊かな人間性をもって地域で活躍するために必要な課題発見力と多様な人々との協働性を養成する社会連携科目群

### 【学部教育科目】

学部教育科目では、全学科に共通する保健福祉学関連の基盤技術を教授し、保健、医療、福祉、教育の分野で総合的に貢献するために必要な理論や、これを活用するための技能を涵養する科目を体系的に編成しています。

すなわち、保健、医療、福祉、教育の分野で課題解決に必要とされる多様な基礎知識と、論理的思考に基づいてそれらを活用できる実践力を養成するため、さらに高度専門職業人として必要な倫理観を身に付けるために、各学科において基礎から専門にかけて講義科目を体系的に配置するとともに、豊富な演習・実験・実習科目を設置しています。さらに、各専門分野における技術課題の発見や解決に導くため、主体的に立案し遂行する能力を養うために卒業研究を設置しています。

### 【教職教育科目】

教職教育科目では、教職課程を設置している栄養学科及び子ども学科において、教育力を身に付けるために、教科、教職に関する科目や教育実習、教職実践演習を設置しています。

## 1. 看護学科

### 1.1 本学科の学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

看護学科は、健康で豊かなその人らしい人生の実現を支援するための専門知識・技術と倫理観ならびに豊かなコミュニケーション能力を育み、地域におけるあらゆる健康レベルの人々の生涯を通じた健康を支援し、岡山県から広く地域社会及び国際社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

卒業要件を満たすことにより、次の能力や態度・意欲を身に付けた者に学位を授与します。

- A. 【人間・社会・自然の理解】人文科学、社会科学、自然科学、健康科学の知識を通して、人間・社会・自然を理解する力を身に付けている。
- B. 【倫理観】看護専門職としてのアイデンティティを形成し、専門職業人として必要な倫理観と豊かな人間性を身に付けている。
- C-1. 【専門的知識・技能1】看護学の専門職として、幅広く社会に貢献するために必要な基礎的知識と技能を身に付けている。
- C-2. 【専門的知識・技能2】人体の構造と機能・疾病の成立ち及び健康との相互関係を科学的に理解し看護学的課題を明らかにするために必要な専門的知識と技術力、判断力を身に付けている。
- D. 【論理的思考力・判断力・実践力】看護の実践・教育・研究領域において、課題を発見・解決する能力、看護専門分野の知識・技術を基盤に、対象者の多様なニーズを判断し、対応できる実践的な能力を身に付けている。
- E. 【課題発見・解決力】【主体性】看護学において課題を発見し、主体的に解決できる能力を身に付けている。
- F. 【コミュニケーション力】社会の変化やグローバル化に柔軟に対応し、ヒューマンケアリングを実践するためのコミュニケーション能力を身に付けている。
- G. 【多様な人々と協働する力】保健、医療、福祉、教育関連分野で貢献するための課題解決に必要な自己管理能力及びマネジメント力や、自他の役割を理解し、多様な人々と協調・協働して課題を解決する力を身に付けている。

### 1.2 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

看護学科では、学位授与の方針に掲げる人材を育成するため、4年間で系統的に修得した看護学に関する広範囲な分野の専門的知識を基礎として、高い倫理観と豊かな教養やグローバルな視点を持ち、多職種と協働しながら看護学の専門的活動ができるよう、体系的な教育課程を以下のように編成しています。

【共通教育科目】共通教育科目では、看護職として求められる知的実践的自律性を培うため、教養教育の導入、理論、実践を網羅する科目群を編成しています。

【修学基礎力】高校の学びから大学での学びへの転換と準備のための初年次教育ならびに看護学の専門性への学びを促す修学基礎科目群

【人間・社会・自然の理解】人間や社会及び文化について考えるため、普遍的な理論や知識を修得し、人間理解を深めるとともに、社会の仕組みや歴史を修得し、そのあり方を問う論理的思考力や課題発見力を養う人文・社会科学科目群

自然現象やそれに関わる発見から普遍的な真理を探究することを通じ、論理的思考力や課題発見力などを身に付ける自然科学科目群

心身の健康に関する理論や知識を修得し、生活する上で適切な判断を導く思考力を養うとともに、生涯にわたり健全な社会生活を送るための技能を修得する健康科学科目群

以上の学問分野において、主体的に課題を設定し、調査、考察、発表、討論を経て最終的な解決に取り組む複合 PBL 科目群

【コミュニケーション力】グローバル化する国内外の地域で活躍するために必要な語学力を育成する語学国際科目群、相互対話によって主体的に問題に取り組み自らの見解を他者に合理的に発信できる複合 PBL 科目群

【多様な人々と協働する力】豊かな人間性をもって地域で活躍するために必要な課題発見力と多様な人々との協働性を養成する社会連携科目群

【学部教育科目】学部教育科目では、対象に寄り添うことができる看護専門職として必要な看護学に関する広範囲な専門的知識とヒューマンケアリングが実践できる能力を育成する科目群で編成しています。

【専門的知識・技能1】看護学の専門職として、幅広く社会に貢献するために必要な基礎的知識と技能を養成する「人間と生活」並びに「健康支援と社会制度」の科目群

【専門的知識・技能2】人体の構造と機能・疾病の成立ちと健康の相互関係を科学的に理解し、看護学的課題を明らかにするために必要な専門的知識と技術力を養成する「人体のしくみと病態」の科目群

【論理的思考力・判断力・実践力】専門基礎科目群に立脚し、個人や集団が抱える看護課題を解決するために、論理的思考力、判断力に基づき、看護学に関する専門的知識を活用し、応用力を身に付ける「基礎看護学」の科目群、および修得した専門的知識を活用し、看護課題を解決するための対処方法が実践できるための技術を身に付ける「成人看護学、精神看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学」の科目群

【倫理観】修得した知識と技術を統合して、高度専門職業人として必要な豊かな人間性と倫理観を持つとともに、実際に対象の看護課題を抽出し、応用力を身に付ける「統合と実践」の科目群

【課題発見・解決力】【主体性】系統的に修得した看護学に関する広範囲な分野の専門的知識を基礎として、発見した看護課題を解決に導くため、深い知識を獲得し、看護倫理を遵守した計画を主体的に立案し遂行する能力を養う卒業研究

## 教育課程の編成

教育方針を達成するために下表に示すような教育課程を編成している。

	カテゴリー	概 要
専門基礎分野	人体のしくみと病態	医学領域の科目群及び微生物学・生化学等の科目により人体のしくみ、主要疾患の病態生理、症状、診断、治療、予後について学ぶ。
	人間と生活	看護の対象である人間及び家族、生活環境等について看護の視点で学ぶ。またヒューマンケアリングの実践のための基本概念と方法論を修得する。
	健康支援と社会制度	健康の保持増進、疾病予防について公衆衛生や健康教育の視点から理論や方法論を学ぶ。またそれらに関連する法制度・行財政、社会福祉サービスについても学ぶ。
専門分野	基礎看護学	看護は実践の科学であり、あらゆる年代、様々な健康段階の個人、家族、集団や地域社会を生活者の視点を重視して支援する専門職である。基礎看護学ではあらゆる看護に共通となる基礎理論と方法論を修得する。
	成人看護学	成人期にある人々とその健康現象に焦点を当て、成人各期の発達段階の特性からくる保健課題と健康問題解決の理論・方法論を修得する。特に急性期では、急性期・周手術期における看護の知識と方法を学び、臨地実習で実践能力を培う。慢性期看護では、慢性疾患を自ら管理(セルフケア)していく上での健康学習支援の基礎的実践能力を培い、臨地実習で実践展開する。
	精神看護学	人間の精神の発達・成熟の仕組みに焦点を当て、発達のプロセスにおける危機と対処の理論・方法を修得すると共に、精神発達上の問題解決の理論・方法論を修得する。また、臨地実習では精神の病気や障害をもつ人との関わりを通して、精神看護の臨床における基礎的実践能力を修得する。
	老年看護学	人間にとっての「古い」の意味を考え、老年期の発達課題、老化過程の理論を修得すると共に、老年期における健康問題の特質、医療・保健・福祉対策の動向とその実際を学ぶ。また、臨地実習を通して、施設や在宅での高齢者看護・介護の実際を学ぶ。
	小児看護学	小児期の対象を成長・発達の様相から理解し、小児の健康を守り、健全育成に必要な知識・技術を修得すると共に、健康に障害を持った小児とその家族について問題解決の理論と方法を学ぶ。また臨地実習においては健康な子どもと、健康障害を持つ子どもとその家族との関わりを通して基礎的な実践能力を修得する。
	母性看護学	女性の一生をリプロダクティブヘルス/ライツの視点から捉え、様々な課題に対する母性看護の基礎的能力を養うと共に、妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期における母性看護の理論と方法を学ぶ。臨地実習では、周産期を中心に基礎的な看護実践能力を修得する。
	統合と実践	変化する社会や環境・国際化に対応した看護活動ができるための基礎的知識と方法論を学ぶと共に、地域で生活している様々な人々の健康や QOL 向上に寄与する看護活動を展開するための固有の理論・方法論を学ぶ。また、各領域で修得した専門知識や技術を統合し、チーム医療が行われている臨床現場で、専門職として看護をマネジメントするための基礎的実践力を修得する。卒業研究では、各自が選択した看護のテーマについて、研究計画を立て、データ収集、解析、解釈・考察を通して卒業論文としてまとめる。統合実習では、看護政策・マネジメントに繋がるテーマを設定し、それを達成するための方法を検討、実践し、看護の視野を拡大する。
	助産学	助産師に必要な助産診断、助産技術の基本概念と意義を理解し、妊婦・産婦・褥婦と新生児に対する健康診査の方法とケア、ならびに正常な分娩介助技術と助産管理の基本概念を修得する。臨地実習では、継続受け持ち事例や正常分娩介助を通して助産診断・技術・助産管理能力を養う。

### 1.3 卒業要件と履修方法

#### (1) 卒業要件

卒業資格を得るためには共通教育科目と学部教育科目のカリキュラム表にしたがって、下表に示す卒業要件単位数を修得しなければならない。

	必修科目	選択科目	計
共通教育科目	21 単位	6 単位	27 単位
学部教育科目	100 単位	5 単位	105 単位
計	121 単位	11 単位	132 単位

#### (2) 臨地実習の履修要件

3、4年次に開講する臨地実習は、「看護学基礎論Ⅰ～Ⅱ」、「看護学方法論Ⅰ～Ⅵ」、「基礎看護学実習Ⅰ～Ⅱ」を履修し、単位を修得しておかなければ履修できない。なお、授業科目毎の要件がシラバスの「履修上の注意」に詳細に書いてあるので留意すること。

#### (3) 卒業研究の履修要件

3年次後期から必修科目として「卒業研究」を課している。卒業研究は、次の条件を充足しなければ、履修できない。なお、3年次前期に学科が行う卒業研究に関する履修指導に留意すること。

卒業研究の履修要件	
共通教育科目	必修科目 21 単位修得
学部教育科目	3年前期までに修得すべき必修科目のうち 72 単位以上修得
計	93 単位以上

#### (4) 他学部・他学科開講科目の取り扱い

卒業要件単位として認定しない。

### 1.4 資格の取得

(1) 看護師国家試験受験資格は、卒業時に取得できる。

(2) 助産師国家試験受験資格は、次の選択科目の単位を全て修得することにより卒業時に取得できる。(女子のみ)

①人文・社会科学セミナーD ②生殖の科学 ③女性のライフサイクルと助産 ④助産診断・技術学Ⅰ

⑤助産診断・技術学Ⅱ ⑥助産診断・技術学Ⅲ ⑦助産管理 ⑧助産学実習Ⅰ

⑨助産学実習Ⅱ

なお、助産師国家試験受験資格取得に必要な「助産学実習Ⅰ～Ⅱ」の履修可能定員は 4 名程度であり、2年次に希望者の中から選考により決定する。この選考により履修を認められた者を助産師課程履修者と呼ぶ。



### 1.5 授業科目(令和3年度)

授業科目の名称		授業の方法	担当教員	開講年次及び必修選択の別				開講時間数	開講単位数	卒業要件単位数
				1	2	3	4			
専門基礎分野	人体のしくみと病態	生化学	講義	川上(祐)	◎				30	2
		微生物学	演習	田中	◎				30	1
		解剖生理学 I	演習	荻野	◎				45	2
		解剖生理学 II	講義	荻野	◎				30	2
		運動生理学	講義	※坂本	○				30	2
		病理学	講義	荻野	◎				30	2
		薬理学	講義	高橋(吉)		◎			30	2
		生殖の科学	講義	※羽原		△			15	1
		臨床病態学 I	講義	高橋(徹)		◎			30	2
		臨床病態学 II	演習	高橋(徹)		◎			30	1
		臨床病態学 III	演習	高橋(徹)・※富岡		◎			30	1
		臨床病態学 IV	演習	高橋(徹) 他			◎		30	1
救急医学	講義	高橋(徹)・犬飼			◎		15	1		
人間と生活	栄養学総論	講義	山下(広)	○				30	2	
	人間発達学	講義	沖本		○			30	2	
	家族看護学	講義	岡崎	◎				15	1	
	ヒューマンケアリング論	演習	實金			◎		30	1	
健康支援と社会制度	医学概論	講義	高橋(徹)	◎				15	1	
	看護の世界	講義	森本	◎				15	1	
	リハビリテーション概論	講義	※森村		○			30	2	
	健康教育論	講義	住吉		◎			15	1	
	公衆衛生学	講義	※二宮		◎			30	2	
	疫学	講義	井上(幸)		◎			30	2	
	保健統計学	演習	※石岡		◎			30	1	
	社会福祉概論	講義	坂野	○				30	2	
	看護関係法規	講義	沖本		◎			15	1	
社会保障論	講義	岩満		◎			15	1		
専門分野	基礎看護学	看護学概論	講義	森本	◎				15	1
		看護学基礎論 I	講義	森本	◎				15	1
		看護学基礎論 II	演習	森本		◎			30	1
		看護学方法論 I	演習	佐藤(美)・高林	◎				30	1
		看護学方法論 II	演習	佐藤(美)・高林	◎				45	2
		看護学方法論 III	演習	佐藤(美)・高林	◎				45	2
		看護学方法論 IV	演習	佐々木(新)・高林	◎				30	1
		看護学方法論 V	演習	佐々木(新)・高林		◎			30	1
		看護学方法論 VI	演習	佐々木(新)・高林		◎			45	2
		基礎看護学実習 I	実習	佐藤(美)・森本 他	◎				45	1
	基礎看護学実習 II	実習	佐々木(新)・森本 他		◎			90	2	
	成人看護学	成人看護学 I	講義	住吉・名越		◎			30	2
		成人看護学 II	演習	名越・犬飼(智)			◎		45	2
		成人看護学 III	演習	住吉・未定			◎		30	1
		成人看護学 IV	講義	住吉・未定			◎		15	1
		成人看護学実習 I	実習	名越・犬飼(智)			◎	◎	135	3
		成人看護学実習 II	実習	住吉・未定			◎	◎	135	3
	精神看護学	精神看護学 I	講義	井上(幸)		◎			30	2
精神看護学 II		演習	井上(幸)・岩本			◎		45	2	
精神看護学実習		実習	井上(幸)・岩本			◎	◎	90	2	
老年看護学	老年看護学 I	講義	實金		◎			30	2	
	老年看護学 II	演習	實金・井上(か)		◎			45	2	
	老年看護学実習	実習	實金・井上(か)			◎	◎	135	3	

105 単 位

授業科目の名称		授業の方法	担当教員	開講年次及び 必修選択の別				開講 時間数	開講 単位数	卒業要件 単位数	
				1	2	3	4				
専 門 分 野	看護学 小児	小児看護学Ⅰ	講義	沖本・網野		◎			30	2	105 単 位
		小児看護学Ⅱ	演習	沖本・網野			◎		45	2	
		小児看護学実習	実習	沖本・網野			◎	◎	135	3	
	看護学 母性	母性看護学Ⅰ	講義	池田(理)		◎			30	2	
		母性看護学Ⅱ	演習	池田(理)・川下		◎			45	2	
		母性看護学実習	実習	池田(理)・川下			◎	◎	90	2	
	統合と実践	地域看護学概論	講義	森永	◎				30	2	
		在宅看護学	演習	※栗本・岩本			◎		45	2	
		国際保健看護論	講義	池田(理)	◎				15	1	
		看護技術実験演習	演習	佐々木(新)		○			30	1	
		チームガバナンス演習	演習	中村(光)・住吉・岡崎・高林			○		30	1	
		地域保健福祉演習	演習	坂野・久保田・住吉 他			○		30	1	
		フードビジネス学	講義	伊東 他			○		30	2	
		未来型プロジェクト<食>	演習	伊東 他				○	120	4	
		災害看護論	講義	森本・住吉・高橋(徹)・森永			○		15	1	
		がん看護学	講義	名越		◎			15	1	
		看護倫理学	講義	森本			◎		15	1	
		看護アセスメント学	演習	名越 他			◎		30	1	
		看護政策・マネジメント論	演習	森永・未定 他			◎		30	1	
		看護研究	演習	森本			◎		30	1	
		臨床アセスメント学	講義	高橋(徹)				○	15	1	
		看護教育	講義	佐藤(美)				○	30	2	
		卒業研究	演習	学科教員			◎	◎	120	4	
	助産学	在宅看護学実習	実習	森永・岩本				◎	90	2	
		統合実習	実習	森永 他				◎	90	2	
		海外研修(保健福祉学)	演習	関根、朴(貞)、沖本、名越、池田(理)、井上(幸)、川上、近藤(理)、坂野、原野、岩満、佐々木(新)	○				30	1	
	助産学	助産診断・技術学Ⅰ	講義	岡崎 他		△			30	2	
助産診断・技術学Ⅱ		演習	岡崎・川下			△		45	2		
助産診断・技術学Ⅲ		講義	池田(理)・岡崎			△		15	1		
女性のライフサイクルと助産		講義	岡崎		△			15	1		
助産管理		講義	岡崎			△		15	1		
助産学実習Ⅰ		実習	岡崎・川下				△	90	2		
助産学実習Ⅱ		実習	岡崎・池田(理)・川下				△	225	5		

注 ・「◎」印は必修科目 「○」印は選択科目 「△」印は助産必修科目  
・「※」印は非常勤講師

学部教育科目の卒業要件単位数105単位  
卒業要件単位数132単位(共通教育科目の卒業要件27単位を含む)

# 1. 6科目ナンバリング

授業科目の名称		科目ナンバリング	分野1(略称と英語名称)		分野2(略称と英語名称)		
			略称	英語名称	略称	英語名称	
専門基礎分野	人体の仕組みと病態	生化学	BAM_BOC-A1-1R-L1	BAM	Basic Medicine	BOC	Biochemistry
		微生物学	BAM_MBO-A1-1R-S1		(専門基礎分野)	MBO	Microbiology
		解剖生理学 I	BAM_AP1-A1-1R-S1			AP1	Anatomy and Physiology I
		解剖生理学 II	BAM_AP2-A1-1R-L1			AP2	Anatomy and Physiology II
		運動生理学	BAM_EPO-A1-1E-L1			EPO	Exercise Physiology
		病理学	BAM_PAT-A1-1R-L1			PAT	Pathology
		薬理学	BAM_PHL-A1-2R-L1			PHL	Pharmacology
		生殖の科学	BAM_IHR-A1-2E-L1			IHR	Introduction to Human Reproduction
		臨床病態学 I	BAM_CP1-A1-2R-L1			CP1	Clinical Pathology I
		臨床病態学 II	BAM_CP2-A1-2R-S1			CP2	Clinical Pathology II
		臨床病態学 III	BAM_CP3-A1-2R-S1			CP3	Clinical Pathology III
		臨床病態学 IV	BAM_CP4-A1-3R-S1			CP4	Clinical Pathology IV
		救急医学	BAM_EME-A1-3R-L1			EME	Emergency Medicine
		人間と生活	栄養学総論	IND_FNS-A1-1E-L1	IND	Interdisciplinary	FNS
	人間発達学		IND_HUD-A1-2E-L1		(学際的)	HUD	Human Development
	家族看護学		IND_FAN-A1-1R-L1			FAN	Family Nursing
	ヒューマンケアリング論		IND_HUC-A1-3R-S1			HUC	Human Caring
	健康支援と社会制度	医学概論	IND_IME-A1-1R-L1			IME	Introduction to Medicine
		看護の世界	IND_WNU-A1-1R-L1			WNU	World of Nursing
		リハビリテーション概論	IND_IRH-A1-2E-L1			IRH	Introduction to Rehabilitation
		健康教育論	IND_HPE-A1-2R-L1			HPE	Health Education & Patient Education
		公衆衛生学	IND_PUH-A1-2R-L1			PUH	Public Health
		疫学	IND_EPI-A1-2R-L1			EPI	Epidemiology
		保健統計学	IND_SHS-A1-2R-S1			SHS	Statistics for Health Sciences
		社会福祉概論	IND_ISW-A1-1E-L1			ISW	Introduction to Social Welfare
看護関係法規		IND_NRL-A1-2R-L1			NRL	Nursing-related Laws and regulations	
社会保障論		IND_SSU-A1-2R-L1			SSU	Social Security	
基礎看護学		看護学概論	FUN_INU-A1-1R-L1	FUN	Fundamental Nursing	INU	Introduction to Nursing
	看護学基礎論 I	FUN_NU1-A1-1R-L1		(基礎看護学)	NU1	Nursing Theory I	
	看護学基礎論 II	FUN_NU2-A1-2R-S1			NU2	Nursing Theory II	
	看護学方法論 I	FUN_NU1-A1-1R-S1			NU1	Nursing Methodology I	
	看護学方法論 II	FUN_NU2-A1-1R-S1			NU2	Nursing Methodology II	
	看護学方法論 III	FUN_NU3-A1-1R-S1			NU3	Nursing Methodology III	
	看護学方法論 IV	FUN_NU4-A1-1R-S1			NU4	Nursing Methodology IV	
	看護学方法論 V	FUN_NU5-A1-2R-S1			NU5	Nursing Methodology V	
	看護学方法論 VI	FUN_NU6-A1-2R-S1			NU6	Nursing Methodology VI	
	基礎看護学実習 I	FUN_BN1-A1-1R-S1			BN1	Basic Nursing Practice I	
	基礎看護学実習 II	FUN_BN2-A1-2R-S1			BN2	Basic Nursing Practice II	
	成人看護学	成人看護学 I	CLN_AH1-A1-2R-L1	CLN	Clinical Nursing	AH1	Adult Health Nursing I
		成人看護学 II	CLN_AH2-A1-3R-S1		(臨床看護学)	AH2	Adult Health Nursing II
		成人看護学 III	CLN_AH3-A1-3R-S1			AH3	Adult Health Nursing III
成人看護学 IV		CLN_AH4-A1-3R-L1			AH4	Adult Health Nursing IV	
成人看護学実習 I		CLN_AN1-A1-3R-S1			AN1	Adult Health Nursing Practice I	
成人看護学実習 II		CLN_AN2-A1-3R-S1			AN2	Adult Health Nursing Practice II	
精神看護学	精神看護学 I	CLN_PS1-A1-2R-L1			PS1	Psychiatric Nursing I	
	精神看護学 II	CLN_PS2-A1-3R-S1			PS2	Psychiatric Nursing II	
	精神看護学実習	CLN_PSP-A1-3R-S1			PSP	Psychiatric Nursing Practice	
老年看護学	老年看護学 I	CLN_GN1-A1-2R-L1			GN1	Geriatrics Nursing I	
	老年看護学 II	CLN_GN2-A1-2R-S1			GN2	Geriatrics Nursing II	
	老年看護学実習	CLN_GNP-A1-3R-S1			GNP	Geriatrics Nursing Practice	
小児看護学	小児看護学 I	CLN_PN1-A1-2R-L1			PN1	Pediatric Nursing I	
	小児看護学 II	CLN_PN2-A1-3R-S1			PN2	Pediatric Nursing II	
	小児看護学実習	CLN_PNP-A1-3R-S1			PNP	Pediatric Nursing Practice	
看護学 母性	母性看護学 I	CLN_MA1-A1-2R-L1			MA1	Maternal Nursing I	
	母性看護学 II	CLN_MA2-A1-2R-S1			MA2	Maternal Nursing II	
	母性看護学実習	CLN_MAP-A1-3R-S1			MAP	Maternal Nursing Practice	
専門分野	統合と実践	地域看護学概論	ITS_CHN-A1-1R-L1	ITS	Integration Interdisciplinary	CHN	Community Health Nursing
		在宅看護学	ITS_HCN-A1-3R-S1		(統合と実践)	HCN	Home Care Nursing
		国際保健看護論	ITS_IHN-A1-1R-L1			IHN	Global Health Nursing
		看護技術実験演習	ITS_PRE-A1-2E-S1			PRE	Human Physical Response Seminar
		チームガバナンス演習	CBL_TGE-A1-3E-S1	CBL	Community Based Learning	TGE	Team Governability Exercise
		地域保健福祉演習	CBL_PHW-A1-3E-S1		(地域連携教育)	RHW	Practice of Regional Health and Welfare
		フードビジネス学	CBL_FOB-A1-3E-L1			FOB	Food business
		未来型プロジェクト<食>	CBL_PSF-A1-4E-S1			PSF	Project for a Sustainable Future <Food>
		災害看護論	ITS_DIN-A1-3E-L1			DIN	Disaster Nursing
		がん看護学	ITS_CAN-A1-2R-L1			CAN	Cancer Nursing
		看護倫理学	ITS_ETN-A1-3R-L1			ETN	Ethics in Nursing
		看護アセスメント学	ITS_NAS-A1-3R-S1			NAS	Nursing Assessment
		看護政策・マネジメント論	ITS_NPM-A1-3R-S1			NPM	Nursing Policy and Management
		看護研究	ITS_NRE-A1-3R-S1			NRE	Nursing Research
	臨床アセスメント学	ITS_CAS-A1-4E-L1			CAS	Clinical Assessment	
	看護教育	ITS_NED-A1-4E-L1			NED	Nursing Education	
	卒業研究	ITS_THE-A1-3R-S1			THE	Thesis	
	在宅看護学実習	ITS_HCP-A1-4R-S1			HCP	Home Care Nursing Practice	
	統合実習	ITS_CNP-A1-4R-S1			CNP	Comprehensive Nursing Practice	
	海外研修(保健福祉学)	ITS_SAP-A1-0E-S0			SAP	Study Abroad Program(Health and Welfare Science)	
	助産学	助産診断・技術学 I	MID_MI1-A1-2E-L1	MID	Midwifery	MI1	Midwifery Diagnosis and Technique I
助産診断・技術学 II		MID_MI2-A1-3E-S1		(助産学)	MI2	Midwifery Diagnosis and Technique II	
助産診断・技術学 III		MID_MI3-A1-3E-L1			MI3	Midwifery Diagnosis and Technique III	
女性のライフサイクルと助産		MID_MIL-A1-2E-L1			MIL	Midwifery and Women's Life Cycle	
助産管理		MID_MIM-A1-3E-L1			MIM	Midwifery Management	
助産学実習 I		MID_MI1-A1-4E-S1			MI1	Midwifery Practice I	
助産学実習 II	MID_MI2-A1-4E-S1			MI2	Midwifery Practice II		

第4章 学部教育  
(保健福祉学部)

1. 7

看護学科 カリキュラムマップ<2021年度>

授業科目の名称		学位授与の方針に対する関与の程度 ◎:各方針と関係が深い科目 ○:各方針と関係する科目							
		A	B	C-1	C-2	D	E	F	G
		人間・社会・自然の理解	倫理観	専門的知識・技能1	専門的知識・技能2	論理的思考力・判断力・実践力	課題発見・解決力 主体性	コミュニケーション力	多様な人々と協働する力
専門基礎分野	人体のしくみと病態	生化学				◎			
		微生物学				◎			
		解剖生理学Ⅰ				◎			
		解剖生理学Ⅱ				◎			
		運動生理学				○			
		病理学				◎			
		薬理学				◎			
		生薬の科学				○			
		臨床病態学Ⅰ				◎			
		臨床病態学Ⅱ				◎			
	臨床病態学Ⅲ				◎				
	臨床病態学Ⅳ				◎				
	救急医学				◎				
	栄養学総論			○					
	人間発達学			○					
	家族看護学			◎					
	ヒューマンケアリング論			◎			◎		
	医学概論			◎					
	看護の世界			◎					
	リハビリテーション概論			○					
健康教育論			◎						
公衆衛生学			◎						
疫学			◎						
保健統計学			◎						
社会福祉概論			○						
看護関係法規			◎						
社会保障論			◎						
専門分野	基礎看護学	看護学概論				◎			
		看護学基礎論Ⅰ				◎			
		看護学基礎論Ⅱ				◎			
		看護学方法論Ⅰ				◎			
		看護学方法論Ⅱ				◎			
		看護学方法論Ⅲ				◎			
		看護学方法論Ⅳ				◎			
		看護学方法論Ⅴ				◎			
		看護学方法論Ⅵ				◎			
		基礎看護学実習Ⅰ				◎		◎	
	基礎看護学実習Ⅱ				◎		◎		
	成人看護学Ⅰ				◎				
	成人看護学Ⅱ				◎				
	成人看護学Ⅲ				◎				
	成人看護学Ⅳ				◎				
	成人看護学実習Ⅰ				◎		◎		
	成人看護学実習Ⅱ				◎		◎		
	精神看護学Ⅰ				◎				
	精神看護学Ⅱ				◎				
	精神看護学実習				◎		◎		
老年看護学Ⅰ				◎					
老年看護学Ⅱ				◎					
老年看護学実習				◎		◎			
小児看護学	小児看護学Ⅰ				◎				
	小児看護学Ⅱ				◎				
	小児看護学実習				◎		◎		
	母性看護学Ⅰ				◎				
	母性看護学Ⅱ				◎				
	母性看護学実習				◎		◎		
	地域看護学概論		◎				◎		
	在宅看護学		◎				◎		
	国際保健看護論		◎						
	看護技術実験演習		◎						
ゲームガバナリハビリ演習		○				◎			
地域保健福祉演習						◎			
フードビジネス学			○	○					
未来型プロジェクト<食>						○			
災害看護論		◎							
がん看護学		◎							
看護倫理学		◎							
看護アセスメント学		◎							
看護政策・マネジメント論		◎				◎			
看護研究		◎							
臨床アセスメント学		○							
看護教育		○							
卒業研究		◎				◎			
在宅看護学実習		◎				◎			
統合実習						◎			
海外研修(保健福祉学)						◎			
助産学	助産診断・技術学Ⅰ				○				
	助産診断・技術学Ⅱ				○				
	助産診断・技術学Ⅲ				○				
	女性のライフサイクルと助産				○				
	助産管理				○				
	助産学実習Ⅰ				○		○		
助産学実習Ⅱ				○		○			

# 看護学科 カリキュラムツリー<2021年度>

学位授与の方針	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
修学基礎	天学で学ぶ フレックスマニフェスター	社会を生きる力を学ぶ						
A 人財・社会・自然の理解	人文・社会科学要論 自然科学要論 日本語表現法 統計学B	日本国憲法 生命倫理学						
	人文・社会科学科目群 自然科学科目群 健康科学科目群 複合PB科目群							
B 倫理観	地域看護学概論 国際保健看護論	がん看護学	在宅看護学 看護研究	看護倫理学 看護アセスメント学 看護政策・マネジメント論	在宅看護学実習			
C-1 専門的知識・技能1	医学概論 看護の世界	家族看護学	疫学	ヒューマンケアリング論				
	生化学 解剖生理学 I 病理学	微生物学 解剖生理学 II 病理学	薬理学 生薬の科学	臨床病態学IV 救急医学				
C-2 専門的知識・技能2	看護学概論 看護学方法論 I 看護学方法論 II	看護学基礎論 I 看護学方法論 III 看護学方法論 IV 基礎看護学実習 I	看護学基礎論 II 老生看護学 II 看護学方法論 V 看護学方法論 VI 成人看護学 I 老生看護学 I 母性看護学 I	成人看護学IV 成人看護学実習 I 成人看護学実習 II 精神看護学実習 老年看護学実習 小児看護学実習 助産診断・技術学実習 助産学実習 I 助産学実習 II				
	看護学基礎論 看護学方法論 I 看護学方法論 II	看護学基礎論 I 看護学方法論 III 看護学方法論 IV 基礎看護学実習 I	看護学基礎論 II 老生看護学 II 看護学方法論 V 看護学方法論 VI 成人看護学 I 老生看護学 I 母性看護学 I	成人看護学IV 成人看護学実習 I 成人看護学実習 II 精神看護学実習 老年看護学実習 小児看護学実習 助産診断・技術学実習 助産学実習 I 助産学実習 II				
E 課題発見・解決力 主体性								
F コミュニケーション力	ELP1 ELP2	ELP3 ELP4	ELP5	ELP6	ヒューマンケアリング論			
	語学国際学科科目群 複合PB科目群							
G 多様な人々と協働する力	社会連携要論	地域資源論 基礎看護学実習 I 地域看護学概論		基礎看護学実習 II	在宅看護学	看護政策・マネジメント論 成人看護学実習 I 成人看護学実習 II 精神看護学実習 老年看護学実習 小児看護学実習 母性看護学実習	在宅看護学実習 在宅看護学実習 I 在宅看護学実習 II 精神看護学実習 老年看護学実習 小児看護学実習 母性看護学実習	在宅看護学実習 在宅看護学実習 I 在宅看護学実習 II 精神看護学実習 老年看護学実習 小児看護学実習 母性看護学実習
		地域資源論 基礎看護学実習 I 地域看護学概論		基礎看護学実習 II	在宅看護学	看護政策・マネジメント論 成人看護学実習 I 成人看護学実習 II 精神看護学実習 老年看護学実習 小児看護学実習 母性看護学実習	在宅看護学実習 在宅看護学実習 I 在宅看護学実習 II 精神看護学実習 老年看護学実習 小児看護学実習 母性看護学実習	在宅看護学実習 在宅看護学実習 I 在宅看護学実習 II 精神看護学実習 老年看護学実習 小児看護学実習 母性看護学実習

## 1.8 看護学科 履修モデル例

看護師をめざす場合

共通教育科目								
	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
修学基礎	◎大学で学ぶ	1						
	◎フレッシュマンセミナー	1						
人文・社会科学	◎人文・社会科学要論	2						
	◎日本語表現法	2						
	◎日本国憲法	2						
自然科学	◎自然科学要論	2						
	◎統計学B	2						
	○カテゴリから2単位	2						
健康科学	○カテゴリから1単位	1	◎生命倫理学	1				
語学国際	◎ELP1	1	◎ELP5	1				
	◎ELP2	1	◎ELP6	1				
	◎ELP3	1						
	◎ELP4	1						
複合PBL科目	人文・社会科学複合PBL科目							
	自然科学複合PBL科目							
	健康科学複合PBL科目							
	語学国際複合PBL科目							
	○カテゴリから1単位	1						
社会連携	◎社会連携要論	1						
	◎地域資源論	1						
			○全カテゴリから2単位	2				
小計		22	小計	5	小計	0	小計	0

### 備考

- ・ELPはEnglish Language Programを指します。
- ・全カテゴリから2単位の選択例：スポーツ科学、コンピュータ演習Ⅰ、地域創生演習 等
- ・小計の合計単位数は卒業要件単位数となっています。

### 学部教育科目

	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
専門基礎分野	◎生化学	2	◎薬理学	2	◎臨床病態学Ⅳ	1		
	◎微生物学	1	◎臨床病態学Ⅰ	2	◎救急医学	1		
	◎解剖生理学Ⅰ	2	◎臨床病態学Ⅱ	1	◎ヒューマンケアリング論	1		
	◎解剖生理学Ⅱ	2	◎臨床病態学Ⅲ	1				
	◎病理学	2	◎健康教育論	1				
	◎家族看護学	1	◎公衆衛生学	2				
	◎医学概論	1	◎疫学	2				
	◎看護の世界	1	◎保健統計学	1				
			◎看護関係法規	1				
			◎社会保障論	1				
専門分野	◎看護学概論	1	◎看護学基礎論Ⅱ	1	◎成人看護学Ⅱ	2		
	◎看護学基礎論Ⅰ	1	◎看護学方法論Ⅴ	1	◎成人看護学Ⅲ	1		
	◎看護学方法論Ⅰ	1	◎看護学方法論Ⅵ	2	◎成人看護学Ⅳ	1		
	◎看護学方法論Ⅱ	2	◎基礎看護学実習Ⅱ	2	◎成人看護学実習Ⅰ	→	◎成人看護学実習Ⅰ	3
	◎看護学方法論Ⅲ	2	◎成人看護学Ⅰ	2	◎成人看護学実習Ⅱ	→	◎成人看護学実習Ⅱ	3
	◎看護学方法論Ⅳ	1	◎精神看護学Ⅰ	2	◎精神看護学Ⅱ	2		
	◎基礎看護学実習Ⅰ	1	◎老年看護学Ⅰ	2	◎精神看護学実習	→	◎精神看護学実習	2
	◎地域看護学概論	2	◎老年看護学Ⅱ	2	◎老年看護学実習	→	◎老年看護学実習	3
	◎国際保健看護論	1	◎小児看護学Ⅰ	2	◎小児看護学Ⅱ	2		
			◎母性看護学Ⅰ	2	◎小児看護学実習	→	◎小児看護学実習	3
			◎母性看護学Ⅱ	2	◎母性看護学実習	→	◎母性看護学実習	2
			◎がん看護学	1	◎在宅看護学	2	◎在宅看護学実習	2
					◎看護倫理学	1	◎統合実習	2
					◎看護アセスメント学	1		
					◎看護政策マネジメント論	1		
					◎看護研究	1		
				◎卒業研究	→	◎卒業研究	4	
小計		24	小計	35	小計	17	小計	24

全カテゴリから5単位 例：チームガバナビリティ演習、地域保健福祉演習、フードビジネス学、海外研修（保健福祉学）等

小計 5

### 備考

- ・全カテゴリから5単位の選択は、1年から4年の間に選択します。
- ・小計の合計単位数は卒業要件単位数となっています。

### 履修上の注意

#### 臨地実習の履修要件

- ・3、4年次に開講する臨地実習は、「看護学基礎論Ⅰ～Ⅱ」「看護学方法論Ⅰ～Ⅵ」「基礎看護学実習Ⅰ～Ⅱ」を履修し、単位を修得しておかなければ履修できない。

#### 卒業研究の履修要件

- ・3年次後期から開講する「卒業研究」は、共通教育科目は必修科目20単位、学部教育科目は3年次前期までに修得すべき必修科目のうち72単位以上、合計92単位以上を修得しておかなければ履修できない。

◎は必修科目 ○は選択科目 →は3年次後期～4年次前期あるいは4年次後期までの通年科目

共通教育科目								
	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
修学基礎	◎大学で学ぶ	1						
	◎フレッシュマンセミナー	1						
人文・社会科学	◎人文・社会科学要論	2	* 人文・社会科学セミナーD	1				
	◎日本語表現法	2						
	◎日本国憲法	2						
自然科学	◎自然科学要論	2						
	◎統計学B	2						
	○カテゴリから2単位	2						
健康科学	○カテゴリから1単位	1	◎生命倫理学	1				
語学国際	◎ELP1	1	◎ELP5	1				
	◎ELP2	1	◎ELP6	1				
	◎ELP3	1						
	◎ELP4	1						
複合PBL科目	人文・社会科学複合PBL科目							
	自然科学複合PBL科目 健康科学複合PBL科目 語学国際複合PBL科目 ○カテゴリから1単位	1						
社会連携	◎社会連携要論	1						
	◎地域資源論	1						
			○全カテゴリから1単位	1				
	小計	22	小計	5(*1)	小計	0	小計	0
<b>備考</b>								
・ELPはEnglish Language Programを指します。								
・全カテゴリから2単位の選択例: スポーツ科学、コンピュータ演習Ⅰ、地域創生演習 等								
学部教育科目								
	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
専門基礎分野	◎生化学	2	◎薬理学	2	◎臨床病態学Ⅳ	1		
	◎微生物学	1	◎臨床病態学Ⅰ	2	◎救急医学	1		
	◎解剖生理学Ⅰ	2	◎臨床病態学Ⅱ	1	◎ヒューマンケアリング論	1		
	◎解剖生理学Ⅱ	2	◎臨床病態学Ⅲ	1				
	◎病理学	2	◎健康教育論	1				
	◎家族看護学	1	◎公衆衛生学	2				
	◎医学概論	1	◎疫学	2				
	◎看護の世界	1	◎保健統計学	1				
				◎看護関係法規	1			
				◎社会保障論	1			
専門分野	◎看護学概論	1	◎看護学基礎論Ⅱ	1	◎成人看護学Ⅱ	2		
	◎看護学基礎論Ⅰ	1	◎看護学方法論Ⅴ	1	◎成人看護学Ⅲ	1		
	◎看護学方法論Ⅰ	1	◎看護学方法論Ⅵ	2	◎成人看護学Ⅳ	1		
	◎看護学方法論Ⅱ	2	◎基礎看護学実習Ⅱ	2	◎成人看護学実習Ⅰ	→	◎成人看護学実習Ⅰ	3
	◎看護学方法論Ⅲ	2	◎成人看護学Ⅰ	2	◎成人看護学実習Ⅱ	→	◎成人看護学実習Ⅱ	3
	◎看護学方法論Ⅳ	1	◎精神看護学Ⅰ	2	◎精神看護学Ⅱ	2		
	◎基礎看護学実習Ⅰ	1	◎老年看護学Ⅰ	2	◎精神看護学実習	→	◎精神看護学実習	2
	◎地域看護学概論	2	◎老年看護学Ⅱ	2	◎老年看護学実習	→	◎老年看護学実習	3
	◎国際保健看護論	1	◎小児看護学Ⅰ	2	◎小児看護学Ⅱ	2		
			◎母性看護学Ⅰ	2	◎小児看護学実習	→	◎小児看護学実習	3
			◎母性看護学Ⅱ	2	◎母性看護学実習	→	◎母性看護学実習	2
			◎がん看護学	1	◎在宅看護学	2	◎在宅看護学実習	2
			* 助産診断・技術学Ⅰ	2	◎看護倫理学	1	◎統合実習	2
			* 生殖の科学	1	◎看護アセスメント学	1		
			* 女性のライフサイクルと助産	1	* 助産診断・技術学Ⅱ	2	* 助産学実習Ⅰ	2
					* 助産診断・技術学Ⅲ	1	* 助産学実習Ⅱ	5
					* 助産管理	1		
					◎看護政策マネジメント論	1		
					◎看護研究	1		
					◎卒業研究	→	◎卒業研究	4
	小計	24	小計	35(*4)	小計	17(*4)		24(*7)
<b>備考</b>								
・助産師国家試験受験資格取得に必要な単位を満たしています。								
<b>履修上の注意</b>								
・助産師国家試験受験資格取得に必要な「助産診断・技術学Ⅱ」「助産診断・技術学Ⅲ」「助産管理」「助産学実習Ⅰ」「助産学実習Ⅱ」の履修可能定員は4名程度であり、2年次に希望者の中から選考により決定します。								

◎は必修科目 ○は選択科目 →は3年次後期～4年次前期あるいは4年次後期までの通年科目 \*は助産師科目





## 2. 栄養学科

### 2. 1 本学科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

栄養学科は、人間、健康、社会に関する幅広い知識と論理的な思考力をもって、食と健康の相互関係を科学的に理解し、多様な人々と協働して栄養学の専門分野を人の健康の維持・増進、病気の予防・治療へと応用するとともに、食と人とのかかわりにおける未知なる事象の解明に向けて主体的に研究する姿勢を身に付け、岡山県から広く地域社会及び国際社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

卒業要件を満たすことにより、次の能力や態度・意欲を身に付けた者に学位を授与します。

#### A.【人間・社会・自然の理解】

人文科学、社会科学、自然科学、健康科学の知識を通して、人間・社会・自然を理解する力を身に付けている。

#### B.【倫理観】

栄養学を人の健康の維持・増進、病気の予防・治療へと応用する専門職業人として必要な倫理観と豊かな人間性を身に付けている。

#### C-1.【専門的知識・技能1】

保健、医療、福祉、教育の分野で栄養学の専門職として総合的に貢献するために必要な基礎的知識と技能を身に付けている。

#### C-2.【専門的知識・技能2】

人体の構造と機能・疾病の成立ちや食と健康の相互関係を科学的に理解し、栄養学的課題を明らかにするために必要な専門的知識と技能を身に付けている。

#### D.【論理的思考力・判断力・実践力】

多様な個人や集団の栄養課題を解決するために、適切かつ高度な食・健康支援を企画提案するための論理的思考力・判断力を身に付け、栄養学の専門分野を統合して人の健康の維持・増進、病気の予防・治療へと応用する実践力を身に付けている。

#### E.【課題発見・解決力】【主体性】

食と人とのかかわりにおける未知なる事象の解明に向けて主体的に栄養学関連分野における課題を発見し、解決できる能力を身に付けている。

#### F.【コミュニケーション力】

グローバル化社会において岡山県から広く地域社会及び国際社会に貢献するためのコミュニケーション力を身に付けている。

#### G.【多様な人々と協働する力】

保健、医療、福祉、教育関連分野で貢献するために、自他の役割を理解し、多様な人々と協調・協働して課題を解決する力を身に付けている。

## 2. 2 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

### 【基本方針】

栄養学科では、学位授与の方針に掲げる人材を育成するため、4年間で系統的に修得した栄養学に関する広範囲な分野の専門的知識を基礎として、グローバルセンスを持ち、地域社会や国際社会に貢献できる知識・技術・価値を修得し、栄養学の専門的活動ができるよう、体系的な教育課程を以下のように編成しています。

### 【共通教育科目】

共通教育科目では、管理栄養士または栄養学に関連する専門職の活動に求められる知的実践的自律性を培うため、教養教育の導入、理論、実践を網羅する科目群を編成しています。

### 【修学基礎力】

高校の学びから大学での学びへの転換と準備のための初年次教育ならびに栄養学の専門性への学びを促す修学基礎科目群。

### 【人間・社会・自然の理解】

人間や社会及び文化について考えるため、普遍的な理論や知識を修得し、人間理解を深めるとともに、社会の仕組みや歴史を修得し、そのあり方を問う論理的思考力や課題発見力を養う人文・社会科学科目群。

自然現象やそれに関わる発見から普遍的な真理を探究することを通じ、論理的思考力や課題発見力などを身に付ける自然科学科目群。

心身の健康に関する理論や知識を修得し、生活する上で適切な判断を導く思考力を養うとともに、生涯にわたり健全な社会生活を送るための技能を修得する健康科学科目群。

以上の学問分野において、主体的に課題を設定し、調査、考察、発表、討論を経て最終的な解決に取り組む複合 PBL 科目群。

### 【コミュニケーション力】

グローバル化する国内外の地域で活躍するために必要な語学力を育成する語学国際科目群、相互対話によって主体的に問題に取り組み自らの見解を他者に合理的に発信できる複合 PBL 科目群。

### 【多様な人々と協働する力】

豊かな人間性をもって地域で活躍するために必要な課題発見力と多様な人々との協働性を養成する社会連携科目群。

### 【学部教育科目】

学部教育科目では、食と健康の相互関係を科学的に理解し、健康の維持・増進、病気の予防・治

療へと応用するために必要な理論や、これを活用するための技能を涵養する科目群を編成しています。

**【専門的知識・技能1】**

保健、医療、福祉、教育の分野で栄養学の専門職として総合的に貢献するために必要な基礎的知識と技能を養成する「社会・環境と健康」の科目群。

**【専門的知識・技能2】**

人体の構造と機能・疾病の成り立ちや食と健康の相互関係を科学的に理解し、栄養学的課題を明らかにするために必要な専門的知識と技術力を養成する「人体の構造と機能・疾病の成り立ち」並びに「食べ物と健康」の科目群。

**【論理的思考力・判断力・実践力】**

専門基礎科目群に立脚し、個人や集団の多様な栄養課題を解決するために、論理的思考力、判断力に基づき、栄養学に関する専門的知識を活用し、応用力を身に付ける「基礎栄養学」「応用栄養学」の科目群、および修得した専門的知識を活用し、個人や集団のニーズに応じた栄養支援や給食サービス、栄養教育を実践するための応用的知識と技術を身に付ける「栄養教育論」「臨床栄養学」「公衆栄養学」「給食経営管理論」の科目群。

**【倫理観】**

修得した専門的知識と技術を統合し、高度専門職業人として必要な豊かな人間性と倫理観を持つとともに、多様な人々と協働して栄養学の専門分野を人の健康の維持・増進、病気の予防・治療へと応用する力を身に付ける「総合演習」「臨地実習」の科目群。

**【課題発見・解決力】【主体性】**

系統的に修得した栄養学に関する広範囲な分野の専門的知識を基礎として、1年を通じ、研究対象に関する深い知識の獲得や、発見した栄養課題を解決に導くため、管理栄養士や研究者の倫理を遵守した計画を主体的に立案して遂行する能力を養う卒業研究。

**【教職教育科目】**

**【教育力】**

栄養教諭として必要である専門的知識と技能を身に付けるための「教育の基礎的理解」、「道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等」、「教育課程の意義及び編成の方法」及び「栄養に係る教育」に関する科目群。

**【資格取得】** 共通教育科目及び学部教育科目の中から履修し、卒業時には栄養士免許並びに管理栄養士国家試験受験資格が取得可能となるほか、食品衛生管理者並びに食品衛生監視員の任用資格の取得が可能となります。また、教職教育科目を修得することで栄養教諭一種免許状が取得可能となります。

## 教育課程の編成

カテゴリー	概要	開設授業科目	
共通教育	修学基礎	社会人基礎力涵養と栄養学科教員によるセミナーでキャリア育成に必要な心構えや基礎的表現力を修得する。	共通教育科目のフレッシュマンスナ、大学で学ぶ
	人文・社会科学 自然科学 健康科学 複合 PBL	歴史観・文化観・社会観を扱う学問領域、自然科学の基礎教養、身体を健康を考えた現代生活を営むための知見について学ぶ。化学、生物などの講義を通じて、学部教育科目を理解するための基礎的な知識や、コンピュータを活用する能力を修得する。倫理観をもち、健康を支援する心を醸成し、豊かな感性を身につける。以上の学問分野において、主体的に課題を設定し、調査、考察、発表、討論を経て最終的な解決に取り組む。	共通教育科目の人文・社会科学要論、自然科学要論、化学、生物学、統計学 B、コンピュータ演習 I、生命倫理学、健康科学要論、複合 PBL 科目群
	語学国際	英語を始めとする外国語によるコミュニケーション能力、グローバル化に対応する能力を身につける。異文化理解によるコミュニケーション力を習得する。	共通教育科目の英語科目 ELP1～6、海外研修（保健福祉学）
	社会連携	英語を始めとする外国語によるコミュニケーション能力、グローバル化に対応する能力および地域に貢献する人材として携えるべき能力を修得する。	社会連携科目の社会連携要論や地域資源論、地域創生演習
学部教育（専門基礎分野）	社会・環境と健康	健康、健康管理に関する基礎的な知識、方法を修得する。	健康管理論、看護の世界、社会福祉政策論、食生活論、健康情報演習、公衆衛生学、保健福祉システム概論
	人体の構造と機能・疾病の成り立ち	医学領域の科目群・微生物学・生化学等の講義、実験を通じて、基礎的な知識と方法を身につける。	栄養学のための解剖生理学、解剖生理学実験 I・II、病理学、内科学、栄養学入門論、薬理学、微生物学、微生物学実験、生化学、代謝生化学、分子生物学、生化学実験 I・II
	食べ物と健康	食品学・食品加工学・食品衛生学・調理学等の講義、実験、実習を通じて、食の知識と技術を身につける。	食品衛生学、食品衛生学実験、食品分析学、食品学 I・II、食品材料学、食品加工演習、食品学実験 I・II、調理学、調理学実習 I・II
学部教育（専門分野）	基礎栄養学	栄養学総論・栄養学実験を通じて栄養学の基礎を修得する。	栄養学総論、栄養学基礎実験、栄養学実験
	応用栄養学	栄養学各論・応用栄養生理学等の講義、実習を通じて栄養学の応用的な知識と方法を身につける。	栄養学各論 I・II、応用栄養生理学、栄養学実習、スポーツ栄養学
	公衆栄養学	公衆栄養学・地域栄養活動の講義、実習を通じて、マスの栄養に関する知識と方法を身につける。	公衆栄養学 I・II、公衆栄養学実習 I
	栄養教育論	栄養教育に関する講義、演習、実習を通じて栄養の教育に関する知識と方法を身につける。	栄養教育論 I・II、栄養教育プログラム論、カンセリング演習、栄養教育実習
	臨床栄養学	病態栄養学・臨床栄養学・臨床栄養管理の講義、実験、実習を通じて、病態と栄養に関する知識と方法を修得する。	病態栄養学、臨床栄養学 I・II、臨床栄養管理、臨床栄養学実習 I、臨床栄養学実験
	給食経営管理論	給食経営管理論・フードシステム学等の講義、実習を通じて、マスの給食に関する知識と方法を身につける。	フードシステム学、給食経営管理論 I・II、給食経営管理実習 I
	総合演習	基礎から給食経営管理までの専門分野を統合できる能力、チーム医療や地域保健福祉活動、食に関する総合的な開発プロジェクトの中でのコミュニケーション能力を修得する。	総合演習 I・II・III、チームカバナビリティ演習 地域保健福祉演習、未来型プロジェクト〈食〉
	臨地実習	臨床栄養学・栄養教育・地域栄養・給食管理の臨地実習を通じて管理栄養士の実務を修得する。	臨床栄養学実習 II、給食運営実習、公衆栄養学実習 II、給食経営管理実習 II
卒業研究	卒業研究	卒業研究	
卒業研究	一つのテーマについての調査・研究を通じて研究の方法、データの解析、解釈そしてまとめるという総合的な能力を修得する。		
教職科目	学校教育の意義の理解と、食育の実践に必要な知識、技術を身につける。	教育基礎論、教師論、教育心理学、特別支援教育概論、教育課程論、特別活動及び総合的な学習の時間の指導法（道徳教育を含む）、教育方法論、生徒指導論、教育相談、教職実践演習（栄養教諭）、学校栄養教育論 I・II、学校栄養教育実習 I・II	

## 2. 3 卒業要件と履修方法

### (1) 卒業要件

栄養学科令和3年度入学生の卒業要件単位数は下表に示している。

	必修科目	選択科目	計
共通教育科目	14 単位	14 単位	28 単位
学部教育科目	96 単位	4 単位	100 単位
計	110 単位	18 単位	128 単位

### (2) 卒業研究の履修要件

卒業研究の履修については、次の要件を充足しなければ履修申請できない。

卒業研究 10 単位を含む 23 単位以下を修得することにより卒業要件単位(必修 110 単位を含め 128 単位)を満たすこと

### (3) 他学部・他学科開講科目の取り扱い

保健福祉学部の他学科ならびに他学部開講の学部教育科目の単位を履修した場合、履修単位の 4 単位までを本学科の卒業要件単位として認定することができる。また、修得単位は卒業研究履修要件の単位数に含める。

(4) 学部教育科目

		授業科目の名称	授業の方法	担当教員	開講年次及び必修選択の別				開講時間数	開講単位数	卒業要件単位数			
					1	2	3	4						
専	社会・環境と健康	医学概論	講義	高橋(徹)	○				15	1	100  単  位			
		公衆衛生学	講義	※三好	◎				30	2				
		健康管理論	講義	高橋(徹)	◎				30	2				
		社会福祉政策論	講義	岩満	○				30	2				
		保健福祉システム概論	講義	※秋山		◎			30	2				
		看護の世界	講義	森本	○				15	1				
		食生活論	講義	※岸本	○				15	1				
		健康情報演習	演習	田淵	◎				30	1				
門	人体の構造と機能・疾病の成立	病理学	講義	荻野		◎			30	2				
		生化学	講義	川上(祐)	◎				30	2				
		微生物学	講義	田中	◎				30	2				
		内科学	講義	入江		◎			30	2				
		栄養サポートチーム論	講義	※犬飼			○		15	1				
		代謝生化学	講義	山下 他	◎				30	2				
		分子生物学	講義	川上(祐)		◎			30	2				
		栄養学のための解剖生理学	講義	入江		◎			30	2				
		薬理学	講義	入江		○			30	2				
		解剖生理学実験Ⅰ	実験	高橋(吉)・戸田		◎			45	1				
		解剖生理学実験Ⅱ	実験	入江・井上			◎		45	1				
		微生物学実験	実験	田中・岩岡		◎			45	1				
基	礎	生化学実験Ⅰ	実験	川上(祐)・岩岡		◎			45	1				
		生化学実験Ⅱ	実験	川上(祐)・岩岡			◎		45	1				
		食品学Ⅰ	講義	伊東	◎				30	2				
		食品学Ⅱ	講義	伊東	◎				30	2				
		食品材料学	講義	山下		◎			30	2				
		食品加工演習	演習	中島・未定		○			30	1				
		食品分析学	講義	中島	○				15	1				
		食品衛生学	講義	田中		◎			15	1				
		調理学	講義	未定	◎				30	2				
		フードビジネス学	講義	伊東 他			○		30	2				
		食品学実験Ⅰ	実験	伊東・岩岡		◎			45	1				
		食品学実験Ⅱ	実験	山下・岩岡		◎			45	1				
分	食べ物と健康	食品衛生学実験	実験	田中・津嘉山			◎		45	1				
		調理学実習Ⅰ	実習	未定・丸田	◎				45	1				
		調理学実習Ⅱ	実習	未定・丸田		◎			45	1				
		専	基礎栄養学	栄養学総論	講義	山本	◎				30	2		
				栄養学基礎実験	実験	中島・津嘉山	◎				45	1		
				栄養学実験	実験	山本・津嘉山		◎			45	1		
				門分野	応用栄養学	栄養学各論Ⅰ	講義	山本		◎			30	2
						栄養学各論Ⅱ	講義	山本		◎			30	2
		応用栄養生理学	講義			高橋(吉)		◎			30	2		
		スポーツ栄養学	講義			山下・綾部		○			30	2		
		栄養学実習	実習			山本・井上(里)			◎		45	1		



(5) 教職教育科目

授業科目の名称	授業の方法	担当教員	開講年次及び必修選択の別				開講時間数	単位数		
			1	2	3	4		開講単位数	必要単位数	
教職に関する科目 教職教育科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育基礎論	講義	池田	●				30	2
		教師論	講義	都島	●				30	2
		教育心理学	講義	樂木	●				30	2
		特別支援教育概論	講義	京林		●			15	1
		教育課程論	講義	都島	●				15	1
	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(道徳教育を含む)	講義	都島・※都田	●				15	1
		教育方法論	講義	都島		●			30	2
		生徒指導論	講義	都島		●			30	2
		教育相談(カウンセリング論を含む)	講義	京林		●			15	1
	教育実践に関する科目	学校栄養教育実習Ⅰ(事前事後指導)	実習	川上(貴)他			●	●	45	1
		学校栄養教育実習Ⅱ	実習	川上(貴)他				●	45	1
		教職実践演習(栄養教諭)	演習	川上(貴)他				●	60	2
	栄養に係る教育に関する科目	学校栄養教育論Ⅰ	講義	川上(貴)・久保田			●		30	2
学校栄養教育論Ⅱ		講義	川上(貴)・※中桐				●	30	2	
第66条の6に定める科目 教育職員免許法施行規則	日本国憲法	日本国憲法	*1 講義	※伊藤(治)	●				30	2
	体育	健康スポーツA	*1 講・実	綾部・※森村	○				30	1
		健康スポーツB	*1 講・実	※齋藤(智)・綾部	○				30	1
		スポーツ科学	*1 講義	綾部	○				15	1
	外国語コミュニケーション	English Language Program 1	*1 演習	※上仲	●				30	1
		English Language Program 2	*1 演習	神原	●				30	1
		English Language Program 3	*1 演習	※大野	●				30	1
		English Language Program 4	*1 演習	※下林	●				30	1
	情報機器の操作	コンピュータ演習Ⅰ	*1 演習	※藤本	●				30	1
		健康情報演習	*2 演習	田淵	●				30	1
(注) ・「*1」印は共通教育科目、「*2」印は学部教育科目 ・「●」印は栄養教諭一種免許状取得のための必修科目、「○」印は選択科目、「※」印は非常勤講師										
栄養教諭一種免許状取得のために必要な取得単位数 ・教職教育科目等 32単位(共通教育科目と学部教育科目の計10単位含む)										

32 単 位

2 単 位



(6) 科目ナンバリング

授業科目の名称	科目ナンバリング	分野1(略称と英語名称)		分野2(略称と英語名称)		
		略称	英語名称	略称	英語名称	
社会・環境と健康	医学概論	IND,IME-12-1E-L1	IND interdisciplinary (学際的)	IME	Introduction to Medicine	
	公衆衛生学	IND,PUH-12-1R-L1		PUH	Public Health	
	健康管理論	IND,PHS-12-1R-L1		PHS	Principle of Health Science	
	社会福祉政策論	IND,WPO-12-1E-L1		WPO	Social Welfare Policy	
	保健福祉システム概論	IND,IHW-12-2R-L1		IHW	Introduction to Health and Welfare Systems	
	看護の世界	IND,DFE-12-1E-L1		WNU	World of Nursing	
	食生活論	IND,FOH-12-1E-L1		FOH	Food and Health	
	健康情報演習	IND,HIP-12-1R-S1		HIP	Health Information Processing Exercise	
人体の構造と機能・疾病の成立	病理学	BAM,PAT-12-2R-L1	BAM Basic Medicine 基礎医学	PAT	Pathology	
	生化学	BAM,BIC-12-1R-L1		BIC	Biochemistry	
	微生物学	BAM,MIB-12-1R-L1		MIB	Microbiology	
	内科学	BAM,INM-12-2R-L1		INM	Internal Medicine	
	栄養サポートチーム論	BAM,NSP-12-3E-L1		NSP	Team Work Principles for Nutritional Support	
	代謝生化学	BAM,MEB-12-1R-L1		MEB	Metabolic Biochemistry	
	分子生物学	BAM,MOB-12-2R-L1		MOB	Molecular Biology	
	栄養学のための解剖生理学	BAM,APN-12-2R-L1		APN	Anatomy and Physiology for Clinical Nutrition	
	薬理学	BAM,PHA-12-2E-L1		PHA	Pharmacology	
	解剖生理学実験 I	BAM,API-12-2R-P1		API	Anatomy and Physiology Experiment I	
	解剖生理学実験 II	BAM,AP2-12-3R-P1		AP2	Anatomy and Physiology Experiment II	
	微生物学実験	BAM,DTE-12-2R-P1		MIB	Microbiology Experiment	
	生化学実験 I	BAM,BC1-12-2R-P1		BC1	Biochemistry Experiment I	
生化学実験 II	BAM,BC2-12-3R-P1	BC2	Biochemistry Experiment II			
食べ物と健康	食品学 I	FOS,FS1-12-1R-L1	FOS Food Science 食品科学	FS1	Food Science I	
	食品学 II	FOS,FS2-12-1R-L1		FS2	Food Science II	
	食品材料学	FOS,FOM-12-2R-L1		FOM	Food Materials	
	食品加工演習	FOS,FPT-12-2E-S1		FPT	Exercise of Food Processing Technology	
	食品分析学	FOS,FOA-12-1E-L1		FOA	Food Analysis	
	食品衛生学	FOS,FOH-12-2R-L1		FOH	Food Hygiene	
	調理学	FOS,COO-12-1R-L1		COO	Cooking	
	食品学実験 I	FOS,FS1-12-2R-P1		FS1	Food Science Experiment I	
	食品学実験 II	FOS,FS2-12-2R-P1		FS2	Food Science Experiment II	
	食品衛生学実験	FOS,HUE-12-3R-P1		FOH	Food Hygiene Experiment	
	調理学実習 I	FOS,CP1-12-1R-P1		CP1	Cooking Practice I	
	調理学実習 II	FOS,CP2-12-2R-P1		CP2	Cooking Practice II	
フードビジネス学	FOS,FOB-12-3R-L1	FOB	Food business			
基礎栄養学	栄養学総論	BAN,FNS-12-1R-L1	BAN Basic Nutrition 基礎栄養学	FNS	Fundamental Nutritional Science	
	栄養学基礎実験	BAN,FCE-12-1R-P1		FCE	Fundamental Chemical Experiment	
	栄養学実験	BAN,NUS-12-2R-P1		NUS	Nutritional Science Experiment	
応用栄養学	栄養学各論 I	PAN,AN1-12-2R-L1	PAN Practical Nutrition 実践栄養学	AN1	Applied Nutritional Science I	
	栄養学各論 II	PAN,AN2-12-2R-L1		AN2	Applied Nutritional Science II	
	応用栄養生理学	PAN,SOM-12-2R-L1		NPA	Nutritional Pathophysiology	
	スポーツ栄養学	PAN,EXN-12-2E-L1		EXN	Exercise Nutrition	
	栄養学実習	PAN,NUP-12-3R-P1		NUP	Nutrition Practice	
	栄養教育論 I	PAN,NE1-12-2R-L1		NE1	Nutritional Education I	
栄養教育論	栄養教育論 II	PAN,NE2-12-3R-L1	NE2	Nutritional Education II		
	カウンセリング演習	PAN,SPC-12-2R-S1	PSC	Seminar of Psychological Counseling		
	栄養教育プログラム論	PAN,CSD-12-2R-L1	CSD	Communication Skills for Dietitian		
	栄養教育実習	PAN,NEP-12-3R-P1	NUE	Nutritional Education Practice		
	病態栄養学	PAN,BCN-12-3R-L1	BCN	Biochemical Bases of Clinical Nutrition		
	臨床栄養学 I	PAN,CN1-12-3R-L1	CN1	Clinical Nutrition I		
臨床栄養学	臨床栄養学 II	PAN,CN2-12-4R-L1	CN2	Clinical Nutrition II		
	臨床栄養管理	PAN,NCM-12-3R-L1	NCM	Nutrition Care and Management		
	臨床栄養学実験	PAN,CNE-12-3R-P1	CNE	Clinical Nutrition Experiment		
	臨床栄養学実習 I	PAN,CN1-12-3R-P1	CN1	Clinical Nutrition Practice I		
	公衆栄養学 I	PAN,PN1-12-1R-L1	PN1	Public Health Nutrition I		
	公衆栄養学 II	PAN,PN2-12-2R-L1	PN2	Public Health Nutrition II		
公衆栄養学	公衆栄養学実習 I	PAN,PN1-12-3R-P1	PN1	Public Health Nutrition Practice I		
	給食経営管理論 I	PAN,FM1-12-3R-L1	FM1	Food Service and Management I		
	給食経営管理論 II	PAN,FM2-12-3R-L1	FM2	Food Service and Management II		
	フードシステム学	PAN,FOE-12-1R-L1	FOE	Food Economics		
	給食経営管理実習 I	PAN,FM1-12-3R-P1	FM1	Food Service and Management Practice I		
	総合演習 I	PAN,GE1-12-3R-S1	GE1	General Exercise I		
総合演習	総合演習 II	PAN,GE2-12-3R-S1	GE2	General Exercise II		
	総合演習 III	PAN,GE3-12-4R-S1	GE3	General Exercise III		
	チームガバナビリティ演習	CBL,TGE-12-3E-S1	TGE	Team Governability Exercise		
	地域保健福祉演習	CBL,RHW-12-3E-S1	RHW	Practice of Regional Health and Welfare		
	未来型プロジェクト<食>	CBL,PSF-12-4E-S1	PSF	Project for a Sustainable Future <Food>		
	臨床栄養学実習 II	PAN,CN2-12-3R-P1	CN2	Clinical Nutrition Practice II		
臨地実習	給食運営実習	PAN,FSP-12-3R-P1	FSP	Food Service Practice		
	公衆栄養学実習 II	PAN,PN2-12-3R-P1	PN2	Public Health Nutrition Practice II		
	給食経営管理実習 II	PAN,FM2-12-3R-P1	FM2	Food Service and Management Practice II		
	卒業研究	PAN,GRP-12-4R-S1	GRP	Graduation Project		
	教職に関する科目	教育基礎論	EDU,PRE-12-1R-L1	EDU Education	PRE	Principles of Education
		教師論	EDU,TEP-12-1R-L1		TEP	Teaching Profession
教育心理学		EDU,EDP-12-1R-L1	EDP		Educational Psychology	
特別支援教育概論		EDU,SSE-12-2R-L1	SSE		Special Support Education	
教育課程論		EDU,CUS-12-1R-L1	CUS		Curriculum Study	
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(道徳教育を含む)		EDU,EXA-12-1R-L1	EXA		Extracurricular Activities, Integrated Studies, Moral Education	
教育方法論		EDU,TEM-12-2R-L1	TEM		Teaching Methodology	
生徒指導論		EDU,SGT-12-2R-L1	SGT		Student Guidance Theory	
栄養に係る教育に関する科目	教育相談(カウンセリング論を含む)	EDU,EOC-12-2R-L1	EDC	Educational Counseling		
	学校栄養教育実習 I (事前事後指導)	NES,NS1-12-3R-P1	NS1	Nutritional Education for School Children Practice I		
	学校栄養教育実習 II	NES,NS2-12-4R-P1	NS2	Nutritional Education for School Children Practice II		
	教職実践演習(栄養教諭)	NES,GTE-12-4R-S1	GTE	General Teaching Exercise		
	学校栄養教育論 I	NES,NS1-12-3R-L1	NS1	Nutritional Education for School Children I		
	学校栄養教育論 II	NES,NS2-12-4R-L1	NS2	Nutritional Education for School Children II		

第4章 学部教育 (保健福祉学部)

## 2. 4 資格の取得

規定の単位(2.3 卒業要件と履修方法参照)を修得すれば、卒業と同時に栄養士免許と管理栄養士の国家試験受験資格に加えて、食品衛生管理者ならびに食品衛生監視員の任用資格が得られる。

- (1) 栄養士免許:卒業後に、住居地の都道府県に申請することにより免許証を取得することができる。(付表1参照)
- (2) 管理栄養士国家試験受験資格:卒業後に、管理栄養士国家試験を受験し、合格者は住居地の都道府県に申請することにより免許証を取得することができる。(付表2参照)
- (3) 食品衛生管理者、食品衛生監視員:本学科はカリキュラム編成の点から、食品衛生管理者ならびに食品衛生監視員養成施設(以後、食管養成施設という)の認定を受けている。付表3には、食管養成施設としての指定基準に定められた必要科目と対応した本学科における開講科目を示した。(食品衛生任用資格取得コース)

### [任用資格]

- ① 食品衛生管理者とは、食品または添加物の製造および加工を衛生的に管理するための専門資格であり、当該の施設ごとに配置することが義務づけられている。この資格は、卒業後に衛生管理を必要とする施設等に就職してから、居住地の都道府県に申請することにより取得できる。
- ② 食品衛生監視員とは、国、都道府県および保健所を設置する市で、食品衛生に関する監視、指導等に従事する職員(国家および地方公務員)のことである。この資格は、先の職業に就く時に必要である。詳細については、国または都道府県等の募集要項を参照されたい。

## 2. 5 入学前の既修得単位の認定(資格取得との関係において)

本学入学前に、他の大学または短期大学で修得した単位は、本学の卒業要件単位として認定されることがある(第1章 履修について参照)。ただし、食管養成施設でない大学または短期大学出身者が付表3に示した食管養成施設としての指定基準に定められた必要科目について認定を受けた場合は、食品衛生管理者ならびに食品衛生監視員の任用資格は得られないことに留意すること。

## 2. 6 栄養教諭免許状の取得に関する単位履修要領

本学科は栄養教諭の教職課程の設置もあり、上記の卒業要件単位数の他に以下に示す所定の単位を修得すれば、栄養教諭の免許状が得られる。

**(1) 教育目標**

本学科では、人の健康の維持・増進、病気の予防・治療へと応用できる人材育成の目的に基づき、学校においては児童生徒の健全な人間形成を支えるために食育を中心とした教育能力を備えた栄養教諭の養成をめざしている。

**(2) 免許状の種類**：栄養教諭一種免許状

**(3) 基礎資格**：学士の学位を有し、次の各号のいずれかに該当するものとする。

- ① 栄養士法第2条第3項の規定により管理栄養士の免許を受けていること。
- ② 栄養士法第5条の3第4号の規定により管理栄養士養成施設の課程を修了し、同法第2条第1項の規定により栄養士の免許を受けていること。

**(4) 所要単位数 (必要最低単位数)**

科目区分および単位数		
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 8単位	教職に関する科目 18単位	栄養に係る教育に関する科目 4単位

**(5) 法令で規定された単位数**

① 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目		対応する開設授業科目		
科目	単位数	科目区分	授業科目名	単位数
日本国憲法	2	共通教育科目	日本国憲法	2
体育	2	共通教育科目	健康スポーツ A	1
			健康スポーツ B	1
			スポーツ科学	1
外国語コミュニケーション	2(*)	共通教育科目	English Language Program 1	1
			English Language Program 2	1
			English Language Program 3	1
			English Language Program 4	1
情報機器の操作	2	共通教育科目	コンピュータ演習 I	1
		学部教育科目	健康情報演習	1

\*ただし、本学科の卒業要件として右欄に示された英語4科目が必修科目となる。

② 教職に関する科目(教職科目)

免許法施行規則に定める科目	対応する開設授業科目	
科 目	授 業 科 目 名	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育基礎論	2
	教師論	2
	教育心理学	2
	特別支援教育概論	1
	教育課程論	1
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(道徳教育を含む)	1
	教育方法論	2
	生徒指導論	2
	教育相談(カウンセリング論を含む)	1
教育実践に関する科目	学校栄養教育実習Ⅰ(事前事後指導)	1
	学校栄養教育実習Ⅱ	1
	教職実践演習(栄養教諭)	2

③ 栄養に係る教育に関する科目

対応する開設授業科目	
授 業 科 目 名	単位数
学校栄養教育論Ⅰ	2
学校栄養教育論Ⅱ	2

**(6) 栄養教育実習の受講資格**

学校栄養教育実習(4年次前期)を受講するには、原則としてそれまでに履修しておかなければならないすべての科目(管理栄養士養成課程ならびに栄養教諭の教職課程の必修科目)の単位取得を必要とする。

**(7) 教職実践演習の受講資格**

教職実践演習(4年次後期)を受講するには、学校栄養教育実習の受講資格を得るとともに、1年次から履修しているすべての科目(管理栄養士養成課程ならびに栄養教諭教育課程)について、履修カルテを作成し、半期ごとに履修履歴に関して担当教員との面談を行うこと。

(付表1) 栄養士の資格を取得するために必要な授業科目及び単位数

栄養士法施行規則別表第1に定められる教育内容			保健福祉学部栄養学科における開設科目等		
教育内容	単位数		授業科目等の名称	配当単位数	
	講義 又は 演習	実験 又は 実習		講義 又は 演習	実験 又は 実習
社会生活と健康	4	4	公衆衛生学	2	
			健康管理論	2	
			保健福祉システム概論	2	
			健康情報演習	1	
			小計	7	0
人体の構造と機能	8	4	病理学	2	
			生化学	2	
			微生物学	2	
			内科学	2	
			代謝生化学	2	
			分子生物学	2	
			栄養学のための解剖生理学	2	
			解剖生理学実験Ⅰ		1
			解剖生理学実験Ⅱ		1
			微生物学実験		1
			生化学実験Ⅰ	1	
			生化学実験Ⅱ	1	
			小計	14	5
食品と衛生	6		食品学Ⅰ	2	
			食品学Ⅱ	2	
			食品材料学	2	
			食品衛生学	1	
			食品学実験Ⅰ		1
			食品学実験Ⅱ		1
			食品衛生学実験		1
			小計	7	3
栄養と健康	8	10	栄養学総論	2	
			栄養学各論Ⅰ	2	
			栄養学各論Ⅱ	2	
			応用栄養生理学	2	
			病態栄養学	2	
			臨床栄養学Ⅰ	2	
			臨床栄養学Ⅱ	2	
			臨床栄養管理	2	
			栄養学基礎実験		1
			栄養学実験		1
			栄養学実習		1
			臨床栄養学実験		1
			臨床栄養学実習Ⅰ		1
			小計	16	5
栄養の指導	6		栄養教育論Ⅰ	2	
			栄養教育論Ⅱ	2	
			栄養教育プログラム論	1	
			公衆栄養学Ⅰ	2	
			公衆栄養学Ⅱ	2	
			栄養教育実習		1
			公衆栄養学実習Ⅰ		1
			小計	9	2
給食の運営	4		給食経営管理論Ⅰ	2	
			給食経営管理論Ⅱ	1	
			フードシステム学	2	
			調理学	2	
			調理学実習Ⅰ		1
			調理学実習Ⅱ		1
			給食運営実習		1
			給食経営管理実習Ⅰ		1
			小計	7	4
小計	36	14	小計	60	19
合計	50		合計	79	

(付表2) 管理栄養士国家試験受験資格を取得するために必要な授業科目及び単位数

管理栄養士学校指定規則別表第1に定められる教育内容			保健福祉学部栄養学科における開設科目等				
教育内容	単位数		授業科目等の名称	配当単位数			
	講義 又は 演習	実験 又は 実習		講義 又は 演習	実験 又は 実習		
専門基礎分野	社会・環境と健康	6	10	公衆衛生学	2	0	
				健康管理論	2		
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	14	10	保健福祉システム概論	2	1	
				健康情報演習	1		
				小計	7		
				病理学	2		1
				生化学	2		
				微生物学	2		
				内科学	2		
				代謝生化学	2		
分子生物学				2			
栄養学のための解剖生理学				2			
解剖生理学実験Ⅰ							
解剖生理学実験Ⅱ							
微生物学実験							
生化学実験Ⅰ							
生化学実験Ⅱ							
小計	14	5					
食べ物と健康	8	10	食品学Ⅰ	2	1		
			食品学Ⅱ	2			
			食品材料学	2			
			食品衛生学	1			
			調理学	2			
			食品学実験Ⅰ				
			食品学実験Ⅱ				
			食品衛生学実験				
			調理学実習Ⅰ				
			調理学実習Ⅱ				
小計	9	5					
専門基礎分野小計	28	10	専門基礎分野小計	30	10		
専門分野	基礎栄養学	2	8	栄養学総論	2	1	
				栄養学基礎実験			
	栄養学実験						
	小計	2	2				
	応用栄養学	6	8	栄養学各論Ⅰ	2	1	
				栄養学各論Ⅱ	2		
	応用栄養生理学	2	1				
	栄養学実習						
	小計	6	1				
	栄養教育論	6	8	栄養教育論Ⅰ	2	1	
				栄養教育論Ⅱ	2		
	カウンセリング演習	1	1				
	栄養教育プログラム論	1					
	小計	6	1				
臨床栄養学	8	8	病態栄養学	2	1		
			臨床栄養学Ⅰ	2			
臨床栄養学Ⅱ	2	1					
臨床栄養管理	2						
臨床栄養学実験		1					
臨床栄養学実習Ⅰ							
小計	8	2					
公衆栄養学	4	8	公衆栄養学Ⅰ	2	1		
			公衆栄養学Ⅱ	2			
公衆栄養学実習Ⅰ		1					
小計	4		1				
給食経営管理論	4	8	給食経営管理論Ⅰ	2	1		
			給食経営管理論Ⅱ	1			
フードシステム学	2	1					
給食経営管理実習Ⅰ							
小計	5	1					
総合演習	2	—	総合演習Ⅰ	1	0		
			総合演習Ⅱ	1			
総合演習Ⅲ	1	0					
小計	3		0				
臨地実習	—	4	臨床栄養学実習Ⅱ		1		
			給食運営実習				
公衆栄養学実習Ⅱ		1					
給食経営管理実習Ⅱ							
小計	0	4					
専門分野小計	32	12	専門分野小計	34	12		
小計	60	22	小計	64	22		
合計	82		合計	86			

(付表3) 食品衛生管理者および食品衛生監視員の任用資格を取得するために必要な  
授業科目及び単位数

食管養成施設としての指定基準に定める必要科目		保健福祉学部栄養学科（食品衛生任用資格取得コース）開講科目			
科 目	単 位 数	科 目	単 位		
			必 修	選 択	
分析化学 有機化学 1科目以上 無機化学	22 単 位 以 上 40 単 位 以 上	生化学実験 II	1		
		生化学実験 I	1		
		生化学	2		
		栄養学基礎実験	1		
生物化学 食品化学  食品分析学 1科目以上  生理学  毒性学		代謝生化学	2		
		食品学 I	2		
		食品学 II	2		
		食品材料学	2		
		食品分析学		1	
		食品学実験 I	1		
		食品学実験 II	1		
		栄養学のための解剖生理学	2		
解剖生理学実験 I		1			
解剖生理学実験 II		1			
微生物学 食品微生物学 1科目以上 食品保存学・食品製造学		微生物学	2		
		微生物学実験	1		
		食品加工演習		1	
公衆衛生学 食品衛生学 1科目以上 環境衛生学 衛生行政学、疫学		公衆衛生学	2		
		食品衛生学	1		
		食品衛生学実験	1		
		公衆栄養学 I	2		
小 計				28	2
(例示) 病理学 医学概論 栄養学、酵素化学 栄養学 環境保健学 解剖学、栄養化学、血清学 衛生管理学 衛生統計学 医化学、遺伝学 環境保健学 衛生管理学 衛生管理学 血液学、栄養化学 衛生管理学		(例示科目該当科目)			
		病理学	2		
		医学概論		1	
		栄養学総論	2		
		栄養学各論 I	2		
		栄養学各論 II	2		
		栄養学実験	1		
		臨床栄養学 I	2		
		臨床栄養学 II	2		
		病態栄養学	2		
		応用栄養生理学	2		
		臨床栄養学実習 I	1		
		臨床栄養学実習 II	1		
		臨床栄養学実験	1		
		公衆栄養学実習 I	1		
		(例示科目以外の関連科目)			
		調理学	2		
	調理学実習 I	1			
	調理学実習 II	1			
	食生活論		1		
栄養教育論 I	2				
栄養教育論 II	2				
栄養教育実習	1				
給食経営管理論 I	2				
給食経営管理論 II	1				
フードシステム学	2				
給食経営管理実習 I	1				
給食経営管理実習 II	1				
給食運営実習	1				
小 計		38	2		
合 計		66	4		

栄養学科 カリキュラムマップ<2021年度>

授業科目の名称		学位授与の方針に対する関与の程度							
		A	B	C-1	C-2	D	E	F	G
専門基礎	社会・環境と健康	医学概論			◎				
		公衆衛生学			◎				
		健康管理論			◎				
		社会福祉政策論			◎				
		保健福祉システム概論			◎				
		看護の世界			◎				
	人体の構造と機能・疾病の成立	食生活論	○		◎				○
		健康情報演習			◎				
		病理学				◎			
		生化学				◎			
		微生物学				◎			
		内科学				◎			
		栄養サポートチーム論				◎			
		代謝生化学				◎			
		分子生物学				◎			
		栄養学のための解剖生理学				◎			
		薬理学				◎			
		解剖生理学実験 I				◎			
		解剖生理学実験 II				◎			
		微生物学実験				◎			
分野	食べ物と健康	生化学実験 I				◎			
		生化学実験 II				◎			
		食品学 I				◎			
		食品学 II				◎			
		食品材料学				◎			
		食品加工演習				◎			
		食品分析学				◎			
		食品衛生学				◎			
		調理学				◎			
		フードビジネス学			○	○			
		食品学実験 I				◎			
		食品学実験 II				◎			
		食品衛生学実験				◎			
		調理学実習 I				◎			
調理学実習 II				◎					
基礎	基礎栄養学	栄養学総論				◎			
		栄養学基礎実験				◎			
		栄養学実験				◎			
	応用栄養学	栄養学各論 I				◎			
		栄養学各論 II				◎			
		応用栄養生理学				◎			
		スポーツ栄養学				◎			
		栄養学実習				◎			
	栄養教育論	栄養教育論 I				◎			
		栄養教育論 II				◎			
		カウンセリング演習				◎			
		栄養教育プログラム論				◎			
	臨床栄養学	栄養教育実習				◎			
		病態栄養学				◎			
臨床栄養学 I					◎				
臨床栄養学 II					◎				
臨床栄養管理					◎				
公衆栄養学	臨床栄養学実験				◎				
	臨床栄養学実習 I				◎				
	公衆栄養学 I				◎				
給食経営管理論	公衆栄養学 II				◎				
	給食経営管理論 I				◎				
	給食経営管理論 II				◎				
	フードシステム学				◎				
総合演習	給食経営管理実習 I				◎				
	総合演習 I		◎				○		
	総合演習 II		◎				○		
	総合演習 III		○				○		
	チームガバナビリティ演習		○				◎		
	海外研修(保健福祉学)						◎		
	地域保健福祉演習						◎		
	未来型プロジェクト<食>		○				◎		
臨地実習	臨床栄養学実習 II		◎				○		
	給食運営実習		◎				○		
	公衆栄養学実習 II		◎				○		
	給食経営管理実習 II		◎				○		
教職に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	卒業研究					◎		
		教育基礎論						○	
		教師論						○	
		教育心理学						○	
		特別支援教育概論						○	
	道徳・総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育課程論						○	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(道徳教育を含む)				○			
		教育方法論				○			
		生徒指導論				○			
		教育相談(カウンセリング論を含む)				○			
教育実践に関する科目	学校栄養教育実習 I(事前事後指導)						○		
	学校栄養教育実習 II						○		
	教職実践演習(栄養教育論)					○	○		
栄養に係る教育に関する科目	学校栄養教育論 I					○			
	学校栄養教育論 II					○			

栄養学科 DP

DP(学位授与の方針)	
<b>A 【人間・社会・自然の理解】</b>	人文科学、社会科学、自然科学、健康科学の知識を通して、人間・社会・自然を理解する力を身に付けている。
<b>B 【倫理観】</b>	栄養学を人の健康の維持・増進、病気の予防・治療へと応用する専門職業人として必要な倫理観と豊かな人間性を身に付けている。
<b>C-1 【専門的知識・技能1】</b>	保健、医療、福祉、教育の分野で栄養学の専門職として総合的に貢献するために必要な基礎的知識と技能を身に付けている。
<b>C-2 【専門的知識・技能2】</b>	人体の構造と機能・疾病の成立ちや食と健康の相互関係を科学的に理解し、栄養学的課題を明らかにするために必要な専門的知識と技能を身に付けている。
<b>D 【論理的思考力・判断力・実践力】</b>	多様な個人や集団の栄養課題を解決するために、適切かつ高度な食・健康支援を企画提案するための論理的思考力・判断力を身に付け、栄養学の専門分野を統合して人の健康の維持・増進、病気の予防・治療へと応用する実践力を身に付けている。
<b>E 【課題発見・解決力】【主体性】</b>	食と人とのかわりにおける未知なる事象の解明に向けて主体的に栄養学関連分野における課題を発見し、解決できる能力を身に付けている。
<b>F 【コミュニケーション力】</b>	グローバル化社会において岡山県から広く地域社会及び国際社会に貢献するためのコミュニケーション力を身に付けている。
<b>G 【多様な人々と協働する力】</b>	保健、医療、福祉、教育関連分野で貢献するために、自他の役割を理解し、多様な人々と協働・協働して課題を解決する力を身に付けている。



栄養学科 カリキュラムツリー <2021年度>

DP (学位授与 方針)	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
修学基礎	大学で学ぶ フレッシュマンセミナー	社会を生きる力を学ぶ						
A	人文・社会科学要論							
	自然科学要論							
	人文・社会科学科目群							
	自然科学科目群							
	健康科学科目群							
	複合PBL科目群							
B					総合演習Ⅰ 臨床栄養学実習Ⅰ、給食運営実習Ⅰ、公衆栄養学実習Ⅰ、給食経営管理実習Ⅰ	総合演習Ⅱ 臨床栄養学実習Ⅱ、給食運営実習Ⅱ、公衆栄養学実習Ⅱ、給食経営管理実習Ⅱ	総合演習Ⅲ	
C-1	健康管理論 公衆衛生学	健康情報演習	保健福祉システム概論					
C-2			栄養学のための解剖生理学	解剖生理学実験Ⅰ		解剖生理学実験Ⅱ		
	生化学	代謝生化学	病理学	内科学	生化学実験Ⅰ			
		微生物学	分子生物学	微生物学実験	生化学実験Ⅱ	食品衛生学実験		
		食品学Ⅰ・Ⅱ	食品衛生学	食品学実験Ⅰ				
	調理学	調理学実習Ⅰ	食品材料学	食品学実験Ⅱ				
			食品学実験Ⅰ					
			調理学実習Ⅱ					
D	栄養学基礎実験	栄養学総論	栄養学各論Ⅰ	栄養学実験 栄養学各論Ⅱ 応用栄養生理 栄養教育論Ⅰ 栄養教育プログラム論	栄養学実習			
			カウンセリング演習		栄養教育論Ⅱ			
					栄養教育実習			
					病態栄養学			
					臨床栄養学Ⅰ	臨床栄養管理	臨床栄養学Ⅱ	
					臨床栄養学実験			
					臨床栄養学実習Ⅰ			
					公衆栄養学実習Ⅰ			
					給食経営管理論Ⅰ・Ⅱ			
					給食経営管理実習Ⅰ			
	フードシステム学	公衆栄養学Ⅰ		公衆栄養学Ⅱ				
E		地域資源論					卒業研究	
	複合PBLセミナー							
F	ELP1	ELP3	ELP5	ELP6				
	ELP2	ELP4						
	語学国際学科目群							
	複合PBL科目群							
	海外研究(保健福祉学)							
G	社会連携要論	地域資源論			チームガバナンス演習			
	複合PBLセミナー				地域保健福祉演習			
	社会連携科目群							

第4章 学部教育  
(保健福祉学部)

## 2. 7 履修モデル（履修上の留意点）

### ① 共通教育科目について

共通教育科目は1年次を中心に、1年次から4年次までの間に履修する。とくに、本学科は学部教育における多くの科目の教育基盤である生物学、化学、統計学Bは1年次生で履修することが望ましい。

### ② 学部教育科目について

学部教育科目の大半は必修科目となっているので、それぞれの開講年次に修得しておくことに留意すること。1年次から3年次前期にかけて開講される多くの科目は、3年次後期に開講されている3領域の臨地(学外)実習への準備という重要な意味を持つ。例えば、公衆栄養学 I (1年次開講)、公衆栄養学 II(2年次開講)、公衆栄養学実習 I(3年次前期開講)を修得していない者は、臨地実習の公衆栄養学実習 II(3年次後期開講)を履修申請できない。

臨床（病院・高齢者施設等）管理栄養士をめざす場合

共通教育科目							
1 年次	単位	2 年次	単位	3 年次	単位	4 年次	単位
大学で学ぶ	1	ELP5～ELP6	2				
フレッシュマンセミナー	1						
自然科学要論	2						
人文・社会科学要論	2						
ELP1～ELP4	4						
社会連携要論	1						
地域資源論	1						
[人文・社会科学]から4	4						
統計学B	2						
生物学	2						
化学	2						
[健康科学]から2	2						
複合PBL 科目から1	1						
[全カテゴリー]から1	1						
小計	25	小計	2	小計	0	小計	0
備考							
・ 共通教育選択科目は 14 単位以上を習得する。斜字は選択科目を示し、以下に内訳と科目例を示す。 [人文・社会科学]から4単位 例) 倫理学、人文・社会科学セミナーC [自然科学基幹科目の情報・統計]から2単位 統計学B [自然科学基幹科目の理科]から4単位 生物学・化学 [健康科学]から2単位 例) 健康科学要論 [全カテゴリー]から1単位 例) 地域創生演習、海外研修(保健福祉学)							
学部教育科目							
1 年次	単位	2 年次	単位	3 年次	単位	4 年次	単位
公衆衛生学	2	保健福祉システム概論	2	解剖生理学実験Ⅱ	1	臨床栄養学Ⅱ	2
健康管理論	2	病理学	2	生化学実験Ⅱ	1	総合演習Ⅲ	1
健康情報演習	1	内科学	2	食品衛生学実験	1	卒業研究	10
生化学	2	分子生物学	2	栄養学実習	1		
微生物学	2	栄養学のための解剖生理学	2	栄養教育論Ⅱ	2		
代謝生化学	2	解剖生理学実験Ⅰ	1	栄養教育実習	1		
食品学Ⅰ	2	微生物学実験	1	病態栄養学	2		
食品学Ⅱ	2	生化学実験Ⅰ	1	臨床栄養学Ⅰ	2		
調理学	2	食品材料学	2	臨床栄養管理	2		
調理学実習Ⅰ	1	食品衛生学	1	臨床栄養学実験	1		
栄養学総論	2	食品学実験Ⅰ	1	臨床栄養学実習Ⅰ	1		
栄養学基礎実験	1	食品学実験Ⅱ	1	公衆栄養学実習Ⅰ	1		
公衆栄養学Ⅰ	2	調理学実習Ⅱ	1	給食経営管理論Ⅰ	2		
フードシステム学	2	栄養学実験	1	給食経営管理論Ⅱ	1		
		栄養学各論Ⅰ	2	給食経営管理実習Ⅰ	1		
		栄養学各論Ⅱ	2	総合演習Ⅰ	1		
		応用栄養生理学	2	総合演習Ⅱ	1		
		栄養教育論Ⅰ	2	臨床栄養学実習Ⅱ	1		
		カウンセリング演習	1	給食運営実習	1		
		栄養教育プログラム論	1	公衆栄養学実習Ⅱ	1		
		公衆栄養学Ⅱ	2	給食経営管理実習Ⅱ	1		
		薬理学	2	栄養学チーム論	1		
				チームバリエーション演習	1		
小計	25	小計	34	小計	28	小計	13
備考							
・ 専門基礎分野および専門分野から 100 単位以上を習得すること。斜字は選択科目例を示す。							
履修上の注意							
・ 3 年次修了までに、105 単位以上を修得すること。							

栄養学科 履修モデル 栄養教諭をめざす場合

共通教育科目							
1 年次	単位	2 年次	単位	3 年次	単位	4 年次	単位
大学で学ぶ	1	ELP5～ELP6	2				
フレッシュマン	1	*教育方法論	(*2)				
自然科学要論	2	*生徒指導論	(*2)				
人文・社会科学要論	2	*教育相談 (初年が論を含む)	(*1)				
ELP1～ELP4	*4						
社会連携要論	1	*特別支援教育概論	(*1)				
地域資源論	1						
[人文・社会科学]から4	2+*2						
統計学B	2						
生物学	2						
化学	2						
[健康科学]から2	*2						
複合PBL科目から1	1						
[全カテゴリー]から1	1						
*教育基礎論	(*2)						
*教師論	(*2)						
*教育心理学	(*2)						
*教育課程論	(*1)						
*特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	(*1)						
*コンピュータ演習I	(*1)						
小計	26(*9)	小計	2(*6)	小計	0	小計	0
備考 ・ 共通教育選択科目卒業要件は 14 単位以上を習得する。斜字は選択科目を示し、以下に内訳と科目例を示す。 [人文・社会科学]から 4 単位 (例) 倫理学、人文・社会科学セミナーC [自然科学基幹科目の情報・統計]から 2 単位 統計学B [自然科学基幹科目の理科]から 4 単位 生物学・化学 [健康科学]から 2 単位 (例) 健康科学要論 [全カテゴリー]から 1 単位 (例) 地域創生演習、海外研修 (保健福祉学) ・ 栄養教諭一種免許状取得のために必要な取得単位数 32 単位である。( ) は卒業要件単位以外に免許取得に必要な単位数を示す。 ・ 教職教育科目は*で示す。共通教育科目を含む教職必修科目の計 23 単位を習得すること。							
学部教育科目							
1 年次	単位	2 年次	単位	3 年次	単位	4 年次	単位
公衆衛生学	2	保健福祉システム概論	2	解剖生理学実験Ⅱ	1	臨床栄養学Ⅱ	2
健康管理論	2	病理学	2	生化学実験Ⅱ	1	総合演習Ⅲ	1
*健康情報演習	*1	内科学	2	食品衛生学実験	1	卒業研究	10
生化学	2	分子生物学	2	栄養学実習	1	*学校栄養教育論Ⅱ	(*2)
微生物学	2	栄養学のための解剖生理学	2	栄養教育論Ⅱ	2	*学校栄養教育実習Ⅱ	(*1)
代謝生化学	2	解剖生理学実験Ⅰ	1	栄養教育実習	1	*教職実践演習	(*2)
食品学Ⅰ	2	微生物学実験	1	病態栄養学	2		
食品学Ⅱ	2	生化学実験Ⅰ	1	臨床栄養学Ⅰ	2		
調理学	2	食品材料学	2	臨床栄養管理	2		
調理学実習Ⅰ	1	食品衛生学	1	臨床栄養学実験	1		
栄養学総論	2	食品学実験Ⅰ	1	臨床栄養学実習Ⅰ	1		
栄養学基礎実験	1	食品学実験Ⅱ	1	公衆栄養学実習Ⅰ	1		
公衆栄養学Ⅰ	2	調理学実習Ⅱ	1	給食経営管理論Ⅰ	2		
フードシステム学	2	栄養学実験	1	給食経営管理論Ⅱ	1		
食生活論	1	栄養学各論Ⅰ	2	給食経営管理実習Ⅰ	1		
		栄養学各論Ⅱ	2	総合演習Ⅰ	1		
		応用栄養生理学	2	総合演習Ⅱ	1		
		栄養教育論Ⅰ	2	臨床栄養学実習Ⅱ	1		
		カウンセリング演習	1	給食運営実習	1		
		栄養教育プログラム論	1	公衆栄養学実習Ⅱ	1		
		公衆栄養学Ⅱ	2	給食経営管理実習Ⅱ	1		
		食品加工演習	1	チームハバリエーション演習	1		
				*学校栄養教育論Ⅰ	(*2)		
				*学校栄養教育実習Ⅰ	(*1)		
小計	26	小計	33	小計	28(*3)	小計	13(*5)
備考 ・ 専門基礎分野および専門分野から 100 単位以上を習得すること。斜字は選択科目例を示す。 ・ 教職教育科目は*で示す。学部教育科目の 1 単位含む教職必修科目の計 9 単位を習得すること。							
履修上の注意 ・ 3 年次修了までに、105 単位以上を修得すること							

栄養学科 履修モデル

行政（保健所、市町村保健センター等）管理栄養士をめざす場合

共通教育科目							
1 年次	単位	2 年次	単位	3 年次	単位	4 年次	単位
大学で学ぶ	1	ELP5～ELP6	2				
フレッシュマンセミナー	1	*地域創生実践論	(*1)				
自然科学要論	2						
人文・社会科学要論	2						
ELP1～ELP4	4						
*社会連携要論	1						
*地域資源論	1						
*地域創生演習	1						
[人文・社会科学]から4	4						
統計学B	2						
生物学	2						
化学	2						
[健康科学]から2	2						
複合PBL科目から1	1						
[全カテゴリー]から1	1						
小計	26(*1)	小計	2(*1)	小計	0	小計	0
備考							
・ 共通教育選択科目は14単位以上を習得する。斜字は選択科目を示し、以下に内訳と科目例を示す。 [人文・社会科学]から4単位 例) 倫理学、人文・社会科学セミナーC [自然科学基幹科目の情報・統計]から2単位 統計学B [自然科学基幹科目の理科]から4単位 生物学・化学 [健康科学]から2単位 例) 健康科学要論 [全カテゴリー]から1単位 例) *地域創生演習、海外研修(保健福祉学) ・ 地域創生推進士のために必要な取得単位数10単位である。( )は卒業要件単位以外に推進士取得に必要な単位数を示す。 ・ 岡山創生学課程の科目は*で示す。共通教育科目を含む岡山創生学修了のための計5単位以上を習得すること。							
学部教育科目							
1 年次	単位	2 年次	単位	3 年次	単位	4 年次	単位
公衆衛生学	2	保健福祉システム概論	2	解剖生理学実験Ⅱ	1	臨床栄養学Ⅱ	2
健康管理論	2	病理学	2	生化学実験Ⅱ	1	総合演習Ⅲ	1
健康情報演習	1	内科学	2	食品衛生学実験	1	卒業研究	10
生化学	2	分子生物学	2	栄養学実習	1		
微生物学	2	栄養学のための解剖生理学	2	栄養教育論Ⅱ	2		
代謝生化学	2	解剖生理学実験Ⅰ	1	栄養教育実習	1		
食品学Ⅰ	2	微生物学実験	1	病態栄養学	2		
食品学Ⅱ	2	生化学実験Ⅰ	1	臨床栄養学Ⅰ	2		
調理学	2	食品材料学	2	臨床栄養管理	2		
調理学実習Ⅰ	1	食品衛生学	1	臨床栄養学実験	1		
栄養学総論	2	食品学実験Ⅰ	1	臨床栄養学実習Ⅰ	1		
栄養学基礎実験	1	食品学実験Ⅱ	1	*公衆栄養学実習Ⅰ	1		
公衆栄養学Ⅰ	2	調理学実習Ⅱ	1	給食経営管理論Ⅰ	2		
フードシステム学	2	栄養学実験	1	給食経営管理論Ⅱ	1		
社会福祉政策論	2	栄養学各論Ⅰ	2	給食経営管理実習Ⅰ	1		
		栄養学各論Ⅱ	2	総合演習Ⅰ	1		
		応用栄養生理学	2	総合演習Ⅱ	1		
		栄養教育論Ⅰ	2	臨床栄養学実習Ⅱ	1		
		カウンセリング演習	1	給食運営実習	1		
		栄養教育プログラム論	1	*公衆栄養学実習Ⅱ	1		
		公衆栄養学Ⅱ	2	給食経営管理実習Ⅱ	1		
				*チームパフォーマンス演習	1		
				*地域保健福祉演習	1		
小計	27	小計	32	小計	28	小計	13
備考							
・ 専門基礎分野および専門分野から100単位以上を習得すること。斜字は選択科目例を示す。 ・ 岡山創生学課程の科目は*で示す。学部教育科目の2単位含む岡山創生学課程修了のための計5単位以上を習得すること。							
履修上の注意							
・ 3年次修了までに、105単位以上を修得すること。							

食品系企業をめざす場合

共通教育科目							
1 年次	単位	2 年次	単位	3 年次	単位	4 年次	単位
大学で学ぶ	1	ELP5～ELP6	2				
フレッシュメンター	1						
自然科学要論	2						
人文・社会科学要論	2						
ELP1～ELP4	4						
社会連携要論	1						
地域資源論	1						
[人文・社会科学]から4	4						
統計学B	2						
生物学	2						
化学	2						
[健康科学]から2	2						
複合PBL 科目から1	1						
[全カテゴリー]から1	1						
小計	26	小計	2	小計	0	小計	0
備考							
・ 共通教育選択科目は 14 単位以上を習得する。斜字は選択科目を示し、以下に内訳と科目例を示す。 [人文・社会科学]から 4 単位 例) 経済学、経営学 [自然科学基幹科目の情報・統計]から 2 単位 統計学 B [自然科学基幹科目の理科]から 4 単位 生物学・化学 [健康科学]から 2 単位 例) 健康科学要論 [全カテゴリー]から 1 単位 例) 未来社会論 (人文・社会科学)、海外研修 (保健福祉学)							
学部教育科目							
1 年次	単位	2 年次	単位	3 年次	単位	4 年次	単位
公衆衛生学	2	保健福祉システム概論	2	解剖生理学実験Ⅱ	1	臨床栄養学Ⅱ	2
健康管理論	2	病理学	2	生化学実験Ⅱ	1	総合演習Ⅲ	1
健康情報演習	1	内科学	2	食品衛生学実験	1	卒業研究	10
生化学	2	分子生物学	2	栄養学実習	1	*未来型プロジェクト<食>	4
微生物学	2	栄養学のための解剖生理学	2	栄養教育論Ⅱ	2		
代謝生化学	2	解剖生理学実験Ⅰ	1	栄養教育実習	1		
食品学Ⅰ	2	微生物学実験	1	病態栄養学	2		
食品学Ⅱ	2	生化学実験Ⅰ	1	臨床栄養学Ⅰ	2		
調理学	2	食品材料学	2	臨床栄養管理	2		
調理学実習Ⅰ	1	食品衛生学	1	臨床栄養学実験	1		
栄養学総論	2	食品学実験Ⅰ	1	臨床栄養学実習Ⅰ	1		
栄養学基礎実験	1	食品学実験Ⅱ	1	公衆栄養学実習Ⅰ	1		
公衆栄養学Ⅰ	2	調理学実習Ⅱ	1	給食経営管理論Ⅰ	2		
フードシステム学	2	栄養学実験	1	給食経営管理論Ⅱ	1		
食品分析学	1	栄養学各論Ⅰ	2	給食経営管理実習Ⅰ	1		
		栄養学各論Ⅱ	2	総合演習Ⅰ	1		
		応用栄養生理学	2	総合演習Ⅱ	1		
		栄養教育論Ⅰ	2	臨床栄養学実習Ⅱ	1		
		カウンセリング演習	1	給食運営実習	1		
		栄養教育プログラム論	1	公衆栄養学実習Ⅱ	1		
		公衆栄養学Ⅱ	2	給食経営管理実習Ⅱ	1		
		食品加工演習	1	*フードビジネス学	2		
				*チームがバナー作り演習	1		
				*地域保健福祉演習	1		
小計	27	小計	32	小計	26(*4)	小計	17(*4)
備考							
・ 専門基礎分野および専門分野から 100 単位以上を習得すること。斜字は選択科目例を示す。 ・ のために必要な取得単位数は 8 単位である。( ) は卒業要件単位以外に地域創生クリエイター取得に必要な単位数を示す。 ・ 吉備の杜クリエイター課程の科目は*で示す。吉備の杜クリエイター課程を修了すると、地域創生クリエイターの称号を与えられる。吉備の杜クリエイター課程の修了のためには、*で示す計 8 単位を習得するとともに、活動要件をみたすこと。							
履修上の注意							
・ 3 年次修了までに、105 単位以上を修得すること。							

### 3 現代福祉学科

#### 3.1 本学科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

現代福祉学科は、少子高齢社会やグローバル社会といった複雑化する現代社会において生じている多様な社会的、個人的ニーズを科学的に解明し、すべての人々の健康と幸福の増進のために、介護福祉学を含む社会福祉学関連の学問を基盤に、グローバルセンスをもって岡山県から広く地域社会及び国際社会に能動的、創造的に貢献できる人材の育成を目指しています。

本学科では、卒業の要件を満たすことにより、次の能力や態度・意欲を身につけた者に学位を授与します。

- A. 【人間・社会・自然の理解】人文科学、社会科学、自然科学、健康科学の知識を通して、人間・社会・自然を理解する力を身に付けている。
- B. 【倫理観】様々な社会問題に対する福祉の専門職業人として必要な倫理観と豊かな人間性を身に付けている。
- C-1. 【専門的知識・技能1】個人や社会から得られたデータを用いた社会福祉学的課題や福祉サービス利用者の援助上の課題を明らかにする専門的知識と技能を身に付けている。
- C-2. 【専門的知識・技能2】福祉ならびに保健、医療、教育等の福祉以外の分野のサービス利用者が抱える多様な福祉ニーズの理解及び課題解決のために必要な専門的知識と技能を身につけている。
- D. 【論理的思考力・判断力・実践力】多様な社会的課題や個人の生活課題を理解し、解決していく能力、多様な福祉ニーズに対応する福祉プログラムを企画立案する能力、及び学際的な視点から情報交流や意見交換を行い、多様な福祉ニーズに対応できる能力を身に付けている。
- E. 【課題発見・解決力】【主体性】社会福祉学ならびにその関連分野における課題を発見し主体的に解決する力とともに、多様な福祉ニーズに対応する力を身に付けている。
- F. 【コミュニケーション力】多様な福祉ニーズを有している外国人に対応するコミュニケーション能力や、地域社会や国際社会における福祉の実践感覚を身に付けている。
- G. 【多様な人々と協働する力】保健、医療、福祉、教育関連分野で貢献するための課題解決に必要な自己管理能力及びマネジメント力や、自他の役割を理解し、多様な人々と協調・協働して課題を解決する力を身に付けている。

#### 3.2 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

現代福祉学科では、学位授与の方針に掲げる人材を育成するため、4年間で系統的に修得した介護福祉学を含む社会福祉学関連の広範囲な分野の専門的知識を基礎として、グローバルセンスを持ち、地域社会や国際社会に貢献できる知識・技術・価値を修得し、社会福祉学関連の専門的活動ができるよう、体系的な教育課程を以下のように編成しています。

【共通教育科目】共通教育科目では、福祉職または社会福祉学に関連する専門職の活動に求められる知的実践的自律性を培うため、教養教育の導入、理論、実践を網羅する科目群を編成しています。

【修学基礎力】高校の学びから大学での学びへの転換と準備のための初年次教育ならびに現代福祉学の専門性への学びを促す修学基礎科目群

【人間・社会・自然の理解】人間や社会及び文化について考えるため、普遍的な理論や知識を修得し、人間理解を深めるとともに、社会の仕組みや歴史を修得し、そのあり方を問う論理的思考力や課題発見力を養う人文・社会科学科目群

自然現象やそれに関わる発見から普遍的な真理を探究することを通じ、論理的思考力や課題発見力などを身に付ける自然科学科目群

心身の健康に関する理論や知識を修得し、生活する上で適切な判断を導く思考力を養うとともに、生涯にわたり健全な社会生活を送るための技能を修得する健康科学科目群

以上の学問分野において、主体的に課題を設定し、調査、考察、発表、討論を経て最終的な解決に取り組む複合 PBL 科目群

【コミュニケーション力】グローバル化する国内外の地域で活躍するために必要な語学力を育成する語学国際科目群、相互対話によって問題に取り組み自らの見解を他者に合理的に発信できる複合 PBL 科目群

【多様な人々と協働する力】豊かな人間性を持って地域で活躍するために必要な課題発見力と多様な人々との協働性を養成する社会連携科目群

【学部教育科目】学部教育科目では、社会福祉学コースにおいて、ソーシャルワーカーとして必要な相談援助の理論やこれを活用するための技術等を涵養する次の科目群を編成しています。また、介護福祉マネジメント学コースにおいては、組織等のマネジメント力を身に付けた介護福祉学の専門職として必要な理論やこれを活用するための技術等を涵養する科目群を編成しています。

【専門的知識・技能1】社会福祉学コースでは、個人や社会から得られたデータを用いて、福祉的課題を明らかにする能力を養成する「専門共通科目」ならびに「福祉行政・スクールソーシャルワーク」の科目群

介護福祉マネジメント学コースでは、個人や社会から得られたデータを用いて、福祉の課題を明らかにする能力を養成する「専門共通科目」ならびに「マネジメント学」の科目群

【専門的知識・技能2】社会福祉学コースでは、様々な福祉サービス利用者の援助上の課題を明らかにする能力や様々な分野で展開されるソーシャルワーク実践に必要な専門的知識と技術力を養成する「福祉行政・スクールソーシャルワーク」ならびに「ソーシャルワーク」の科目群

介護福祉マネジメント学コースでは、様々な福祉サービス利用者の援助上の課題や組織等の課題を明らかにする能力やマネジメント力を身に付けた介護福祉学の専門職に必要な専門的知識と技術力を養成する「健康科学」ならびに「マネジメント学」の科目群

【論理的思考力・判断力・実践力】社会福祉学コースでは、個人や社会が抱える課題を解決するために、ソーシャルワーカーとしての論理的思考力、判断力、実践力を身に付ける「学科共通科目」ならびに「ソーシャルワーク」の科目群

介護福祉マネジメント学コースでは、組織等のマネジメント力を身に付けた介護福祉学の専門職としての論理的思考力、判断力、実践力を身に付ける「学科共通科目」「介護福祉学」および「マネジメント学」の科目群

【倫理観】社会福祉学コースでは、修得した社会福祉学をはじめとする広範の専門的知識を通じて、高度専門職業人として必要な豊かな人間性と倫理観をもつとともに、創造的思考・表現・企画提案力を身に付ける「ソーシャルワーク」「福祉行政・スクールソーシャルワーク」及び「医療・精神保健ソーシャルワーク」の科目群

介護福祉マネジメント学コースでは、修得した広範の専門的知識を通じて、高度専門職業人として必要な豊かな人間性と倫理観をもつとともに、個人や組織のアセスメントや計画立案といった創造的思考・表現・企画提案力を身に付ける「介護福祉学」ならびに「マネジメント学」の科目群

【課題発見・解決力】【主体性】社会福祉学コースでは、系統的に修得した社会福祉学に関連する広範囲な分野の専門的知識を基礎として、1年を通じ、研究対象に関する深い知識の獲得や、発見した個人や社会の課題を解決に導くため、ソーシャルワーカーの倫理を遵守した計画を主体的に立案し遂行する能力とともに、これまで身につけた知識や技術を、生涯にわたって自ら積み上げていく力を養う卒業研究



介護福祉マネジメント学コースでは、系統的に修得した介護福祉学、マネジメント学に関する広範囲な分野の専門的知識を基礎として、1年を通じ、研究対象に関する深い知識の獲得や、発見した介護福祉や介護に関連する組織等のマネジメントの課題を解決に導くため、介護福祉士の倫理を遵守した計画を主体的に立案し遂行する能力を養う卒業研究

### 教育課程の編成

現代福祉学科では以下に示す教育課程を編成している。

専門共通科目	両コースの学生が履修する科目である。保健福祉学の基礎理論及び知識を修得するとともに、研究方法を身につけ卒業論文としてまとめる。
専門科目(社会福祉学コース)	社会福祉学コースの学生が履修する科目である。現代社会の多様な問題解決ができるソーシャルワーカーに必要な社会福祉学の専門的理論、知識及びソーシャルワークの方法・技術を修得する。加えて、精神保健福祉士やスクールソーシャルワーカーに求められる専門的知識及び方法・技術を修得する。
専門科目(介護福祉マネジメント学コース)	介護福祉マネジメント学コースの学生が履修する科目である。経営に強い介護福祉のリーダーや介護福祉分野の企業人に必要なマネジメント学及び介護福祉学の専門的理論、知識、方法・技術を修得する。

### 3.3 卒業要件と履修方法

#### (1) 卒業要件

現代福祉学科(令和3年度入学生用)

	必修科目	選択科目	計
共通教育科目	16単位	12単位	28単位
学部教育科目	22単位	74単位	96単位
計	38単位	86単位	124単位

#### (2) 研究ゼミナールの履修要件

4年次には必修科目として、卒業論文に取り組むための「研究ゼミナール」を課している。「研究ゼミナール」の履修要件は、4年次に、研究ゼミナール4単位を含め30単位以内を単位修得することにより卒業要件単位(共通教育科目と学部教育科目を総合した124単位)を満たすものとする。

#### (3) 他学部・他学科・他コース開講科目の扱い

保健福祉学部の他学科、現代福祉学科の他コース並びに他学部開講の学部教育科目の単位を修得した場合、修得単位の4単位までを本学科の学部教育科目の選択科目として認定する。当該授業科目の категорияは保健福祉学部長が決定する。修得単位は卒業要件単位数に含める。

#### (4) 履修上の留意点

現代福祉学科における学部教育科目は、資格取得のための科目と、スペシャリストとして必要な専門基礎に関する科目及びより専門性を高めるための科目からなる。将来の進路としては、社会福祉行政、児童施設、高齢者施設、障害者施設、病院、教育機関、教育行政、福祉関連企業などがある。履修計画では、このことを考えて、必修科目や資格取得科目だけでなく、専門分野に沿った選択科目を幅広く履修し、専門職としての見識や能力をより高めるようにする。

ただし、表2～表4に定める科目は、履修に際して条件が定められているため表の注記に従うこと。

(5) 社会福祉学コース 授業科目

授業科目の名称	授業の方法	担当教員	開講年次及び 必修選択の別				開講 時間数	開講 単位数	卒業要件 単位数	
			1	2	3	4				
専門共通科目	現代福祉入門	講義	学科長他	◎				30	2	96 単 位
	社会学と社会システム	講義	近藤	◎				30	2	
	社会福祉の原理と政策 I	講義	村社	◎				30	2	
	医学概論	講義	高戸・中村・ ※非常勤	◎				30	2	
	ソーシャルワークの基盤と専門職 I	講義	村社	◎				30	2	
	人間関係形成とコミュニケーション	講義	佐藤	◎				30	2	
	社会保障 I	講義	岩満	○				30	2	
	ソーシャルワークの基盤と専門職 II	講義	竹本	○				30	2	
	地域福祉と包括的支援体制 I	講義	岩満	○				30	2	
	福祉産業論	講義	未定		○			30	2	
	サービスマーケティング論	講義	未定		◎			30	2	
	高齢者福祉	講義	桐野		○			30	2	
	身体機能と障害	講義	中村・高戸		○			30	2	
	知的発達と障害	講義	中村		○			30	2	
	権利擁護を支える法制度	講義	桐野			○		30	2	
	福祉サービスの組織と経営	講義	井上(祐)			○		30	2	
	現代の精神保健の課題と支援 I	講義	周防			○		30	2	
	チームガバナビリティ演習	演習	中村 他			○		30	1	
	地域保健福祉演習	演習	坂野・久保田 ・住吉			○		30	1	
	フードビジネス学	講義	伊東 他			○		30	2	
未来型プロジェクト<食>	演習	伊東 他				○	120	4		
海外研修(保健福祉学)	演習	関根 他	○				30	1		
基礎ゼミナール〔隔週〕	演習	学科長・坂野 ・樂木・未定		◎			30	1		
専門ゼミナール〔隔週〕	演習	学科教員			◎		30	1		
研究ゼミナール	演習	学科教員				◎	120	4		
専門科目	福祉行政・スクールソーシャルワーク	児童・家庭福祉 I	講義	周防		○		30	2	
		児童・家庭福祉 II	講義	周防		○		30	2	
		家族福祉論	講義	周防			◎		30	2
		障害者福祉	講義	坂野		○			30	2
		貧困に対する支援	講義	岩満			○		30	2
		社会福祉の原理と政策 II	講義	岩満			○		30	2
		社会保障 II	講義	岩満		○			30	2
		国際福祉論	講義	近藤		○			30	2
		国際家族政策論	講義	近藤			○		30	2
		地域福祉と包括的支援体制 II	講義	岩満		○			30	2
	ソーシャルワーク	社会病理学	講義	近藤		○			30	2
		社会福祉調査の基礎	講義	近藤・桐野			○		30	2
		社会福祉調査演習	演習	近藤・桐野			○		30	1
		福祉のまちづくり政策論	講義	高戸			○		30	2
		スクールソーシャルワーク論	講義	周防			○		30	2
		スクールソーシャルワーク演習	演習	周防			○		30	1
		スクールソーシャルワーク実習指導	実習	周防				○	45	1
		スクールソーシャルワーク実習	実習	周防				○	90	2
		発達心理学	講義	樂木		○			30	2
		教育社会学	講義	近藤			○		30	2
ソーシャルワーク	ソーシャルワークの理論と方法 I	講義	竹本		○			30	2	
	ソーシャルワークの理論と方法 II	講義	村社			○		30	2	
	ソーシャルワークの理論と方法 III	講義	竹本			○		30	2	
	ソーシャルワークの理論と方法 IV	講義	竹本				○	30	2	

ソーシャルワーク演習Ⅰ	演習	竹本・桐野		○		30	1
ソーシャルワーク演習Ⅱ	演習	竹本・桐野		○		30	1
ソーシャルワーク演習Ⅲ	演習	村社・佐藤			○	60	2
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	実習	竹本・村社・ 近藤・桐野・ 周防・澤田・ 井上		○		45	1
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	実習	竹本・村社・ 近藤・桐野・ 周防・澤田・ 井上			○	45	1
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	実習	桐野・竹本・ 村社・近藤・ 周防・澤田・ 井上			○	45	1
ソーシャルワーク実習	実習	竹本・村社・ 近藤・桐野・ 周防・澤田・ 井上			○	240	6
保健医療と福祉	講義	竹本			○	30	2
ソーシャルワーク演習Ⅳ	演習	竹本・桐野			○	30	1
刑事司法と福祉	講義	※藤原			○	30	2
精神保健福祉の原理Ⅰ	講義	坂野			○	30	2
精神保健福祉の原理Ⅱ	講義	大倉			○	30	2
精神保健ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	講義	大倉			○	30	2
精神保健ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	講義	周防			○	30	2
精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ	演習	大倉			○	30	1
精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ	演習	大倉			○	30	1
精神保健ソーシャルワーク演習Ⅲ	演習	大倉			○	30	1
精神障害リハビリテーション論	講義	井上(幸)			○	30	2
精神保健福祉制度論	講義	周防			○	30	2
精神医学と精神医療Ⅰ	講義	※非常勤			○	30	2
精神医学と精神医療Ⅱ	講義	※非常勤			○	30	2
現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	講義	坂野			○	30	2
精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	実習	坂野・大倉			○	45	1
精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	実習	坂野・大倉			○	45	1
精神保健ソーシャルワーク実習	実習	坂野・大倉			○	180	4
生活とエルゴノミクス	講義	高戸			○	30	2
臨床心理学	講義	樂木			○	30	2

「◎」は必修科目、「○」は選択科目、「※」は非常勤講師

資格取得に関しては別表を参照のこと。

学部教育科目の卒業要件単位数 96 単位

卒業要件単位数 124 単位 (共通教育科目の卒業要件 28 単位を含む)

(6) 介護福祉マネジメント学コース 授業科目

	授業科目の名称	授業の方法	担当教員	開講年次及び 必修選択の別				開講 時間数	開講 単位数	卒業要件 単位数	
				1	2	3	4				
専門 共通 科目	現代福祉入門	講義	学科長他	◎				30	2		
	社会学と社会システム	講義	近藤	◎				30	2		
	社会福祉の原理と政策 I	講義	村社	◎				30	2		
	医学概論	講義	高戸・中村・ ※非常勤	◎				30	2		
	ソーシャルワークの基盤と専門職 I	講義	村社	◎				30	2		
	人間関係形成とコミュニケーション	講義	佐藤	◎				30	2		
	社会保障 I	講義	岩満	○				30	2		
	ソーシャルワークの基盤と専門職 II	講義	竹本	○				30	2		
	地域福祉と包括的支援体制 I	講義	岩満	○				30	2		
	福祉産業論	講義	未定		○			30	2		
	サービスマーケティング論	講義	未定		◎			30	2		
	高齢者福祉	講義	桐野		○			30	2		
	身体機能と障害	講義	中村・高戸		○			30	2		
	知的発達と障害	講義	中村		○			30	2		
	権利擁護を支える法制度	講義	桐野			○		30	2		
	福祉サービスの組織と経営	講義	井上(祐)			○		30	2		
	現代の精神保健の課題と支援 I	講義	周防			○		30	2		
	チームガバナビリティ演習	演習	中村 他			○		30	1		
	専門 科目	地域保健福祉演習	演習	坂野・久保田 ・住吉			○		30		1
		フードビジネス学	講義	伊東 他			○		30		2
未来型プロジェクト<食>		演習	伊東 他				○	120	4		
海外研修(保健福祉学)		演習	関根他	○				30	1		
基礎ゼミナール〔隔週〕		演習	学科長・坂野 ・樂木・未定		◎			30	1		
専門ゼミナール〔隔週〕		演習	学科教員			◎		30	1		
研究ゼミナール		演習	学科教員				◎	120	4		
人体の構造と機能		講義	原野		○			30	2		
老年科学		講義	中村・澤田		○			30	2		
老年医学		講義	※非常勤		○			30	2		
認知症論	講義	中村		○			30	2			
認知症ケア論	講義	佐藤			○		30	2			
運動・リハビリテーション学	講義	※非常勤		○			30	2			
薬理学	講義	入江			○		30	2			
ヒューマンケア心理学演習	演習	中村・澤田			○		30	1			
医療的ケア I	講義	原野			○		20	1			
医療的ケア II	講義	※非常勤			○		20	1			
医療的ケア III	講義	原野			○		20	1			
医療的ケア演習	演習	原野			○		30	1			
介護福祉学	介護原論 I	講義	佐藤		◎			30	2		
	介護原論 II	講義	原野		○			30	2		
	多文化介護論	講義	趙		○			30	2		
	リーダーシップ演習	演習	佐藤・原野・ 趙				○	30	1		
	介護管理	講義	趙				○	30	2		

	介護予防演習	演習	高戸		○		30	1
	コミュニケーション技術Ⅰ	演習	趙		○		30	1
	コミュニケーション技術Ⅱ	演習	佐藤		○		30	1
	生活支援技術Ⅰ (生活支援の理解・居住環境・デザイン)	演習	趙		○		30	1
	生活支援技術Ⅱ (自立に向けた移動の介護)	演習	趙		○		30	1
	生活支援技術Ⅲ (自立に向けた排泄の介護)	演習	原野		○		30	1
	生活支援技術Ⅳ (自立に向けた食事の介護)	演習	趙		○		30	1
	生活支援技術Ⅴ (自立に向けた入浴・清潔保持の介護他)	演習	趙		○		60	2
	生活支援技術Ⅵ (休息睡眠の介護、人生の最終段階の介護)	演習	原野		○		30	1
	福祉用具の活用技術と理論	演習	佐藤		○		30	1
	家政学演習	演習	山下・※治部		○		30	1
	住環境科学演習	演習	高戸・※小山		○		30	1
	介護過程総論	演習	原野		○		30	1
	介護過程Ⅰ (基礎)	演習	原野		○		30	1
	介護過程Ⅱ (実践)	演習	原野		○		60	2
	介護過程Ⅲ (応用)	演習	原野・佐藤		○		30	1
	介護総合演習導入	演習	趙		○		30	1
	介護総合演習Ⅰ (高齢者施設、障がい者支援施設)	演習	趙・原野・※非常勤		○		30	1
	介護総合演習Ⅱ (高齢者施設、介護過程展開)	演習	原野・趙・佐藤・※非常勤		○		30	1
	介護総合演習Ⅲ (障がい者支援施設)	演習	佐藤・趙・※非常勤		○		15	1
	介護総合演習Ⅳ (地域)	演習	佐藤・原野・※非常勤		○		15	1
	介護福祉実習Ⅰ (高齢者施設、障がい者支援施設)	実習	趙・原野		○		90	2
	介護福祉実習Ⅱ (高齢者施設、介護過程展開)	実習	原野・佐藤・趙		○		180	4
	介護福祉実習Ⅲ (障がい者支援施設)	実習	佐藤・趙		○		90	2
	介護福祉実習Ⅳ (地域)	実習	佐藤・原野		○		90	2
マネジメント学	介護ロボット論	講義	※非常勤		○		30	2
	介護施設デザイン演習	演習	高戸・島		○		30	1
	経営戦略論	講義	未定		○		30	2
	施設会計演習	演習	未定・井上		○		15	1
	介護データマネジメント演習	演習	※非常勤		○		30	1
	海外介護プロモーション	演習	趙		○		30	1
<p>海外介護プロモーションは隔年開講。介護福祉マネジメント学コースの学生のみ履修可能  「◎」は必修科目、「○」は選択科目、「※」は非常勤講師  資格取得に関しては別表を参照のこと。  学部教育科目の卒業要件単位数 96 単位  卒業要件単位数 124 単位 (共通教育科目の卒業要件 28 単位を含む)</p>								

96  
単  
位

(7)科目ナンバリング

授業科目の名称	科目ナンバリング	分野1(略称と英語名称)		分野2(略称と英語名称)	
		略称	英語名称	略称	英語名称
現代福祉入門	IND_ICS-A4-1R-L0	IND	interdisciplinary	ICS	Introduction to Contemporary Social Welfare
社会福祉原論	IND_SSS-A4-1R-L1		(学際的)	SSS	Sociology and Social System
社会福祉の原理と政策 I	IND_PS1-A4-1R-L1			PS1	Principles of Social Welfare I
医学概論	IND_IMD-A4-1R-L1			IMD	Introduction to Medicin
ソーシャルワークの基盤と専門職 I	IND_SW1-A4-1R-L1			SW1	Social Work Theory I
人間関係形成とコミュニケーション	IND_HRC-A4-1R-L1			HRC	Human Relationship Formation and Communication
社会保障 I	IND_SS1-A4-1E-L1			SS1	Social Security I
ソーシャルワークの基盤と専門職 II	IND_SW2-A4-1E-L1			SW2	Social Work Theory II
地域福祉と包括的支援体制 I	IND_CW1-A4-1E-L1			CW1	Community based Welfare I
福祉産業論	IND_ISW-A4-2E-L0			ISW	Industrial Social Welfare
サービスマーケティング論	IND_SEM-A4-2R-L0			SEM	Service Marketing
高齢者福祉	IND_WEF-A4-2E-L1			WFE	Welfare for the Elderly
身体機能と障害	IND_PFD-A4-2E-L1			PFD	Physical Functions and Disabilities
知的発達と障害	IND_IDD-A4-2E-L1			IDD	Intellectual Development and Developmental Disorders
権利擁護を支える法制度	IND_HRA-A4-3E-L1			HRA	Human Rights Advocacy and Adult Guardianship
福祉サービスの組織と経営	IND_SIM1-A4-3R-L1			SIM	Social Welfare Institution Management
現代の精神保健の課題と支援 I	IND_MH1-A4-3R-L1			MH1	Contemporary Mental Health and Welfare Issues and Support I
チームガバナンス演習	CBL_TGE-A0-3E-S0	CBL	Community Based Learning	TGE	Team Governability Exercise
地域保健福祉演習	CBL_RHW-A0-3E-S0			RHW	Practice of Regional Health and Welfare
フードビジネス学	CBL_FOB-A0-3E-L0			FOB	Food Business
未来型プロジェクト<食>	CBL_PSF-A0-4E-S0			PSF	Project of a Sustainable Future <Food>
海外研修(保健福祉学)	CBL_SAH-A0-1E-S0			SAH	Study Abroad Program (Health and Welfare Science)
基礎ゼミナール〔隔週〕	IND_SEM-A4-2R-S0			SEM	Seminar I
専門ゼミナール〔隔週〕	IND_SEM-A4-3R-S0			SEM	Seminar II
研究ゼミナール	IND_THE-A4-4R-S0			THE	Thesis
児童・家庭福祉 I	SWS_CP1-A4-1E-L1	SWS	Social Work Studies	CP1	Child Welfare Policy and Practice I
児童・家庭福祉 II	SWS_CP2-A4-2E-L1		(社会福祉学)	CP2	Child Welfare Policy and Practice II
家族福祉論	SWS_FAW-A4-3R-L1			FAW	Family Welfare
障害者福祉	SWS_WPD-A4-2E-L1			WPD	Welfare for Persons with Disabilities
貧困に対する支援	SWS_SWP-A4-3E-L1			SWP	Social Welfare for People in Poverty
社会福祉の原理と政策 II	SWS_PS2-A4-3E-L1			PS2	Principles of Social Welfare II
社会保障 II	SWS_SS2-A4-2E-L1			SS2	Social Security II
国際福祉論	SWS_ISW-A4-2E-L0			ISW	International Social Welfare
国際家族政策論	SWS_IFP-A4-3E-L0			IFP	International Family Policy
地域福祉と包括的支援体制 II	SWS_CW2-A4-2E-L1			CW2	Community based Welfare II
社会病理学	SWS_SOP-A4-2E-L0			SOP	Social Pathology
社会福祉調査の基礎	SWS_SWR-A4-3E-L1			SWR	Social Work Research
社会福祉調査演習	SWS_SRE-A4-3E-L0			SRE	Social Work Research Exercise
福祉のまちづくり政策論	SWS_STP-A4-3E-L0			STP	Social Town Planning
スクールソーシャルワーク論	SWS_SSW-A4-3E-L1			SSW	School Social Work
スクールソーシャルワーク演習	SWS_SWE-A4-3E-S1			SWE	School Social Work Exercise
スクールソーシャルワーク実習指導	SWS_SSP-A4-4E-P1			SSP	Leading of School Social Work Practice
スクールソーシャルワーク実習	SWS_SWP-A4-4E-P1			SWP	Social Work Practice
発達心理学	SWS_DEP-A4-2E-L0			DEP	Developmental Psychology
教育社会学	SWS_SOE-A4_3E-L0			SOE	Sociology of Education
ソーシャルワークの理論と方法 I	SWS_SW1-A4-2E-L1			SW1	Social Work I
ソーシャルワークの理論と方法 II	SWS_SW2-A4-3E-L1			SW2	Social Work II
ソーシャルワークの理論と方法 III	SWS_SW3-A4-3E-L1			SW3	Social Work III
ソーシャルワークの理論と方法 IV	SWS_SW4-A4-4E-L1			SW4	Social Work IV
ソーシャルワーク演習 I	SWS_WE1-A4-2E-S1			WE1	Social Work Exercise I
ソーシャルワーク演習 II	SWS_WE2-A4-2E-S1			WE2	Social Work Exercise II
ソーシャルワーク演習 III	SWS_WE3-A4-3E-S1			WE3	Social Work Exercise III
ソーシャルワーク実習指導 I	SWS_LP1-A4-2E-P1			LP1	Leading of Social Work Practice I
ソーシャルワーク実習指導 II	SWS_LP2-A4-3E-P1			LP2	Leading of Social Work Practice II
ソーシャルワーク実習指導 III	SWS_LP3-A4-3E-P1			LP3	Leading of Social Work Practice III
ソーシャルワーク実習	SWS_SWP-A4-3E-P1			SWP	Social Work Practice
保健医療と福祉	SWS_SSH-A4_3E-L1			SSH	Social Services in Health Care
ソーシャルワーク演習 IV	SWS_WE4-A4-4E-S1			WE4	Social Work Exercise IV
刑事司法と福祉	SWS_SWL-A4_3E-L1			SWL	Social Welfare Laws
精神保健福祉の原理 I	SWS_PM1-A4_3E-L1			PM1	Principle of Mental Health Social Work I
精神保健福祉の原理 II	SWS_PM2-A4_3E-L1			PM2	Principle of Mental Health Social Work II
精神保健ソーシャルワークの理論と方法 I	SWS_SM1-A4-3E-S1			SM1	Social Work in Mental Health I
精神保健ソーシャルワークの理論と方法 II	SWS_SM2-A4-3E-S1			SM2	Social Work in Mental Health II
精神保健ソーシャルワーク演習 I	SWS_MH1-A4_3E-L1			MH1	Mental Health Social Work Exercise I
精神保健ソーシャルワーク演習 II	SWS_MH2-A4_4E-L1			MH2	Mental Health Social Work Exercise II

	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅲ	SWS_MH3-A4_4E-L1		MH3	Mental Health Social Work Exercise III
	精神障害リハビリテーション論	SWS_MHR-A4_3E-L1		MHR	Mental Health Rehabilitation
	精神保健福祉制度論	SWS_SSM-A4-2E-L1		SSM	Social Services for the Mentally Disabled
	精神医学と精神医療Ⅰ	SWS_PM1-A4-3E-L1		PM1	Psychiatric Medicine I
	精神医学と精神医療Ⅱ	SWS_PM2-A4-3E-L1		PM2	Psychiatric Medicine II
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	SWS_MH2-A4-3E-L1		MH2	Contemporary Mental Health and Welfare Issues and Support II
	精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	SWS_PP1-A4-3E-P1		PP1	Leading of Psychiatric Social Work Practice I
	精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	SWS_PP2-A4-4E-P1		PP2	Leading of Psychiatric Social Work Practice II
	精神保健ソーシャルワーク実習	SWS_PSP-A4-4E-P1		PSP	Psychiatric Social Work Practice
	生活とエルゴノミクス	SWS_EDL-A4-2E-L0		EDL	Ergonomics for Daily Life
	臨床心理学	SWS_CLI-A4-3E-L0		CLI	Clinical Psychology
	人体の構造と機能	CWS_SFH-A4-2E-L1	CWS	Care Work Studies	SFH Structure and Functions in Human Body
	老年科学	CWS_GER-A4-2E-L1	(介護福祉学)	GER	Gerontology
専 門 科 目	老年医学	CWS_GRI-A4-2E-L1		GRI	Geriatrics
	認知症論	CWS_CDD-A4-2E-L1		CDD	Cognitive Disorders and Dementia
	認知症ケア論	CWS_DEC-A4-3E-L1		DEC	Dementia Care
	運動・リハビリテーション学	CWS_KRH-A4-2E-L0		KRH	Kinesiology and Rehabilitation for Human Life Care
	薬理学	CWS_PHL-A4-3E-L0		PHL	Pharmacology for Human Life Care
	ヒューマンケア心理学演習	CWS_PHC-A4-3E-S0		PHC	Psychology of Human Care
	医療的ケアⅠ	CWS_MC1-A4-3E-L1		MC1	Medical Care I
	医療的ケアⅡ	CWS_MC2-A4-3E-L1		MC2	Medical Care II
	医療的ケアⅢ	CWS_MC3-A4-3E-L1		MC3	Medical Care III
	医療的ケア演習	CWS_ME1-A4-3E-S1		ME1	Medical Care Exercise I
	介護原論Ⅰ	CWS_IC1-A4-2R-L1		IC1	Introduction to Care Work I
	介護原論Ⅱ	CWS_IC2-A4-2E-L1		IC2	Introduction to Care Work II
	多文化介護論	CWS_MCW-A4-2E-L1		MCW	Multicultural Care Work
	リーダーシップ演習	CWS_CWL-A4-4E-S1		CWL	Care Work Leadership
	介護管理	CWS_CWM-A4-4E-L1		CWM	Care Work Management
	介護予防演習	CWS_EPF-A4-3E-S1		EPF	Exercise for prevention of long-term frailty
	コミュニケーション技術Ⅰ	CWS_CS1-A4-2E-S1		CS1	Communication Skills I
	コミュニケーション技術Ⅱ	CWS_CS2-A4-3E-S1		CS2	Communication Skills II
	生活支援技術Ⅰ	CWS_HL1-A4-2E-S1		HL1	Human Life Care Technique I
	生活支援技術Ⅱ	CWS_HL2-A4-2E-S1		HL2	Human Life Care Technique II
	生活支援技術Ⅲ	CWS_HL3-A4-2E-S1		HL3	Human Life Care Technique III
	生活支援技術Ⅳ	CWS_HL4-A4-2E-S1		HL4	Human Life Care Technique IV
	生活支援技術Ⅴ	CWS_HL5-A4-2E-S1		HL5	Human Life Care Technique V
	生活支援技術Ⅵ	CWS_HL6-A4-2E-S1		HL6	Human Life Care Technique VI
	福祉用具の活用技術と理論	CWS_ATA-A4-2E-S1		ATA	Application and Theory of Assistive Technologies
	家政学演習	CWS_HEP-A4-2E-S1		HEP	Home Economics Practice
	住環境科学演習	CWS_SDE-A4-3E-S1		SDE	Science of Dwelling Environment and Housing-Exercise
	介護過程総論	CWS_ICP-A4-2E-S1		ICP	Introduction to Care-Work Process
	介護過程Ⅰ(基礎)	CWS_BCW-A4-2E-S1		BCW	Basic Care-Work Process
	介護過程Ⅱ(実践)	CWS_ACW-A4-2E-S1		ACW	Applied Care-Work Process
	介護過程Ⅲ(応用)	CWS_PCW-A4-3E-S1		PCW	Practice Care-Work Process
	介護総合演習導入	CWS_ICE-A4-2E-S1		ICE	Introduction to Care Work Exercise
	介護総合演習Ⅰ	CWS_CE1-A4-2E-S1		CE1	Care Work Exercise I
	介護総合演習Ⅱ	CWS_CE2-A4-3E-S1		CE2	Care Work Exercise II
	介護総合演習Ⅲ	CWS_CE3-A4-3E-S1		CE3	Care Work Exercise III
	介護総合演習Ⅳ	CWS_CE4-A4-4E-S1		CE4	Care Work Exercise IV
	介護福祉実習Ⅰ	CWS_CW1-A4-2E-P1		CW1	Care Work Practice I
	介護福祉実習Ⅱ	CWS_CW2-A4-3E-P1		CW2	Care Work Practice II
	介護福祉実習Ⅲ	CWS_CW3-A4-3E-P1		CW3	Care Work Practice III
	介護福祉実習Ⅳ	CWS_CW4-A4-4E-P1		CW4	Care Work Practice III
介護ロボット論	CWS_CRT-A4-3E-L0		CRT	Care Robot Theory	
介護施設デザイン演習	CWS_EID-A4-3E-S0		EID	Exercise for Care Work Institution Design	
経営戦略論	CWS_STM-A4-3E-L0		STM	Strategic Management	
施設会計演習	CWS_ACC-A4-3E-S0		ACC	Accounting	
介護データマネジメント演習	CWS_DME-A4-4E-S0		DME	Care Work Data Management Exercise	
海外介護プロモーション	CWS_GPC-A4-4E-S0		GPC	Global Promotion of Care Work	

## (8) 資格取得

社会福祉学コースでは、社会福祉士の受験資格(表1)と社会福祉主事の任用資格(表5)が取得できる。これに加えて、精神保健福祉士の受験資格(表2)、スクールソーシャルワーク教育課程修了証(表3)のいずれかが取得できる。ただし、精神保健福祉士受験資格、スクールソーシャルワーカー養成課程の最大定員は各10名であるため、希望者が定員を超えた場合には学科内で選考を行い、決定後の変更は認められない。

介護福祉マネジメント学コースでは介護福祉士の受験資格(表4)と社会福祉主事の任用資格(表5)が取得できる。介護福祉士受験資格の取得を希望する学生は、1年次終了前に決定し、2年次から専門科目領域の専門科目を履修する。コース決定後の変更は認められない。

社会福祉士は「社会福祉士及び介護福祉士法」で位置づけられた、社会福祉業務に携わる人の国家資格である。本学科において、厚生労働省の告示により指定されている所定の授業科目をすべて単位取得し、年1回2月に実施される国家試験に合格すれば、社会福祉士として登録できる。「社会福祉士及び介護福祉士法」には「社会福祉士とは、専門的知識及び技術をもって、身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行うことを業とする者」と規定されている。

精神保健福祉士は「精神保健福祉士法」で位置づけられた、精神保健福祉業務に携わる人の国家資格である。本学科において、厚生労働省の告示により指定されている所定の授業科目をすべて単位取得し、年1回2月に実施される国家試験に合格すれば、精神保健福祉士として登録ができる。「精神保健福祉士法」には、「精神保健福祉士とは、精神障害者の保健及び福祉に関する専門的知識及び技術をもって、精神科病院その他の医療施設において精神障害の医療を受け、又は精神障害者の社会復帰の促進を図ることを目的とする施設を利用している者の地域相談支援に関する相談に応じ、助言、指導、日常生活への適応のために必要な訓練その他の援助を行うことを業とする者」と規定されている。

介護福祉士の資格は、「社会福祉士及び介護福祉士法」で位置づけられた、介護業務に携わる人の国家資格である。本学科において、厚生労働省の告示により指定されている所定の授業科目をすべて単位取得し、年1回1月に実施される国家試験に合格すれば、介護福祉士として登録できる。「社会福祉士及び介護福祉士法」では、「介護福祉士とは、専門的知識及び技術をもって、身体上又は精神上の障害があることにより日常生活を営むのに支障がある者につき心身の状況に応じた介護(喀痰吸引その他のその者が日常生活を営むのに必要な行為であって、医師の指示の下に行われるもの(厚生労働省令で定めるものに限る。)を含む。)を行い、並びにその者及びその介護者に対して介護に関する指導を行うことを業とする者」と規定されている。

スクールソーシャルワーカーは、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟の規定に定められた認定資格である。本学科において、日本ソーシャルワーク教育学校連盟により指定されているスクールソーシャルワーク教育課程を修了した者であって、社会福祉士登録を受けた者が、「一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟認定スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程修了者」としての修了証の交付を受けることができる。スクール(学校)ソーシャルワーカーとは、「学校教育法で定める学校のうち、18歳未満の児童生徒を対象とした学校において、学校及び日常での生活を営む上で課題の解決を要する児童生徒とその家庭及びその児童を取り巻く環境・学校・社会・制度等を対象としたソーシャルワークの業を行う者」とされている。

社会福祉主事は、「社会福祉法」に規定された資格で、都道府県、市町村の行政職や福祉職の公務員試験に合格し、福祉事務所などのケースワーカーに採用される場合に活きる資格である。一定の社会福祉施設の生活支援員等の資格にも準用される。この資格を得るためには、「社会福祉主事に関する指定科目」(表5「社会福祉主事に関する指定科目」)のうち、いずれか3科目を取得する必要がある。



**表1 社会福祉士の受験資格を取得するために必要な授業科目及び単位数**

厚生労働省告示に定める科目	社会福祉学コース開講科目			
	科目	科目	受験資格科目	国家試験科目
医学概論	医学概論	○	○	30
心理学と心理的支援	心理学	○	○	30
社会学と社会システム	社会学と社会システム	○	○	30
現代福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策Ⅰ	○	○	30
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	○	○	30
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	○	○	30
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	○	○	30
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	○	○	30
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	○	○	30
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	○	○	30
ソーシャルワークの理論と方法(専門)	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	○	○	30
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	○	○	30
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	○	○	30
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	○	○	30
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	○	○	30
社会保障	社会保障Ⅰ	○	○	30
	社会保障Ⅱ	○	○	30
高齢者福祉	高齢者福祉	○	○	30
障害者福祉	障害者福祉	○	○	30
児童・家庭福祉	児童・家庭福祉Ⅰ	○	○	30
貧困に対する支援	貧困に対する支援	○	○	30
保健医療と福祉	保健医療と福祉	○	○	30
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	○	○	30
刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	○	○	30
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習Ⅰ	○	○	30
ソーシャルワーク演習(専門)	ソーシャルワーク演習Ⅱ	○	○	30
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	○	○	60
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	○	○	30
	ソーシャルワーク演習Ⅴ	○	○	30
ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	○	○	45
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	○	○	45
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	○	○	45
ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習	○	○	240

**表2 精神保健福祉士の受験資格を取得するために必要な授業科目及び単位数**  
 (「社会福祉士の受験資格を取得するために必要な授業科目及び単位数」に記載の科目は除く)

厚生労働省告示に定める科目	社会福祉学コース開講科目			
科目	科目	受験資格科目	国家試験科目	時間数
精神医学と精神医療	精神医学と精神医療Ⅰ	○	○	30
	精神医学と精神医療Ⅱ	○	○	30
現代の精神保健の課題と支援	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	○	○	30
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	○	○	30
精神保健福祉の原理	精神保健福祉の原理Ⅰ	○	○	30
	精神保健福祉の原理Ⅱ	○	○	30
ソーシャルワークの理論と方法(専門)	精神保健ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	○	○	30
	精神保健ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	○	○	30
精神障害リハビリテーション論	精神障害リハビリテーション論	○	○	30
精神保健福祉制度論	精神保健福祉制度論	○	○	30
ソーシャルワーク演習(専門)	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ	○	○	30
	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ	○	○	30
	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅲ	○	○	30
ソーシャルワーク実習指導	精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	○	○	30
	精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	○	○	30
ソーシャルワーク実習	精神保健ソーシャルワーク実習	○	○	180

- (注)
1. 本学では、社会福祉士の受験資格科目(国家試験科目)をすべて履修することを前提にして、精神保健福祉士の授業科目が組まれている。そのため、本学では、上の表に掲げる精神保健福祉士の受験資格科目(国家試験科目)のみを履修しただけでは、精神保健福祉士国家試験の受験資格を取得することができない。必ず、社会福祉士と精神保健福祉士の両方の受験資格科目(国家試験科目)をすべて履修すること。
  2. 精神保健福祉士養成課程以外の学生は、この表の「厚生労働省告示に定める科目」における「ソーシャルワーク演習(専門)」、「ソーシャルワーク実習指導」、「ソーシャルワーク実習」を履修できない。

**表3 スクールソーシャルワーク教育課程に関する指定科目**

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟が定める科目名	社会福祉学コース開講科目		
	科目	認定資格科目	時間数
スクール（学校）ソーシャルワーク論	スクールソーシャルワーク論	○	30
スクール（学校）ソーシャルワーク演習	スクールソーシャルワーク演習	○	30
スクール（学校）ソーシャルワーク実習指導	スクールソーシャルワーク実習指導	○	45
スクール（学校）ソーシャルワーク実習	スクールソーシャルワーク実習	○	90
教育基礎論などに関する科目「教育に関する社会的、制度または経営事項」を含む	教育社会学	○	30
教育基礎論などに関する科目「幼児、児童生徒の心身の発達および学習家庭」を含む	発達心理学	○	30
精神保健の課題と支援	現代の精神保健の課題と支援 I	○	30

（注）スクールソーシャルワーク教育課程以外の学生は、この表の「一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟が定める科目名」における「スクール（学校）ソーシャルワーク演習」、「スクール（学校）ソーシャルワーク実習指導」、「スクール（学校）ソーシャルワーク実習」を履修できない。

表4 介護福祉士の受験資格を取得するために必要な授業科目及び単位数

社会福祉士介護福祉士養成指定規則 別表4及び6に定められる科目			介護福祉マネジメント学コース開設科目			備考
領域	教育内容	指定時間数	授業科目の名称	配当単位数	配当時間数	
人間と社会	人間の尊厳と自立	30	社会福祉の原理と政策 I	2	30	左記授業科目を必ず履修し、修得すること。
	人間関係とコミュニケーション	60	人間関係形成とコミュニケーション 福祉サービスの組織と経営	2 2	30 30	
	社会の理解	60	高齢者福祉 地域福祉と包括的支援体制 I	2 2	30 30	
	人間と社会に関する選択科目	120	自然科学要論 社会保障 I 権利擁護を支える法制度	2 2 2	30 30 30	
介護	介護の基本	180	介護原論 I	2	30	左記授業科目を必ず履修し、修得すること。
			多文化介護論	2	30	
			介護原論 II	2	30	
			介護管理	2	30	
			リーダーシップ演習	1	30	
			介護予防演習	1	30	
	コミュニケーション技術	60	コミュニケーション技術 I	1	30	
			コミュニケーション技術 II	1	30	
	生活支援技術	300	生活支援技術 I (生活支援の理解・居住環境・デザイン)	1	30	
			生活支援技術 II (自立に向けた移動の介護)	1	30	
			生活支援技術 III (自立に向けた排泄の介護)	1	30	
			生活支援技術 IV (自立に向けた食事の介護)	1	30	
			生活支援技術 V (自立に向けた入浴・清潔保持の介護他)	2	60	
			生活支援技術 VI (休息睡眠の介護、人生の最終段階の介護)	1	30	
			福祉用具の活用技術と理論	1	30	
			家政学演習	1	30	
	介護過程	150	介護過程総論	1	30	
			介護過程 I (基礎)	1	30	
			介護過程 II (実践)	2	60	
	介護総合演習	120	介護過程 III (応用)	1	30	
介護総合演習導入			1	30		
介護総合演習 I (高齢者施設、障がい者支援施設)			1	30		
介護総合演習 II (高齢者施設、介護過程展開)			1	30		
介護実習	450	介護総合演習 III (障がい者支援施設)	1	15		
		介護総合演習 IV (地域)	1	15		
		介護福祉実習 I (高齢者施設、障がい者支援施設)	2	90		
		介護福祉実習 II (高齢者施設、介護過程展開)	4	180		
こころとからだのしくみ	120	介護福祉実習 III (障がい者支援施設)	2	90		
		介護福祉実習 IV (地域)	2	90		
		医学概論	2	30		
		人体の構造と機能	2	30		
	発達と老化の理解	60	現代の精神保健の課題と支援 I	2	30	
			心理学	2	30	
	認知症の理解	60	老年科学	2	30	
			老年医学	2	30	
障害の理解	60	認知症論	2	30		
		認知症ケア論	2	30		
医療的ケア	50	身体機能と障害	2	30		
		知的発達と障害	2	30		
		医療的ケア I	1	20		
	所定回数		医療的ケア II 医療的ケア III 医療的ケア演習 I	1 1 1	20 20 30	

(注)1. 介護福祉士資格取得を希望する者は、介護福祉マネジメント学コースに在籍し、上記に定める全ての科目及び単位を修得することにより介護福祉士国家試験受験資格を得ることができる。

2. 介護福祉マネジメント学コース以外の学生は、この表の領域「介護」「医療的ケア」の授業科目を履修できない。

3. 上記に定める科目の出席時間数が指定規則に定める時間数の3分の2(ただし、介護実習については5分の4)に満たない者については、当該科目の単位を認定しない。

4. 介護福祉マネジメント学コースへの転学(編入学を含む)及び移籍は認めない。

**表5 社会福祉主事に関する指定科目**

指定科目	現代福祉学科開講科目
社会福祉概論	社会福祉の原理と政策ⅠおよびⅡ
社会福祉事業史	なし
社会福祉援助技術論	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ・Ⅱおよびソーシャルワークの理論と方法Ⅰ～Ⅳ(全て履修した場合)
社会福祉調査論	社会福祉調査の基礎
社会福祉施設経営論	福祉サービスの組織と経営
社会福祉行政論	なし
社会保障論	社会保障ⅠおよびⅡ
公的扶助論	貧困に対する支援
児童福祉論	児童・家庭福祉Ⅰ
家庭福祉論	
保育理論	保育原理(他学科教育科目)
身体障害者福祉論	障害者福祉
知的障害者福祉論	知的発達と障害
精神障害者保健福祉論	精神保健福祉の原理ⅠおよびⅡ
老人福祉論	高齢者福祉
医療社会事業論	保健医療と福祉
地域福祉論	地域福祉と包括的支援体制ⅠおよびⅡ

指定科目	現代福祉学科開講科目
法学	法学(共通教育科目)
民法 行政法	権利擁護を支える法制度
経済学	経済学(共通教育科目)
社会政策	なし
経済政策	なし
心理学	心理学(共通教育科目)
社会学	社会学と社会システム
教育学	なし
倫理学	倫理学(共通教育科目)
公衆衛生学	なし
医学一般	医学概論
リハビリテーション論	なし
看護学	看護の世界(他学科教育科目)
介護概論	介護原論ⅠおよびⅡ
栄養学	栄養学総論(他学科教育科目)
家政学	なし

## (9) 学外実習科目の履修要件

以下の実習科目を履修するためには、それぞれ以下の要件を満たす必要がある。また、事前に大学で規定する健康診断、麻疹抗体検査、腸内細菌検査等の検査を受け、実習に支障のない状態であることが確認できることが必要である。

### ① ソーシャルワーク実習

ソーシャルワーク実習は、以下のすべての要件を満たすことを履修要件とする。

- ・ソーシャルワーク実習の履修前年度の前期までに開講されている社会福祉士国家試験受験科目がすべて単位認定されていること。
- ・ソーシャルワーク演習Ⅰおよびソーシャルワーク実習指導Ⅰにおいて原則欠席がなく、授業の中で指示された所定の提出物(レポート等を含む)の提出がすべて行われていること。
- ・あらゆる領域・分野の対象者に関心を持って勉学に勤しみ、資格取得の意欲をもって実習に臨むこと

### ② 精神保健ソーシャルワーク実習

4年次に精神保健ソーシャルワーク実習を履修する学生は、以下の全ての要件を満たす事を原則とする。

- ・3年次までに開講されている社会福祉士国家試験受験科目が全て単位認定されていること。
- ・3年次までに開講されている精神保健福祉士国家試験受験科目が全て単位認定されていること。
- ・4年次開講の精神保健福祉士国家試験受験科目のうち演習および実習指導に関する科目において原則欠席がなく、授業の中で指示された所定の提出物(レポート等を含む)の提出が全て行われていること。

### ③ 介護福祉実習Ⅰ、介護福祉実習Ⅱ、介護福祉実習Ⅲ、介護福祉実習Ⅳ

各実習を履修する場合は、以下の要件を満たすことを原則とする。

- ・介護福祉実習Ⅰ、介護福祉実習Ⅱ、介護福祉実習Ⅲ、介護福祉実習Ⅳのそれぞれの実習までに開講されている介護福祉士国家試験受験科目のうち、介護領域の科目が履修及び認定されていることを原則とする。
- ・介護福祉士国家試験受験科目については、原則欠席がないこととする。
- ・学校保健法による出席停止に該当しないこと、その他実習に支障のない健康状態であることとする。

### ④ スクールソーシャルワーク実習

4年次にスクールソーシャルワーク実習を履修する学生は、以下の全ての要件を満たすことを原則とする。

- ・3年次までに開講されている社会福祉士国家試験受験科目が全て単位認定されていること。
- ・3年次までに開講されているスクールソーシャルワーク教育課程科目が全て単位認定されていること。
- ・4年次開講のスクールソーシャルワーク教育課程科目のうち演習および実習指導に関する科目において原則欠席がなく、授業の中で指示された所定の提出物(レポート等を含む)の提出が全て行われていること。

(10) 現代福祉学科 カリキュラムマップおよびカリキュラムツリー

授業科目の名称		学位授与の方針に対する関与の程度 ◎:各方針と関係が深い科目 ○:各方針と関係する科目							
		A	B	C-1	C-2	D	E	F	G
専門 共通 科目	現代福祉入門			◎					
	社会学と社会システム					◎			
	社会福祉の原理と政策 I			◎					
	医学概論				◎				
	ソーシャルワークの基盤と専門職 I			◎					
	人間関係形成とコミュニケーション							◎	
	社会保障 I			◎					
	ソーシャルワークの基盤と専門職 II			◎					
	福祉産業論			◎					
	サービスマーケティング論			◎					
	高齢者福祉			◎					
	地域福祉と包括的支援体制 I			◎					
	身体機能と障害				◎				
	知的発達と障害				◎				
	権利擁護を支える法制度			◎					
	福祉サービスの組織と経営			◎					
	現代の精神保健の課題と支援 I			◎					
	チームガバナビリティ演習		○						◎
	地域保健福祉演習							○	◎
	フードビジネス学			○	○				
未来型プロジェクト<食>		○						○	
海外研修 (保健福祉学)							◎		
基礎ゼミナール〔隔週〕						◎			
専門ゼミナール〔隔週〕						◎			
研究ゼミナール		○				◎			
福祉行政・スクールソーシャルワーク科目	児童・家庭福祉 I			◎					
	児童・家庭福祉 II			◎					
	家族福祉論				◎				
	障害者福祉			◎					
	貧困に対する支援			◎					
	社会福祉の原理と政策 II			◎					
	社会保障 II				◎				
	国際福祉論				◎				
	国際家族政策論				◎				
	地域福祉と包括的支援体制 II			◎					
	社会病理学				◎				
	社会福祉調査の基礎			◎					
	社会福祉調査演習			◎					
	福祉のまちづくり政策論				◎				
	スクールソーシャルワーク論			◎					
	スクールソーシャルワーク演習					◎			
	スクールソーシャルワーク実習指導					◎			
スクールソーシャルワーク実習					◎				
発達心理学				◎					
教育社会学				◎					
ワーク シヤ ル 科 目	ソーシャルワークの理論と方法 I			◎					
	ソーシャルワークの理論と方法 II			◎					
	ソーシャルワークの理論と方法 III			◎					
	ソーシャルワークの理論と方法 IV			◎					

	ソーシャルワーク演習Ⅰ					◎			
	ソーシャルワーク演習Ⅱ					◎			
	ソーシャルワーク演習Ⅲ					◎			
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ					◎			
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ					◎			
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ					◎			
	ソーシャルワーク実習					◎			
医療・精神保健 ソーシャルワーク科目	保健医療と福祉					◎			
	ソーシャルワーク演習Ⅳ					◎			
	刑事司法と福祉			◎					
	精神保健福祉の原理Ⅰ			◎					
	精神保健福祉の原理Ⅱ			◎					
	精神保健ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ			◎					
	精神保健ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ			◎					
	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ					◎			
	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ					◎			
	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅲ					◎			
	精神障害リハビリテーション論				◎				
	精神保健福祉制度論				◎				
	精神医学と精神医療Ⅰ				◎				
	精神医学と精神医療Ⅱ				◎				
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ				◎				
	精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅰ					◎			
	精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅱ					◎			
	精神保健ソーシャルワーク実習					◎			
	生活とエルゴノミクス				◎				
	臨床心理学				◎				
健康科学科目	人体の構造と機能					◎			
	老年科学					◎			
	老年医学					◎			
	認知症論					◎			
	認知症ケア論					◎			
	運動・リハビリテーション学					◎			
	薬理学					◎			
	ヒューマンケア心理学演習						◎		
	医療的ケアⅠ					◎			
	医療的ケアⅡ					◎			
	医療的ケアⅢ					◎			
	医療的ケア演習						◎		
介護福祉学科目	介護原論Ⅰ					◎			
	介護原論Ⅱ					◎			
	多文化介護論						◎		
	リーダーシップ演習							◎	
	介護管理					◎			
	介護予防演習						◎		
	コミュニケーション技術Ⅰ								◎
	コミュニケーション技術Ⅱ								◎
	生活支援技術Ⅰ（生活支援の理解・居住環境・デザイン）			◎					
	生活支援技術Ⅱ（自立に向けた移動の介護）			◎					
	生活支援技術Ⅲ（自立に向けた排泄の介護）			◎					
	生活支援技術Ⅳ（自立に向けた食事の介護）			◎					
	生活支援技術Ⅴ（自立に向けた入浴・清潔保持の介護他）			◎					
	生活支援技術Ⅵ（休息睡眠の介護、人生の最終段階の介護）			◎					
	福祉用具の活用技術と理論			◎					
家政学演習			◎						



	住環境科学演習			◎					
	介護過程総論			◎					
	介護過程Ⅰ（基礎）				◎				
	介護過程Ⅱ（実践）					◎			
	介護過程Ⅲ（応用）					◎			
	介護総合演習導入					◎			
	介護総合演習Ⅰ（高齢者施設、障害者支援施設）					◎			
	介護総合演習Ⅱ（高齢者施設、介護過程展開）					◎			
	介護総合演習Ⅲ（障害者支援施設）					◎			
	介護総合演習Ⅳ（地域）					◎			
	介護福祉実習Ⅰ（高齢者施設、障害者支援施設）					◎			
	介護福祉実習Ⅱ（高齢者施設、介護過程展開）					◎			
	介護福祉実習Ⅲ（障害者支援施設）					◎			
	介護福祉実習Ⅳ（地域）					◎			
マネジメント学科目	介護ロボット論				◎				
	介護施設デザイン演習					◎			
	経営戦略論				◎				
	施設会計演習				◎				
	介護データマネジメント演習					◎			
	海外介護プロモーション								◎

- A **【人間・社会・自然の理解】**  
人文科学、社会科学、自然科学、健康科学の知識を通して、人間・社会・自然を理解する力を身に付けている。
- B **【倫理観】**  
様々な社会問題に対する福祉の専門職業人として必要な倫理観と豊かな人間性を身に付けている。
- C-1 **【専門的知識・技能1】**  
個人や社会から得られたデータを用いた社会福祉学的課題や福祉サービス利用者の援助上の課題を明らかにする専門的知識と技能を身に付けている。
- C-2 **【専門的知識・技能2】**  
福祉ならびに保健、医療、教育等の福祉以外の分野のサービス利用者が抱える多様な福祉ニーズの理解及び課題解決のために必要な専門的知識と技能を身につけている。
- D **【論理的思考力・判断力・実践力】**  
多様な社会的課題や個人の生活課題を理解し、解決していく能力、多様な福祉ニーズに対応する福祉プログラムを企画立案する能力、及び学際的な視点から情報交流や意見交換を行い、多様な福祉ニーズに対応できる能力を身に付けている。
- E **【課題発見・解決力】【主体性】**  
社会福祉学ならびにその関連分野における課題を発見し解決する力とともに、多様な福祉ニーズに対応する力を身に付けている。
- F **【コミュニケーション力】**  
多様な福祉ニーズを有している外国人に対応するコミュニケーション能力や、地域社会や国際社会における福祉の実践感覚を身に付けている。
- G **【多様な人々と協働する力】**  
保健、医療、福祉、教育関連分野で貢献するための課題解決に必要な自己管理能力及びマネジメント力や、自他の役割を理解し、多様な人々と協調・協働して課題を解決する力を身に付けている。

OP (学修 方針)	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
修学 基礎	大学で学ぶ フレッシュマンセミ ナー	社会を生きる力を学 ぶ						
A	人文・社会科学要論							
	自然科学要論							
	心理学							
	人文・社会科学科目群							
	自然科学科目群							
健康科学科目群								
複合PBL科目群								
B					チームガバナリティ 演習		研究ゼミナール	
							未来型プロジェクト<食>	
C-1	現代福祉入門	社会福祉の原理と政 策Ⅰ	福祉産業論	高齢者福祉	現代の精神保健の課 題と支援Ⅰ	権利擁護を支える法 制度	ソーシャルワークの 理論と方法Ⅳ	精神保健ソーシャル ワーク演習Ⅲ
	社会福祉の原理と政 策Ⅰ	ソーシャルワークの 基礎と専門職Ⅱ	サービスマーケティ ング論	児童・家庭福祉Ⅱ	貧困に対する支援	福祉サービスの組織 と運営	精神保健ソーシャル ワーク演習Ⅱ	
	社会保障Ⅰ	地域福祉と包括的支 援体制Ⅰ	児童・家庭福祉Ⅰ	障害者福祉	社会福祉の原理と政 策Ⅱ	社会福祉調査の基礎 Ⅱ		
	ソーシャルワークの 基礎と専門職Ⅰ		ソーシャルワークの 理論と方法Ⅰ	地域福祉と包括的支 援体制Ⅱ	ソーシャルワークの 理論と方法Ⅱ	社会福祉調査演習		
			介護過程総論		刑事司法と福祉	ソーシャルワーク演習		
			生活支援技術Ⅰ		精神保健福祉の原理 Ⅰ	ソーシャルワークの 理論と方法Ⅲ		
			生活支援技術Ⅱ			精神保健福祉の原理 Ⅱ		
			生活支援技術Ⅲ			精神保健ソーシャル ワークの理論と方法		
			生活支援技術Ⅳ			精神保健ソーシャル ワークの理論と方法		
			生活支援技術Ⅴ			精神保健ソーシャル ワーク演習Ⅰ		
		生活支援技術Ⅵ			家政学演習			
		福祉用具の活用技術 と理論			住環境科学演習			
					フードビジネス学			
C-2	医学概論		身体機能と障害	知的発達と障害	国際家族政策論	家族福祉論	介護管理	
			社会病理学	社会保障Ⅱ	保健医療と福祉	教育社会学		
			人体の構造と機能	国際福祉論	福祉のまちづくり政策 論	精神医学と精神医療 Ⅱ		
			介護原論Ⅰ	発達心理学	精神障害リハビリ テーション論	現代の精神保健の課 題と支援Ⅱ		
				生活とエルゴノミクス	精神保健福祉制度論	医療的ケアⅢ		
			介護過程Ⅰ		精神医学と精神医療 Ⅰ	医療的ケア演習		
			老年科学	介護過程Ⅱ	臨床心理学	介護ロボット論		
			老年医学	老年科学	認知症ケア論	経営戦略論		
			認知症論	認知症論	薬理学	施設会計演習		
			介護原論Ⅱ	介護原論Ⅱ	医療的ケアⅠ			
		運動・リハビリテー ション学		医療的ケアⅡ				
				フードビジネス学				
D	社会学と社会シス テム		介護総合演習導入	ソーシャルワーク演 習Ⅰ	ソーシャルワーク実 習指導Ⅱ	ソーシャルワーク演 習Ⅲ	ソーシャルワーク演 習Ⅳ	
			介護福祉実習Ⅰ	ソーシャルワーク演 習Ⅱ	ソーシャルワーク実 習	ソーシャルワーク実 習指導Ⅲ	精神保健ソーシャル ワーク実習指導Ⅱ	
				ソーシャルワーク実 習指導Ⅰ	ヒューマンケア心理 学演習	精神保健ソーシャル ワーク実習指導Ⅰ	精神保健ソーシャル ワーク実習	
				多文化介護論	介護予防演習	介護過程Ⅲ	スクールソーシャル ワーク論	
				介護総合演習Ⅰ	介護福祉実習Ⅱ	介護総合演習Ⅱ	スクールソーシャル ワーク演習	
				介護過程Ⅱ		介護総合演習Ⅲ	スクールソーシャル ワーク実習指導	
						介護福祉実習Ⅲ	スクールソーシャル ワーク実習	
						介護施設デザイン演 習	介護総合演習Ⅳ	
						介護データマネジメント 演習	介護福祉実習Ⅳ	
							スクールソーシャルワーク実習	
E			基礎ゼミナール		専門ゼミナール		リーダーシップ演習	
							研究ゼミナール	
F	ELP1	ELP3	ELP5	ELP6		コミュニケーション技 術Ⅱ	海外介護プロモ ーション	
	ELP2	ELP4		コミュニケーション技 術Ⅰ		地域保健福祉演習		
海外研修(保健福祉学)								
G	社会連携要論	地域資源論	地域インターンシップ		チームガバナリティ 演習		未来型プロジェクト<食>	
					地域保健福祉演習			
社会連携科目群								
共通教育科目	専門共通科目	社会福祉学コース	介護福祉マネジメント 学コース					

### (11) 履修モデル例

#### 国家・地方公務員等のソーシャルワーカー（福祉事務所・児童相談所・社会福祉協議会等）をめざす場合

国家・地方公務員や社会福祉協議会のソーシャルワーカーは、国の厚生労働省、法務省や都道府県庁、児童相談所、市町村の福祉事務所、社会福祉協議会で、事務官、保護教官、ケースワーカー、児童福祉司などとして、更生援護や障害者・高齢者・児童の相談・調査・指導などを行います。そのため、行政福祉や地域福祉の知識だけでなく国内外の社会情勢を理解する力、制度・サービスが開発できる力、他職種と連携できる力などが求められます。そこで社会福祉士受験資格科目以外にも社会病理学、国際福祉論、発達心理学などを学び、幅広い知識を身につけて、ソーシャルワーカーとしての能力を高めていくよう意識した取り組みをするとよいでしょう。

共通教育科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
大学で学ぶ◎	1	ELP5◎	1				
フレッシュマンセミナー◎	1	ELP6◎	1				
人文・社会科学要論◎	2						
自然科学要論◎	2						
心理学◎○	2						
社会連携要論◎	1						
地域資源論◎	1						
ELP1◎	1						
ELP2◎	1						
ELP3◎	1						
ELP4◎	1						
人文・社会科学より	2						
自然科学より	2						
健康科学より	4						
複合PBLより	1						
全カテゴリーより	3						
小計	26	小計	2	小計	0	小計	0
						小計	28
備考							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共通教育選択科目は12単位以上を修得する（斜体活字は選択科目を示す）。</li> <li>・ ◎は必修科目を示す。</li> <li>・ ○がついている科目は社会福祉士受験資格科目である。</li> </ul>							

専門科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
現代福祉学入門◎	2	基礎ゼミナール◎	1	専門ゼミナール◎	1	研究ゼミナール◎	4
医学概論◎○	2	サービスマーケティング	2	家族福祉論◎	2	ソーシャルワーク演	1
社会福祉の原理と政策 I	2	論◎	2	貧困に対する支援○	2	習IV○	2
◎○		ソーシャルワークの理論	2	ソーシャルワーク実習	1	ソーシャルワークの	2
ソーシャルワークの基盤	2	と方法 I ○	2	指導 II ○	1	理論と方法IV○	4
と専門職 I ◎○		児童・家庭福祉 I ○	2	ソーシャルワーク実習	2	未来型プロジェクト	
社会学と社会システム◎	2	高齢者福祉○	2	指導 III ○	2	<食>☆	
○		ソーシャルワーク実習指	1	ソーシャルワークの理	2		
人間関係形成とコミュニ	2	導 I ○	1	論と方法 II ○	2		
ケーション◎		ソーシャルワーク演習 I	1	論と方法 III ○	2		
地域福祉と包括的支援体	2	○	1	刑事司法と福祉○	2		
制 I ○		ソーシャルワーク演習 II	1	社会福祉の原理と政策	2		
ソーシャルワークの基盤	2	○	2	II ○	2		
と専門職 II ○		地域福祉と包括的支援体	2	保健医療と福祉○	2		
社会保障 I ○	2	制 II ○	2	権利擁護を支える法制	2		
海外研修 (保健福祉学)	1	社会保障 II ○	2	度○	2		
		障害者福祉○	2	ソーシャルワーク演習	2		
		発達心理学	2	III ○	2		
		児童・家庭福祉 II	2	社会福祉調査の基礎○	2		
		社会病理学	2	福祉サービスの組織と	2		
		国際福祉論	2	経営○	2		
		福祉産業論	2	ソーシャルワーク実習	[6]		
				○	2		
				現代の精神保健の課題	2		
				と支援 I	1		
				国際家族政策論	2		
				社会福祉調査演習	2		
				福祉のまちづくり政策	2		
				論	2		
				フードビジネス学☆	2		
小計	19	小計	28	小計	32	小計	7
						小計	86
備考 <共通教育科目> 28単位 + <学部教育科目> 86単位 (+実習6単位) = 114単位 (+6単位) <合計120単位>							
<1年次> 45単位、<2年次> 30単位、<3年次> 32単位 (+6単位)、<4年次> 7単位							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門共通科目、専門科目から96単位以上を修得すること。</li> <li>・ ◎は卒業必修科目を示す。</li> <li>・ ○がついている科目は社会福祉士受験資格科目である。(56単位+実習6単位、うち必修科目は10単位)</li> <li>・ 斜体活字は、国家・地方公務員等(福祉事務所・児童相談所・社会福祉協議会等)のソーシャルワーカーをめざす場合に履修することが望ましい選択科目を示す。</li> <li>・ [ ]は実習科目の単位を示し、履修小計に含んでいない。(履修上の注意参照)</li> <li>・ ☆は副専攻「吉備の杜クリエイター課程」の科目である。</li> </ul>							
履修上の注意							
卒業要件は、共通教育科目(28単位)と学部共通科目(96単位)、計124単位である。							
1年間の単位の上限は56単位である。							
実習および集中講義は単位の上限の計算に含まない。							
4年次の研究ゼミナール履修は、研究ゼミナール4単位を含め30単位以内を単位修得することで卒業要件単位を満たすことを条件とする。							

## スクールソーシャルワーカーをめざす場合

スクールソーシャルワーカーは、学校現場、教育委員会、教育関連機関などでソーシャルワークを行う福祉専門職です。学校、児童生徒とその家庭、地域の課題解決に向けて環境調整、連携、相談援助などを行います。そのため、ソーシャルワーク実践を行う学校や教育に関する知識はもちろんのこと、連携機関である行政福祉や地域福祉の知識、制度・サービスが開発できる力、他職種と連携できる力などが求められます。そこで社会福祉士受験資格科目とスクールソーシャルワーク教育課程に関する指定科目以外にも社会病理学、児童・家庭福祉Ⅱ、知的発達と障害などを学び、幅広い知識を身につけて、スクールソーシャルワーカーとしての能力を高めていくよう意識した取り組みをするとよいでしょう。

共通教育科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
大学で学ぶ◎	1	ELP5◎	1				
フレッシュマンセミナー◎	1	ELP6◎	1				
人文・社会科学要論◎	2						
自然科学要論◎	2						
心理学◎○	2						
社会連携要論◎	1						
地域資源論◎	1						
ELP1◎	1						
ELP2◎	1						
ELP3◎	1						
ELP4◎	1						
人文・社会科学より	2						
自然科学より	2						
健康科学より	4						
複合PBLより	1						
全カテゴリーより	3						
小計	26	小計	2	小計	0	小計	0
						小計	28
備考							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共通教育選択科目は12単位以上を修得する（斜体活字は選択科目を示す）。</li> <li>・ ◎は必修科目を示す。</li> <li>・ ○がついている科目は社会福祉士受験資格科目である。</li> </ul>							

専門科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
現代福祉学入門◎	2	基礎ゼミナール◎	1	専門ゼミナール◎	1	研究ゼミナール◎	4
医学概論◎○	2	サービスマーケティング	2	家族福祉論◎	2	ソーシャルワーク演習Ⅳ○	
社会福祉の原理と政策Ⅰ◎○	2	論◎		貧困に対する支援○	2	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ○	1
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ◎○	2	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ○	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ○	1	方法Ⅳ○	
社会学と社会システム◎○	2	児童・家庭福祉Ⅰ○	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ○	1	スクールソーシャルワーク実習指導□	2
人間関係形成とコミュニケーション◎	2	高齢者福祉○	2	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ○	2	スクールソーシャルワーク実習□	1
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ○	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ○	1	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ○	2		[2]
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ○	2	ソーシャルワーク演習Ⅰ○	1	刑罰司法と福祉○	2		
社会保障Ⅰ○	2	ソーシャルワーク演習Ⅱ○	1	社会福祉の原理と政策Ⅱ○	2		
海外研修(保健福祉学)	1	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ○	2	保健医療と福祉○	2		
		社会保障Ⅱ○	2	権利擁護を支える法制度○	2		
		障害者福祉○	2	福祉サービスの組織と経営○	2		
		発達心理学□	2	ソーシャルワーク演習Ⅲ○	2		
		児童・家庭福祉Ⅱ	2	社会福祉調査の基礎○	2		
		社会病理学	2	福祉サービスの組織と経営○	2		
		国際福祉論	2	ソーシャルワーク実習○	[6]		
		知的発達と障害	2	スクールソーシャルワーク論□	2		
				教育社会学□	2		
				現代の精神保健の課題と支援Ⅰ□	2		
				スクールソーシャルワーク演習□	1		
				社会福祉調査演習	1		
				福祉のまちづくり政策論	2		
小計	19	小計	28	小計	35	小計	8
						小計	90
備考 <共通教育科目>28単位+<学部教育科目>90単位(+実習8単位)=118単位(+8単位) <合計126単位> <1年次>45単位、<2年次>30単位、<3年次>35単位(+6単位)、<4年次>8単位(+2単位)							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門共通科目、専門科目から96単位以上を修得すること。</li> <li>・◎は卒業必修科目を示す。</li> <li>・○がついている科目は社会福祉士受験資格科目である。(56単位+実習6単位、うち必修科目は10単位)</li> <li>・□がついている科目はスクールソーシャルワーク教育課程に関する指定科目である。(10単位+実習2単位)</li> <li>・斜体活字は、スクールソーシャルワーカーをめざす場合に履修することが望ましい選択科目を示す。</li> <li>・[ ]は実習科目の単位を示し、履修小計に含んでいない。(履修上の注意参照)</li> </ul>							
履修上の注意							
卒業要件は、共通教育科目(28単位)と学部共通科目(96単位)、計124単位である。							
1年間の単位の上限は56単位である。							
実習および集中講義は単位の上限の計算に含まない。							
4年次の研究ゼミナール履修は、研究ゼミナール4単位を含め30単位以内を単位修得することで卒業要件単位を満たすことを条件とする。							

## 医療ソーシャルワーカーをめざす場合

医療ソーシャルワーカーは、保健医療分野でソーシャルワークを行う福祉専門職で、傷病に伴って生じる生活上の問題・課題を抱える人の援助を行っています。そのため、傷病が与える生活への影響に関する知識はもちろんのこと患者の心理的・社会的背景を理解する力が必要となってきます。そこで、社会福祉士受験資格科目以外にも家族福祉論や社会病理学、精神医学と精神医療Ⅰなどを学び、幅広い知識を身につけて、医療ソーシャルワーカーとしての能力を高めていくよう意識した取り組みをするとよいでしょう。

共通教育科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
大学で学ぶ◎	1	ELP5◎	1				
フレッシュマンセミナー◎	1	ELP6◎	1				
人文・社会科学要論◎	2						
自然科学要論◎	2						
心理学◎○	2						
社会連携要論◎	1						
地域資源論◎	1						
ELP1◎	1						
ELP2◎	1						
ELP3◎	1						
ELP4◎	1						
人文・社会科学より	2						
自然科学より	2						
健康科学より	4						
複合PBLより	1						
全カテゴリーより	3						
小計	26	小計	2	小計	0	小計	0
						小計	28
備考							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共通教育選択科目は12単位以上を修得する（斜体活字は選択科目を示す）。</li> <li>・ ◎は必修科目を示す。</li> <li>・ ○がついている科目は社会福祉士受験資格科目である。</li> </ul>							

専門科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
現代福祉入門◎	2	基礎ゼミナール◎	1	専門ゼミナール◎	1	研究ゼミナール◎	4
医学概論◎	2	サービスマーケティング	2	家族福祉論◎	2	◎	
社会福祉の原理と政策Ⅰ◎	2	グ論◎		福祉サービスの組織と経営◎	2	ソーシャルワーク演習Ⅳ	1
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ◎	2	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ◎	2	貧困に対する支援◎	2	◎	
社会学と社会システム◎	2	児童・家庭福祉Ⅰ◎	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	1	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ◎	4
人間関係形成とコミュニケーション◎	2	高齢者福祉◎	2	◎		未来型プロジェクト<食>☆	
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ◎	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ◎	1	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ◎	2		
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ◎	2	ソーシャルワーク演習Ⅰ◎	1	刑事司法と福祉◎	2		
社会保障Ⅰ◎	2	ソーシャルワーク演習Ⅱ◎	1	社会福祉の原理と政策Ⅱ◎	2		
海外研修(保健福祉学)	1	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ◎	2	保健医療と福祉◎	2		
		社会保障Ⅱ◎	2	権利擁護を支える法制度◎	2		
		障害者福祉◎	2	ソーシャルワーク演習Ⅲ◎	2		
		児童・家庭福祉Ⅱ	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	1		
		発達心理学	2	◎			
		社会病理学	2	社会福祉調査の基礎	2		
		福祉産業論	2	◎			
		身体機能と障害	2	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ◎	2		
		知的発達と障害	2	◎			
		国際福祉論	2	ソーシャルワーク実習◎	[6]		
				臨床心理学	2		
				精神保健福祉の原理Ⅰ	2		
				精神医学と精神医療Ⅰ	2		
				精神保健福祉制度論	2		
				チームカバレッジ演習	1		
				フードビジネス学☆	2		
小計	19	小計	32	小計	34	小計	7
						小計	92
<p>備考 &lt;共通教育科目&gt; 28単位 + &lt;学部教育科目&gt; 92単位 (+実習6単位) = 120単位 (+6単位) &lt;合計126単位&gt;  &lt;1年次&gt; 45単位、&lt;2年次&gt; 34単位、&lt;3年次&gt; 34単位 (+6単位)、&lt;4年次&gt; 7単位</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門共通科目、専門科目から96単位以上を修得すること。</li> <li>・ ◎は卒業必修科目を示す。</li> <li>・ ○マークがついている科目は社会福祉士受験資格科目である。(56単位+実習6単位、うち必修科目は10単位)</li> <li>・ 斜体活字は、医療ソーシャルワーカーをめざす場合に履修することが望ましい選択科目を示す。</li> <li>・ [ ]は実習科目の単位を示し、履修小計に含んでいない。(履修上の注意参照)</li> <li>・ ☆は副専攻「吉備の杜クリエイター課程」の科目である。</li> </ul>							
<p>履修上の注意</p> <p>卒業要件は、共通教育科目(28単位)と学部共通科目(96単位)、計124単位である。</p> <p>1年間の単位の上限は56単位である。</p> <p>実習および集中講義は単位の上限の計算に含まない。</p> <p>4年次の研究ゼミナール履修は、研究ゼミナール4単位を含め30単位以内を単位修得することで卒業要件単位を満たすことを条件とする。</p>							



## 精神保健分野のソーシャルワーカーをめざす場合

精神保健分野のソーシャルワーカーは、地域の障害者向けの施設や行政、保健所、病院等で精神障害に伴って生じる生活上の問題・課題を抱える方々の援助を行っています。そのため、医学や精神保健学の知識はもちろんのこと患者の心理や社会的背景を理解する力が必要となってきます。そこで、社会福祉士受験資格科目に加え、社会病理学、知的発達と障害、国際福祉論などの科目、さらには精神保健福祉士の受験資格科目を学び、幅広い知識を身につけてソーシャルワーカーとしての能力を高めていくように意識した取り組みをするとよいでしょう。

共通教育科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
大学で学ぶ◎	1	ELP5◎	1				
フレッシュマンセミナー◎	1	ELP6◎	1				
人文・社会科学要論◎	2						
自然科学要論◎	2						
心理学◎○	2						
社会連携要論◎	1						
地域資源論◎	1						
ELP1◎	1						
ELP2◎	1						
ELP3◎	1						
ELP4◎	1						
人文・社会科学より	2						
自然科学より	2						
健康科学より	4						
複合PBLより	1						
全カテゴリーより	3						
小計	26	小計	2	小計	0	小計	0
小計							28
備考							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共通教育選択科目は12単位以上を修得すること（斜体活字は選択科目を示す）。</li> <li>・ ◎は必修科目を示す。</li> <li>・ ○がついている科目は社会福祉士受験資格科目である。</li> </ul>							

専門科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
現代福祉入門◎	2	基礎ゼミナール◎	1	専門ゼミナール◎	1	研究ゼミナール◎	4
医学概論◎○	2	サービスマーケティング論◎	2	家族福祉論◎	2	ソーシャルワーク演習Ⅳ○	1
社会福祉の原理と政策Ⅰ◎○	2	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ○	2	福祉サービスの組織と経営○	2	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ○	2
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ◎○	2	児童・家庭福祉Ⅰ○	2	貧困に対する支援○	2	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ□	1
社会学と社会システム◎○	2	高齢者福祉○	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ○	1	□	1
人間関係形成とコミュニケーション◎	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ○	1	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ○	2	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅲ□	1
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ○	2	○	1	刑事司法と福祉○	2	精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅱ□	1
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ○	2	ソーシャルワーク演習Ⅰ○	1	社会福祉の原理と政策Ⅱ○	2	精神保健ソーシャルワーク実習	[4]
社会保障Ⅰ○	2	ソーシャルワーク演習Ⅱ○	1	保健医療と福祉○	2	□	
海外研修(保健福祉学)	1	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ○	2	権利擁護を支える法制度○	2	精神保健ソーシャルワーク実習	
		社会保障Ⅱ○	2	ソーシャルワーク演習Ⅲ○	2	□	
		障害者福祉○	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ○	1		
		児童・家庭福祉Ⅱ	2	社会福祉調査の基礎○	2		
		社会病理学	2	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ○	2		
		身体機能と障害	2	ソーシャルワーク実習○	[6]		
		知的発達と障害	2	精神医学と精神医療Ⅰ□	2		
		国際福祉論	2	精神医学と精神医療Ⅱ□	2		
		生活とエルゴノミクス	2	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ□	2		
				現代の精神保健の課題と支援Ⅱ□	2		
				精神保健福祉の原理Ⅰ□	2		
				精神保健福祉の原理Ⅱ□	2		
				精神障害リハビリテーション論□	2		
				精神保健ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ□	2		
				精神保健ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ□	2		
				精神保健福祉制度論□	2		
				精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ□	1		
				精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅰ□	1		
小計	19	小計	30	小計	47	小計	10
小計							106
備考 <共通教育科目>28単位+<学部教育科目>106単位(+実習10単位)=134単位(+10単位)<合計144単位>							
<1年次>45単位、<2年次>32単位、<3年次>47単位(+6単位)、<4年次>10単位(+4単位) ・専門共通科目、専門科目から96単位以上を修得すること。 ・◎は卒業必修科目を示す。 ・○マークがついている科目は社会福祉士受験資格科目である。(56単位+実習6単位、うち必修科目は10単位) ・□マークがついている科目は精神保健福祉士受験資格科目(25単位+実習4単位)を示す(社会福祉士科目は除く)。 ・斜体活字は、病院や保健所等の精神保健ソーシャルワーカーをめざす場合に履修することが望ましい選択科目を示す。 ・[ ]は実習科目の単位を示し、履修小計に含んでいない。(履修上の注意参照)							
履修上の注意							
卒業要件は、共通教育科目(28単位)と学部共通教育科目(96単位)、計124単位である。							
1年間の単位の上限は56単位である。							
実習および集中講義は単位の上限の計算に含まない。							
4年次の研究ゼミナール履修は、研究ゼミナール4単位を含め30単位以内を単位修得することで卒業要件単位を満たすことを条件とする。							

## 高齢者・障害者福祉のソーシャルワーカーをめざす場合

高齢者・障害者福祉のソーシャルワーカーは、高齢者・障害者の生活相談や施設入退所の相談や手続き、ケアプランの作成支援などを行います。そのために、高齢者・障害者福祉のほか保健・医療・司法の幅広い知識が求められます。そこで社会福祉士受験資格科目以外にも様々な科目を学び、ソーシャルワーカーとしての能力を高めていくよう意識した取り組みをするとよいでしょう。

共通教育科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
大学で学ぶ◎	1	ELP 5◎	1				
フレッシュマンセミナー◎	1	ELP 6◎	1				
人文・社会科学要論◎	2						
自然科学要論◎	2						
心理学◎○	2						
社会連携要論◎	1						
地域資源論◎	1						
ELP 1◎	1						
ELP 2◎	1						
ELP 3◎	1						
ELP 4◎	1						
人文・社会科学より	2						
自然科学より	2						
健康科学より	4						
複合 PBL より	1						
全カテゴリーより	3						
小計	26	小計	2	小計	0	小計	0
						小計	28
<b>備考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共通教育選択科目は12単位以上を修得する（斜体活字は選択科目を示す）。</li> <li>・ ◎は必修科目を示す。</li> <li>・ ○がついている科目は社会福祉士受験資格科目である。</li> </ul>							

専門科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
現代福祉学入門◎	2	基礎ゼミナール◎	1	専門ゼミナール◎	1	研究ゼミナール◎	4
医学概論◎◎	2	サービスマーケティング論◎	2	家族福祉論◎	2	◎	
社会福祉の原理と政策 I ◎◎	2	ソーシャルワークの理論と方法 I ○	2	貧困に対する支援○	2	ソーシャルワーク演習Ⅳ○	1
ソーシャルワークの基盤と専門職 I ◎◎	2	○		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ○	1	○	
社会学と社会システム◎◎	2	児童・家庭福祉 I ○	2	○		ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ○	2
人間関係形成とコミュニケーション◎	2	高齢者福祉○	2	○		未来型プロジェクト<食>☆	4
地域福祉と包括的支援体制 I ○	2	ソーシャルワーク実習指導 I ○	1	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ○	2		
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ○	2	ソーシャルワーク演習 I ○	1	○			
社会保障 I ○	2	ソーシャルワーク演習Ⅱ○	1	法Ⅲ○	2		
海外研修(保健福祉学)	1	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ○	2	刑事司法と福祉○	2		
		社会保障Ⅱ○	2	社会福祉の原理と政策Ⅱ○	2		
		障害者福祉○	2	保健医療と福祉○	2		
		発達心理学	2	権利擁護を支える法制度○	2		
		児童・家庭福祉Ⅱ	2	社会福祉調査の基礎○	2		
		社会病理学	2	福祉サービスの組織と経営○	2		
		国際福祉論	2	○			
		福祉産業論	2	福祉サービス演習Ⅲ○	2		
		地域保健福祉演習	1	○			
		生活とエルゴノミクス	2	○			
				現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2		
				国際家族政策論	2		
				社会福祉調査演習	1		
				チームガバナビリテイ演習	1		
				福祉のまちづくり政策論	2		
				臨床心理学	2		
				フードビジネス学☆	2		
小計	19	小計	31	小計	35	小計	7
						小計	92
備考 <共通教育科目>28単位+<学部教育科目>92単位(+実習6単位)=120単位(+6単位) <合計126位> <1年次>45単位、<2年次>33単位、<3年次>35単位(+6単位)、<4年次>7単位							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門共通科目、専門科目から96単位以上を修得すること。</li> <li>・◎は卒業必修科目を示す。</li> <li>・○マークがついている科目は社会福祉士受験資格科目である。(56単位+実習6単位、うち必修科目は10単位)</li> <li>・斜体活字は、高齢者・障害者福祉のソーシャルワーカーをめざす場合に履修することが望ましい選択科目を示す。</li> <li>・[ ]は実習科目の単位を示し、履修小計に含んでいない。(履修上の注意参照)</li> <li>・☆は副専攻「吉備の杜クリエイター課程」の科目である。</li> </ul>							
履修上の注意							
卒業要件は、共通教育科目(28単位)と学部共通科目(96単位)、計124単位である。							
1年間の単位の上限は56単位である。							
実習および集中講義は単位の上限の計算に含まない。							
4年次の研究ゼミナール履修は、研究ゼミナール4単位を含め30単位以内を単位修得することで卒業要件単位を満たすことを条件とする。							

## 介護福祉のリーダー及び企業人を目指す場合

介護福祉士は生活上に何らかの困難を抱え、その解決のために援助を求めている人々に対し、介護福祉の専門職として生活支援を行います。そのために、介護福祉の専門職としての倫理や価値、尊厳の保持、科学的思考に基づく解決方法に加えて、多職種と連携できるマネジメント力や介護福祉職のリーダーとして国内外で活躍できる力が必要となってきます。さらに超高齢社会では、介護事業だけでなく、介護ロボット、AI (Artificial Intelligence)、福祉用具などを含めた介護産業の市場規模が急速に拡大しており、一般企業においても介護福祉の価値・知識・技術を身に付けた人材の活躍が期待できます。そこで、介護福祉士の受験資格科目に加え、生活支援のための運動学や薬理学、管理経営、経営戦略論、会計学等を学び、幅広い知識を身につけて、介護福祉の専門家としての能力を高め、管理業務も意識した取り組みをすると良いでしょう。

共通教育科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
大学で学ぶ◎	1	ELP5◎	1				
フレッシュマンセミナー◎	1	ELP6◎	1				
人文・社会科学要論◎	2						
経営学	2						
自然科学要論◎○	2						
心理学◎○	2						
社会連携要論◎	1						
地域資源論◎	1						
ELP1◎	1						
ELP2◎	1						
ELP3◎	1						
ELP4◎	1						
自然科学より	2						
健康科学より	4						
複合PBLより	1						
全カテゴリーより	3						
小計	26	小計	2	小計	0	小計	0
小計							28
備考							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通教育選択科目は10単位以上を修得すること（斜体活字は選択科目を示す）。</li> <li>・◎は必修科目を示す。</li> <li>・○がついている科目は介護福祉士受験資格科目である。</li> </ul> <p>【人文・社会科学】から4単位は、「経営学」は必ず履修し、「日本国憲法」等、経済や法律の科目を履修することが望ましい。</p> <p>【自然科学】から2単位は、「コンピュータ演習Ⅰ」、「コンピュータ演習Ⅱ」を履修することが望ましい。</p>							

専門科目							
1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位
現代福祉学入門◎	2	基礎ゼミナール◎	1	専門ゼミナール◎	1	研究ゼミナール◎	4
社会学と社会システム◎	2	サービスマーケティング論◎	2	権利擁護を支える法制度○	2	リーダーシップ演習○	1
社会福祉の原理と政策I◎○	2	介護原論I◎○	2	福祉サービスの組織と経営○	2	介護管理○	2
医学概論◎○	2	身体機能と障害○	2	現代の精神保健の課題と支援I○	2	介護総合演習IV○	1
ソーシャルワークの基盤と専門職I◎○	2	知的発達と障害○	2	チームガバナビリティ演習	7	海外介護プロモーション◆	1
人間関係形成とコミュニケーション◎○	2	高齢者福祉○	2	認知症ケア論○	2	介護福祉実習IV○	[2]
地域福祉と包括的支援体制I○	2	福祉産業論◆	2	薬理学	2	未来型プロジェクト<食☆>	4
社会保障I○	2	介護原論II○	2	ヒューマンケア心理演習	1		
海外研修(保健福祉学)	7	多文化介護論○	2	医療的ケアI○	1		
		認知症論○	2	医療的ケアII○	1		
		人体の構造と機能○	2	医療的ケアIII○	1		
		老年医学○	2	医療的ケア演習I○	1		
		老年科学○	2	介護予防演習○	1		
		運動・リハビリテーション学	2	コミュニケーション技術II○	1		
		コミュニケーション技術I○	1	家政学演習○	1		
		生活支援技術I○	1	住環境科学演習○	1		
		生活支援技術II○	1	介護過程III○	1		
		生活支援技術III○	1	介護総合演習II○	1		
		生活支援技術IV○	1	介護総合演習III○	1		
		生活支援技術V○	1	介護ロボット論◆	2		
		生活支援技術VI○	1	介護データマネジメント演習◆	1		
		福祉用具の活用技術と理論○	1	介護施設デザイン演習◆	1		
		介護過程総論○	1	経営戦略論◆	2		
		介護過程I○	1	施設会計演習◆	1		
		介護過程II○	2	介護福祉実習II○	[4]		
		介護総合演習導入○	1	介護福祉実習III○	[2]		
		介護総合演習I○	1	フードビジネス学☆	2		
		介護福祉実習I○	[2]				
小計	17	小計	39	小計	31	小計	9
						小計	96
備考 <共通教育科目>28単位+<学部教育科目>96単位(+実習10単位)=124単位(+10単位)<合計134単位> <1年次>43単位、<2年次>41単位(+2単位)、<3年次>31単位(+6単位)、<4年次>9単位(+2単位)							
・専門共通科目、専門科目から96単位以上を修得すること。							
・◎は卒業必修科目を示す。							
・○がついている科目は、介護福祉士受験資格科目(73単位+実習10単位)を示す(必修科目を除く)							
・◆がついている科目は、マネジメント科目であり、全科目履修することが望ましい							
・斜体活字は、選択ではあるが、履修することが望ましい							
・実習科目の単位は、履修小計に含んでいない。(履修上の注意参照)							
・☆は副専攻「吉備の杜クリエイター課程」の科目である。							
履修上の注意							
卒業要件は、共通教育科目(28単位)と学部共通教育科目(96単位)、計124単位である。							
1年間の単位の上限は56単位である。							
実習および集中講義は単位の上限の計算に含まない。							
4年次の研究ゼミナール履修は、研究ゼミナール4単位を含め30単位以内を単位修得することで卒業要件単位を満たすことを条件とする。							

## 4 子ども学科

### 4. 1 本学科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

子ども学科は、子どもの育ちと支援にかかわる理論を理解し、子どもの学びと育ちを支えることができる実践力を身に付けるとともに、子ども学を子どもの育成環境整備や保健・医療・福祉・教育分野との連携・協働へと応用し、岡山県から広く地域社会及び国際社会に貢献できる人材の育成を目指しています。卒業要件を満たすことにより、次の能力や態度・意欲を身に付けた者に学位を授与します。

#### A.【人間・社会・自然の理解】

人文科学、社会科学、自然科学、健康科学の知識を通して、人間・社会・自然を理解する力を身に付けている。

#### B.【倫理観】

幼児教育・保育に携わる専門職業人として必要な倫理観と豊かな人間性を身に付けている。

#### C-1.【専門的知識・技能1】

幼児教育学・保育学の専門職として、幅広く社会に貢献するために必要な基礎的知識と技能を身に付けている。

#### C-2【専門的知識・技能2】

幼児教育・保育について、科学的・論理的な視点による事象の理解、及び課題解決のための応用的な専門的知識と技能を身に付けている。

#### D.【論理的思考力・判断力・実践力】

子どもの豊かな育成環境を考え創造し表現する能力、及び幼児教育・保育の知識・技能を活用して実践的な援助や判断ができる能力を身に付けている。

#### E.【課題発見・解決力】【主体性】

幼児教育学・保育学、ならびにその関連分野における課題を発見し、主体的に解決する能力を身に付けている。

#### F.【コミュニケーション力】

地域の様々な人との交流から学び、課題に対して主体的に介入できるコミュニケーションの技術を身に付けている。

#### G.【多様な人々と協働する力】

保健、医療、福祉、教育関連分野で貢献するための課題解決に必要な自己管理能力及びマネジメント力や、自他の役割を理解し、多様な人々と協調・協働して課題を解決する力を身に付けている。

### 4. 2 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

#### 【基本方針】

子ども学科では、学位授与の方針に掲げる人材を育成するため、4年間で系統的に修得する幼児教育学・保育学に関する広範囲な分野の専門的知識を基礎として、地域と協働しながら子どもの育ちと学びを支える専門職としての活動ができるよう、体系的な教育課程を以下のように編成しています。

#### 【共通教育科目】

共通教育科目では、幼稚園教諭・保育教諭・保育士に求められる知的実践的自律性を培うため、教養教育の導入、理論、実践を網羅する科目群を編成しています。

#### 【修学基礎力】

高校の学びから大学での学びへの転換と準備のための初年次教育ならびに子ども学の専門性への学びを促す修学基礎科目群

#### 【人間・社会・自然の理解】

人間や社会及び文化について考えるため、普遍的な理論や知識を修得し、人間理解を深めるとともに、社会の仕組みや歴史を修得し、そのあり方を問う論理的思考力や課題発見力を養う人文・社会科学科目群

自然現象やそれに関わる発見から普遍的な真理を探究することを通じ、論理的思考力や課題発見力などを身に付ける自然科学科目群

心身の健康に関する理論や知識を修得し、生活する上で適切な判断を導く思考力を養うとともに、生涯にわたり健全な社会生活を送るための技能を修得する健康科学科目群

以上の学問分野において、主体的に課題を設定し、調査、考察、発表、討論を経て最終的な解決に取り組む複合 PBL 科目群

#### 【コミュニケーション力】

グローバル化する国内外の地域で活躍するために必要な語学力を育成する語学国際科目群、相互対話によって主体的に問題に取り組み自らの見解を他者に合理的に発信できる複合 PBL 科目群

#### 【多様な人々と協働する力】

豊かな人間性を持って地域で活躍するために必要な課題発見力と多様な人々との協働性を養成する社会連携科目群

### 【学部教育科目】

学部教育科目では、幼児教育・保育の専門家として社会に貢献するために必要な理論と技術、実践力等を涵養する科目群を編成しています。

専門分野は、コア1(教育の基礎・領域と指導演法)、コア2(保育と福祉)、スキルアップ(基礎技能)、フィールドチャレンジ(実習・地域連携・国際)、研究の5つのカテゴリで構成されています。

#### 【専門的知識・技能1】

幼児教育学・保育学の専門職として、幅広く社会に貢献するために必要な基礎的知識と技能を身に付ける「教育基礎論」「保育原理」などの科目群

#### 【専門的知識・技能2】

幼児教育・保育について、科学的・論理的な視点による事象の理解、及び課題解決のための応用的な専門知識と技能を身に付ける「幼児と健康」「保育内容総論」などの科目群

#### 【論理的思考力・判断力・実践力】

子どもの豊かな育成環境を考え、創造し表現するために、幼児教育学・保育学の専門職として論理的思考力、判断力、実践力を身に付ける「カリキュラム論」「子ども学概論」「保育内容総合演習」および「総合表現」などの科目群

#### 【倫理観】

幼児教育・保育に携わる高度専門職業人として必要な倫理観と豊かな人間性とともに、応用的学習経験と実践知を身に付ける「保育・教職実践演習」「教育実習」などの科目群

#### 【課題発見・解決力】【主体性】

系統的に修得した幼児教育学・保育学に関する広範囲な分野の専門的知識を基礎として、発見した課題を解決に導くための深い知識の獲得や、幼稚園教諭・保育教諭・保育士の倫理を遵守した計画を主体的に立案し遂行する能力を養う「表現活動研究」「研究ゼミナール」などの科目群

### 【教職教育科目】

#### 【教育力】

幼稚園教諭・保育教諭として必要である専門的知識と技能を身に付けるための「コア1(教育の基礎・領域と指導演法)」「コア2(保育と福祉)」「スキルアップ(基礎技能)」「フィールドチャレンジ(実習・地域連携・国際)」に関する科目群



### 4. 3 教育課程の編成

子ども学科では以下に示す教育課程を編成している。

子ども学科カリキュラム	概要
専 門 科 目	
コア1	教育の基礎理論や保育の領域と指導法に関する専門的知識を修得する。
コア2	保健福祉学の基礎理論や関連諸科学に関する専門的知識を修得する。
スキルアップ	コア1、コア2で習得した専門的知識に基づき、教育と保育の基礎技能を修得する。
フィールドチャレンジ	教育実習・保育実習、地域連携授業等により教育・保育の総合力を修得する。
研究	1年次から4年次までの小グループによる一貫教育を通して、研究方法を修得すると共に、卒業論文の執筆に向けた指導を行う。

### 4. 4 卒業要件と履修方法

#### (1) 卒業要件

子ども学科令和3年度入学生の卒業要件単位数は下表に示している。

子ども学科	必修科目	選択科目	計
共通教育科目	23 単位	5 単位	28 単位
学部教育科目	81 単位	15 単位	96 単位
計	104 単位	20 単位	124 単位

#### (2) 履修上の留意点

共通教育科目（2-1 2 頁参照）は、教育職・保育職に求められる豊かな知識・教養を涵養するものであるとともに、専門に進む基礎となるものである。このため、1、2年次で履修することが望ましい。

専門科目は、コアⅠ、コアⅡ、スキルアップ、フィールドチャレンジ、研究の五つの柱から構成され、子どもの育ちと学びに関わる理論や知識、方法・技術を修得するとともに実践的指導力・支援力を培うものである。履修にあたっては、学年に従って段階的に各領域科目の学習を積み重ねると共に、教育実習・保育実習における実践とその振り返りからさらに学びを深めていく。なお、専門科目の多くは卒業に不可欠な科目となっている。また、各年次に開講されている教育実習及び保育実習の履修に必要な科目は必ず履修し修得しなければならない。

また、1年次から4年次まで全学年で少人数制のゼミナール教育を実施しており、大学での学びへの導入から専門研究へと段階的に導いていく内容となっている。1年次の「入門ゼミナール」では、大学での学び方の基礎を身に付け、2年次の「基礎ゼミナール」では、子ども学という視点から研究方法の基礎を学ぶ。3年次の「専門ゼミナール」からは研究室に所属し、4年次の「研究ゼミナール」において卒業研究に取り組み卒業論文を作成する。

#### (3) 研究ゼミナールの履修要件

「研究ゼミナール」は、卒業研究に取り組むための4年次の必修科目である。したがって、4年次に研究ゼミナール4単位を含め30単位以内を単位修得することにより卒業要件単位（共通教育科目と学部教育科目を総合した124単位）を満たすものとする。

#### (4) 他学部・他学科開講科目の扱い

保健福祉学部の他学部並びに他学部が開講する学部教育科目を修得した場合、修得単位の4単位までを本学科の学部教育科目の選択科目として認定する。当該授業科目のカテゴリーは保健福祉学部長が決定する。修得単位は卒業要件単位数に含める。

(5) 子ども学科授業科目

授業科目の名称		授業の方法	担当教員	開講年次及び必修選択の別				時間数	単位	卒業要件単位数
				1	2	3	4			
教育の基礎	教育基礎論	講義	山本(孝)	◎				30	2	96 単位
	教師論	講義	山本(孝)		◎			30	2	
	教育と社会	講義	池田(隆)		◎			30	2	
	教育心理学	講義	樟本	◎				30	2	
	特別支援教育の理解	講義	京林		◎			30	2	
	カリキュラム論	講義	山本(孝)			◎		30	2	
	幼児教育方法論	講義	柏				◎	30	2	
	幼児理解の理論と方法	演習	樟本・池田(隆)・京林		◎			30	2	
	保育・教育相談	演習	中野		◎			15	1	
	保育・教職実践演習	演習	山本(孝)・樟本・柏・池田(隆)				◎	30	2	
領域と指導法	幼児と健康	演習	小畑		◎			15	1	
	幼児と人間関係	演習	京林	◎				15	1	
	幼児と環境	演習	※高橋(多)			◎		15	1	
	幼児と言葉	演習	樟本	◎				15	1	
	幼児と表現A	演習	安久津		◎			15	1	
	幼児と表現B	演習	関崎		◎			15	1	
	幼児と表現C	演習	新山		◎			15	1	
	保育内容総論	演習	柏	◎				30	2	
	保育内容(健康)の指導法	演習	小畑		◎			15	1	
	保育内容(人間関係)の指導法	演習	京林	◎				15	1	
	保育内容(環境)の指導法	演習	※高橋(多)			◎		15	1	
	保育内容(言葉)の指導法	演習	樟本		◎			15	1	
	保育内容(音楽表現)の指導法	演習	安久津		◎			15	1	
	保育内容(造形表現)の指導法	演習	関崎		◎			15	1	
保育内容(身体表現)の指導法	演習	新山		◎			15	1		
保育内容総合演習	演習	※入江			◎		30	2		
保育と福祉	保健福祉学	講義	中村他	◎				30	2	
	保育原理	講義	池田(隆)	◎				30	2	
	社会福祉の原理と政策Ⅰ	講義	村社	◎				30	2	
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	講義	岩満			○		30	2	
	児童・家庭福祉Ⅰ	講義	周防		◎			30	2	
	児童・家庭福祉Ⅱ	講義	周防		○			30	2	
	社会的養護Ⅰ	講義	中野		◎			30	2	
	社会的養護Ⅱ	演習	中野		◎			30	2	
	子ども家庭支援の心理学	講義	小畑		◎			30	2	
	子どもの保健	講義	小畑		◎			30	2	
	子どもの食と栄養Ⅰ	演習	山本(登)			○		15	1	
	子どもの食と栄養Ⅱ	演習	未定			○		15	1	
	乳幼児保育Ⅰ	講義	柏			○		30	2	
	乳幼児保育Ⅱ	演習	柏			○		30	2	
	子どもの健康と安全	演習	沖本			○		15	1	
	子ども家庭支援論	講義	中野			○		30	2	
	子ども家庭支援演習	演習	中野				○	15	1	
	子どもの障害と支援	演習	京林			○		30	2	
	身体機能と障害	講義	中村・高戸		○			30	2	
	知的発達と障害	講義	中村		○			30	2	
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	講義	岩満		○			30	2		
地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	講義	岩満		○			30	2		
子ども学概論	講義	池田(隆)			○		30	2		
臨床心理学	講義	樂木			○		30	2		
スキルアップ	音楽Ⅰ	演習	安久津	◎				30	1	
	音楽Ⅱ	演習	安久津・※非常勤	◎				30	1	
	音楽Ⅲ	演習	安久津・※非常勤		○			30	1	
	音楽Ⅳ	演習	安久津・※非常勤			○		30	1	
	図画工作Ⅰ	演習	関崎			◎		30	1	
	図画工作Ⅱ	演習	関崎			◎		30	1	
	体育Ⅰ	演習	新山			◎		30	1	
	体育Ⅱ	演習	新山			◎		30	1	
	総合表現	演習	新山・樟本・安久津				○	60	2	
	表現活動研究	演習	新山・安久津				○	30	1	

授業科目の名称		授業の方法	担当教員	開講年次及び 必修選択の別				時間 数	単位	卒業要 件単位 数
				1	2	3	4			
フ イ ー ル ド チ ャ レ ン ジ	教 育 実 習 ・ 保 育 実 習	教育実習	実習	山本(孝)・樟本			◎		180	4
		教育実習指導	演習	山本(孝)・樟本			◎		30	2
		保育実習ⅠA	実習	中野・京林		◎			90	2
		保育実習指導ⅠA	演習	中野・京林		◎			30	2
		保育実習ⅠB	実習	柏・小畑			○		90	2
		保育実習指導ⅠB	演習	柏			○		30	2
		保育実習Ⅱ	実習	池田・小畑				○	90	2
		保育実習指導Ⅱ	演習	池田(隆)				○	30	2
		保育実習Ⅲ	実習	中野・京林				○	90	2
		保育実習指導Ⅲ	演習	中野・京林				○	30	2
	地 域 連 携 ・ 国 際	子ども臨床基礎演習Ⅰ	演習	樟本・小畑	◎				30	2
		子ども臨床基礎演習Ⅱ	演習	小畑・樟本	◎				15	1
		子育て支援プロジェクト研究A	演習	学科教員	○				15	1
		子育て支援プロジェクト研究B	演習	学科教員		○			15	1
		地域保健福祉演習	演習	久保田・坂野・住吉			○		30	1
		フードビジネス学	講義	伊東 他			○		30	2
		未来型プロジェクト<食>	演習	伊東 他				○	120	4
		海外研修(保健福祉学)	演習	関根他	○				30	1
		多文化保育	演習	デスマレス・エリック		○			15	1
研 究	研 究	入門ゼミナール	演習	池田(隆)	◎			15	1	
		基礎ゼミナール	演習	学科教員		◎		30	2	
		専門ゼミナール	演習	学科教員			◎		30	2
		研究ゼミナール	演習	学科教員				◎	60	4
<p>「◎」は必修科目、「○」は選択科目、「※」は非常勤講師            資格取得に関しては「資格取得に必要な授業科目及び単位数」を参照のこと。            学部教育科目の卒業要件単位数 96単位            卒業要件単位数 124単位(共通教育科目の卒業要件28単位を含む)</p>										

(6) 科目ナンバリング

	授業科目の名称	科目ナンバリング	分野1(略称と英語名称)		分野2(略称と英語名称)		
			略称	英語名称	略称	英語名称	
教育の基礎	教育基礎論	EDU_EDU-A4-1R-L1	EDU	Education	EDU	Principles of Education	
	教師論	EDU_TEP-A4-2R-L1	TEP	Teaching Profession	TEP	Teaching Profession	
	教育と社会	EDU_EDS-A4-2R-L1	EDS	Education and Society	EDS	Education and Society	
	教育心理学	EDU_EDP-A4-1R-L1	EDP	Educational Psychology	EDP	Educational Psychology	
	特別支援教育の理解	EDU_SSE-A4-2R-L1	SSE	Development and Special Support Education	SSE	Development and Special Support Education	
	カリキュラム論	EDU_CEC-A4-3R-L1	EDU	Early Childhood Education Curriculum	EDU	Early Childhood Education Curriculum	
	幼児教育方法論	EDU_TME-A4-4R-L1	TME	Teaching Methodology for Early Childhood Education	TME	Teaching Methodology for Early Childhood Education	
	幼児理解の理論と方法	EDU_TMC-A4-2R-S1	TMU	Theory and Method for Child understanding	TMU	Theory and Method for Child understanding	
	保育・教育相談	EDU_CCE-A4-2R-S1	CCE	Counseling for Child Care and Education	CCE	Counseling for Child Care and Education	
	保育・教職実践演習	EDU_STP-A4-4R-S1	STH	Seminar in the Teaching Profession	STH	Seminar in the Teaching Profession	
コアⅠ 領域と指導法	幼児と健康	ECE_CHC-A4-2R-S1	ECE	Early Childhood Education	CHC	Child and Health Care	
	幼児と人間関係	ECE_CSR-A4-1R-S1	CSR	Child and Social Relationship	CSR	Child and Social Relationship	
	幼児と環境	ECE_CEN-A4-3R-S1	CEN	Child and Environment	CEN	Child and Environment	
	幼児と言葉	ECE_CLA-A4-1R-S1	CLA	Child and Language	CLA	Child and Language	
	幼児と表現A	ECE_CEA-A4-2R-S1	CEA	Child and ExpressionsA	CEA	Child and ExpressionsA	
	幼児と表現B	ECE_CEB-A4-2R-S1	CEB	Child and ExpressionsB	CEB	Child and ExpressionsB	
	幼児と表現C	ECE_CEC-A4-2R-S1	CEC	Child and ExpressionsC	CEC	Child and ExpressionsC	
	保育内容総論	ECE_GNC-A4-1R-S1	GNC	General Nursing for Children	GNC	General Nursing for Children	
	保育内容(健康)の指導法	ECE_1HC-A4-2R-S1	HC	Child Care Contents (Health Care)	HC	Child Care Contents (Health Care)	
	保育内容(人間関係)の指導法	ECE_1SR-A4-1R-S1	SR	Child Care Contents (Social Relationship)	SR	Child Care Contents (Social Relationship)	
	保育内容(環境)の指導法	ECE_1EN-A4-3R-S1	EN	Child Care Contents (Environment)	EN	Child Care Contents (Environment)	
	保育内容(言葉)の指導法	ECE_1LA-A4-2R-S1	LA	Child Care Contents (Language)	LA	Child Care Contents (Language)	
	保育内容(音楽表現)の指導法	ECE_1BE-A4-2R-S1	MB	Child Care Contents (Body Expressions)	MB	Child Care Contents (Body Expressions)	
	保育内容(造形表現)の指導法	ECE_1AC-A4-2R-S1	AC	Child Care Contents (Art and Craft)	AC	Child Care Contents (Art and Craft)	
	保育内容(身体表現)の指導法	ECE_2ME-A4-2R-S1	BE	Child Care Contents (Musical Expressions)	BE	Child Care Contents (Musical Expressions)	
	保育内容総合演習	ECE_SCC-A4-3R-S1	SCC	Seminar for Child Care Contents	SCC	Seminar for Child Care Contents	
コアⅡ 保育と福祉	保健福祉学	CCW_IHS-A4-1R-L0	CCW	Child Care and Welfare	HS	Introduction to Health and Welfare Science Studies	
	保育原理	CCW_PCL-A4-1R-L1			PC	Principles of Early Childhood Care and Education I	
	社会福祉の原理と政策Ⅰ	CCW_PSW1-A4-1R-L1			PSW	Principals of Social Welfare I	
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	CCW_PSW2-A4-3E-L1			PSW	Principals of Social Welfare II	
	児童・家庭福祉Ⅰ	CCW_CP1-A4-2R-L1			CP1	Child Welfare Policy and Practice I	
	児童・家庭福祉Ⅱ	CCW_CP2-A4-2E-L1			CP2	Child Welfare Policy and Practice II	
	社会的養護Ⅰ	CCW_AC1-A4-2R-L1			CC1	Alternative Child Care I	
	社会的養護Ⅱ	CCW_AC2-A4-2R-S1			CC2	Alternative Child Care II	
	子ども家庭支援の心理学	CCW_PFH-A4-2R-L1			PFC	Psychology for Family and Child	
	子どもの保健	CCW_CHC-A4-2R-L1			CHA	Child Healthcare	
	子どもの食と栄養Ⅰ	CCW_CN1-A4-3E-S1			CN1	Childhood Nutrition I	
	子どもの食と栄養Ⅱ	CCW_CN2-A4-3E-S1			CN2	Childhood Nutrition II	
	乳幼児保育Ⅰ	CCW_NI1-A4-3E-L1			NB1	Nursing for Infants I	
	乳幼児保育Ⅱ	CCW_NI2-A4-3E-S1			NB2	Nursing for Infants I	
	子どもの健康と安全	CCW_CHS-A4-3E-S1			CHS	Child Health and Safety	
	子ども家庭支援論	CCW_FCS-A4-3E-L1			SFC	Family and Child Support	
	子ども家庭支援演習	CCW_FCE-A4-4E-S1			FCE	Family and Child Support Exercise	
	子どもの障害と支援	CCW_TCD-A4-4E-S1			TCD	Teaching Methods for Children with Disabilities	
	身体機能と障害	CCW_PFD-A4-2E-S1			PFD	Physical Functions and Disabilities	
知的発達と障害	CCW_IDD-A4-2E-S1			IDD	Intellectual Development and Developmental Disorders		
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	CCW_CBW1-A4-2E-S1			CBW	Community based Welfare I		
地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	CCW_CBW2-A4-2E-S1			CBE	Community based Welfare II		
子ども学概論	CCW_PC2-A4-3E-L1			PC2	Principles of Early Childhood Care and Education II		
臨床心理学	CCW_CLP-A4-3E-L1			CLI	Clinical Psychology		
スキルアップ 基礎技能	音楽Ⅰ	CES_MU1-A4-1R-S1	CES	Connection to Elementary School Education	MV0	Music I	
	音楽Ⅱ	CES_MU2-A4-1R-S1			MP1	Music II	
	音楽Ⅲ	CES_MU3-A4-2E-S1			MP2	Music III	
	音楽Ⅳ	CES_MU4-A4-3E-S1			MP3	Music IV	
	図画工作Ⅰ	CES_AC1-A4-3R-S1			AC1	Art and Craft I	
	図画工作Ⅱ	CES_AC2-A4-3E-S1			AC2	Art and Craft II	
	体育Ⅰ	CES_PE1-A4-3R-S1			PE1	Physical Education I (Dance)	
	体育Ⅱ	CES_PE2-A4-3E-S1			PE2	Physical Education II (Physical Play)	
	総合表現	CES_SE1-A4-4E-S1			SE	Synthetic Expressions I	
	表現活動研究	CES_REA-A4-4E-S1			REA	Research of Expression Activity	
フィールドチャレンジ 教育実習・保育実習	教育実習	TCP_TEP-A4-3R-S1	TCP	Teaching and Child Care Practice	PRT	Teaching Practice	
	教育実習指導	TCP_LTP-A4-3R-S1			LPT	Leading of Teaching Practice	
	保育実習ⅠA	TCP_CPA-A4-2R-S1			CPA	Child Care Practice I A	
	保育実習指導ⅠA	TCP_LPA-A4-2R-S1			LPA	Leading of Child Care Practice I A	
	保育実習ⅠB	TCP_CPB-A4-3E-S1			CPB	Child Care Practice I B	
	保育実習指導ⅠB	TCP_LPB-A4-3E-S1			LPB	Leading of Child Care Practice I B	
	保育実習Ⅱ	TCP_CP2-A4-4E-S1			CP2	Child Care Practice II	
	保育実習指導Ⅱ	TCP_LP2-A4-4E-S1			LP2	Leading of Child Care Practice II	
	保育実習Ⅲ	TCP_CP3-A4-4E-S1			CP3	Child Care Practice III	
	保育実習指導Ⅲ	TCP_LP3-A4-4E-S1			LP3	Leading of Child Care Practice III	
	地域連携・国際	子ども臨床基礎演習Ⅰ	CBL_SCC-A4-1R-S0	CBL	Community Based Learning	SCC	Seminar of Clinical Child Care1
		子ども臨床基礎演習Ⅱ	CBL_SCC-A4-1R-S0			SCC	Seminar of Clinical Child Care2
		地域保健福祉演習	CBL_RHW-A4-3E-S0			RHW	Practice of Regional Health and Welfare
子育て支援プロジェクト研究A		CBL_PCA-A4-1E-S0			PCA	Project of Child Care A	
子育て支援プロジェクト研究B		CBL_PCB-A4-2E-S0			PCB	Project of Child Care B	
フードビジネス学		CBL_FOB-A4-3E-L0			FOB	Food business	
未来型プロジェクト<食>		CBL_PSF-A4-4E-S0			PSF	Project for a Sustainable Future <Food>	
海外研修(保健福祉学)		CBL_SAH-A4-0E-S0			SAH	Study Abroad Program(Health and Welfare Science)	
研究	多文化保育	CBL_MCC-A4-2E-S1			MCC	Multicultural Child Care	
	入門ゼミナール	IND_SEM-A4-1R-S0	IND	Interdisciplinary	SEM	Seminar I	
	基礎ゼミナール	IND_SEM-A4-2R-S0			SEM	Seminar II	
	専門ゼミナール	IND_SEM-A4-3R-S0			SEM	Seminar III	
	研究ゼミナール	IND_THE-A4-4R-S0			THE	Thesis	

## (7) 資格取得

### 1) 幼稚園教諭一種免許状

#### ①資格の概要

幼稚園教諭は、学校教育法に定められた幼稚園において「幼児の保育をつかさどる」（学校教育法第27条）教員である。幼稚園教諭は家庭・地域社会と連携しながら生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な役割を担っている。

#### ②免許状の種類 幼稚園教諭一種免許状

子ども学専攻では必要な単位数を修得することにより、卒業と同時に幼稚園教諭一種免許状を取得することができる。

#### ③基礎資格

幼稚園教諭一種免許状は、基礎資格である学士の学位（卒業）を有し、かつ、教育職員免許法別表第一に示される大学において修得することを必要とする最低単位数を修得した者に授与される。

#### ④単位修得及び履修の方法

教育職員免許法施行規則第二条に基づいて、本学での開講科目と必要最低単位数を以下の様に定めている（表1参照）。

免許状の種類	基礎資格	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	教職教育科目
幼稚園教諭一種免許状	学士の学位を有すること	8単位	51単位

#### 1) 学士の学位を有すること

幼稚園教諭一種免許状を取得するには、基礎資格である学士の学位（卒業）を有することが必要となるため、子ども学科の卒業要件を満たさなければならない。

2) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目をすべて修得しなければならない。

3) 教育職教育科目の必要最低単位数は51単位であり、以下の内訳に従って修得しなければならない。

- ・領域及び保育内容の指導法に関する科目 18単位
- ・教育に関する基礎的理解に関する科目 12単位
- ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 5単位
- ・教育実践に関する科目 8単位
- ・大学が独自に設定する科目 8単位

#### ⑤教育実習について

教育実習は、教員免許状の取得をめざす学生たちにとっては欠かすことのできないものである。実際の教育現場において、大学で学んだ理論や知識を生かすとともに、教育の現場に触れながら教育の実践的な知識、技能等の基礎を修得するものである。実習についての詳細は教育実習の手引きに記載されている。

#### 1) (1)教育実習の期間と単位数

種類	期間	科目名	単位	年次
幼稚園教育実習	4週間	教育実習	4	3
		教育実習指導	2	3

## 2) (2)教育実習履修資格

教育実習を履修するには、原則として以下の履修要件を満たすことが必要である。

- ア) i 領域及び保育内容の指導法に関する科目 13 科目 14 単位以上修得していること。
  - ii 教育に関する基礎的理解に関する科目 5 科目 10 単位修得していること。
  - iii 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目を 2 科目 3 単位修得していること
  - iv 大学が独自に設定する科目 2 科目 2 単位以上を修得していること。
  - v 文部科学省令に定める科目（教育職員免許法施行規則第 6 6 条の 6）を全て修得していること。
- イ) 教育実習の事前指導を受けていること。
  - ウ) 伝染性疾患を有しない者。
  - エ) その他、実習に支障のないものであること。

## ⑥保育・教職実践演習について

「保育・教職実践演習」は教職課程の授業科目の履修や教職課程外での様々な活動を通じて身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として形成されたかについて確認する科目である。したがって、4 年次後期に開講され、全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」として位置づけられている。本学における「保育・教職実践演習」を履修するためには以下の条件を満たしていることが必要である。

- ア) 各年次の学科オリエンテーションに必ず参加していること。
- イ) 1 年次から履修している教職課程科目について、履修カルテ I 及び II を作成していること。
- ウ) 履修履歴に関して担当教員との面談を行っていること。
- エ) 原則として、教育実習を終えていること。

## 2) 保育士資格

### ①資格の概要

保育士は、児童福祉法に「専門的知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行うことを業とする者」（児童福祉法第 18 条の 4）と定められている。保育士は保育所をはじめとした児童福祉施設に必置の専門職であり、子ども及び子育て支援の中核を担う専門職として重要な役割を担っている。

### ②資格の種類 保育士（国家資格）

子ども学科では必要な単位数を修得することにより、卒業と同時に保育士資格を取得することができる。

### ③単位修得及び履修の方法

厚生労働省告示により保育士を養成する学校の修業教科目と単位数が定められている。それに基づいて本学での開講科目と単位数を定めている（表 2 参照）。

- (1) 教養科目 12 単位  
すべての科目が必修となる。
- (2) 必修科目 62 単位  
すべての科目が必修となる。
- (3) 選択必修科目 10 単位以上

選択必修科目においては、保育実習Ⅱ及び保育実習指導Ⅱ、または保育実習Ⅲ及び保育実習指導Ⅲのいずれかを必ず履修し修得すること。

#### ④保育実習について

保育実習は、保育士養成校において修得した知識や技術を基礎とし、これらを総合的に実践する応用能力を養うことを目的としている。実習についての詳細は保育実習（保育所・施設）の手引きに記載されている。

##### (1) 保育実習の期間と単位数

種 類		期 間	科目名	単 位	年 次
必 修	児童福祉施設 (保育所以外) での実習	10日間 (宿泊)	保育実習ⅠA	2	2
			保育実習指導ⅠA	1	2
	保育所での実習	10日間	保育実習ⅠB	2	3
			保育実習指導ⅠB	1	3
選 択 必 修	保育所での実習	10日間	保育実習Ⅱ	2	4
			保育実習指導Ⅱ	2	4
	児童福祉施設 (保育所以外) での実習	10日間	保育実習Ⅲ	2	4
			保育実習指導Ⅲ	2	4

##### (2) 保育実習履修資格

保育実習(「保育実習ⅠA」、「保育実習ⅠB」、「保育実習Ⅱ」または「保育実習Ⅲ」)を履修するには、以下の履修要件を満たすことが必要である。

- ア) 各実習に該当する保育実習指導を合わせて履修すること。
- イ) 原則として、保育士資格に必要な授業科目(表2)の内、各実習までに開講されている必修科目を修得していること。
- ウ) 健康診断、麻疹抗体検査、腸内細菌検査等を事前に受診していること。
- エ) その他、実習に支障のないものであること。

#### ⑤保育士登録について

「保育士」として業務を行う場合、都道府県知事に対し、業務に就く前に保育士登録手続きを行う必要がある(児童福祉法第18条の6、第18条の18)。保育士登録手続きは4年次後期に大学を通して行う。

### 3) 社会福祉主事

社会福祉主事は、「社会福祉法」に規定された資格で、基本的には、都道府県、市町村の行政職や福祉職の公務員試験に合格し、福祉事務所などのケースワーカーに採用される場合に活きる任用資格である。また、一定の社会福祉施設の生活支援員等の資格にも準用される。この資格を得るためには、「社会福祉主事に関する指定科目」(表5 「社会福祉主事に関する指定科目」)のうち、いずれか3科目を取得する必要がある。

表1 幼稚園教諭一種免許状を取得するために必要な授業科目

教育職員免許法施行規則に定める科目			授業科目の名称	授業の方法	開講年次及び必修選択の別				開講時間数	開講単位数	必修選択の別	備考
					1	2	3	4				
領域及び保育内容の指導法に関する事項	健康	16	幼児と健康	演習		◎			15	1	必修	左記の授業科目18単位を必ず履修し、修得すること
			幼児と人間関係	演習	◎				15	1	必修	
			幼児と環境	演習			◎		15	1	必修	
			幼児と言葉	演習	◎				15	1	必修	
			幼児と表現A	演習		◎			15	1	必修	
	表現	幼児と表現B	演習		◎			15	1	必修		
		幼児と表現C	演習		◎			15	1	必修		
	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)	保育内容総論	演習	◎				30	2	必修		
		保育内容(健康)の指導法	演習		◎			15	1	必修		
		保育内容(人間関係)の指導法	演習	◎				15	1	必修		
		保育内容(環境)の指導法	演習			◎		15	1	必修		
		保育内容(言葉)の指導法	演習		◎			15	1	必修		
		保育内容(造形表現)の指導法	演習		◎			15	1	必修		
		保育内容(音楽表現)の指導法	演習		◎			15	1	必修		
保育内容(身体表現)の指導法		演習		◎			15	1	必修			
保育内容総合演習	演習				◎		30	2	必修			
教育に関する基礎的理解に関する科目	10	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	講義	◎				30	2	必修	左記の授業科目12単位を必ず履修し、修得すること	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む)	講義		◎			30	2	必修		
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む)	講義			◎		30	2	必修		
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	講義	◎				30	2	必修		
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	講義		◎			30	2	必修		
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む)	講義			◎		30	2	必修		
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む)	講義				◎	30	2	必修		
道徳教育及び時間等に関する指導的指導法	4	幼児理解の理論及び方法	演習		◎			30	2	必修	左記の授業科目5単位を必ず履修し、修得すること	
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	演習		◎			15	1	必修		
		保育・教育相談	演習		◎			15	1	必修		
に教科目に関する実践	5	教育実習	実習			◎		180	4	必修	左記の授業科目8単位を必ず履修し、修得すること	
		教育実習指導	演習			◎		30	2	必修		
		教職実践演習	演習				◎	30	2	必修		
大学が独自に設定する科目	他欄の余剰単位含む	音楽Ⅰ	演習	◎				30	1	必修	左記の授業科目から8単位以上を履修し、修得すること	
		音楽Ⅱ	演習	◎				30	1	必修		
		音楽Ⅲ	演習		○			30	1	選択		
		音楽Ⅳ	演習			○		30	1	選択		
		図画工作Ⅰ	演習			◎		30	1	必修		
		図画工作Ⅱ	演習			◎		30	1	必修		
		体育Ⅰ	演習			◎		30	1	必修		
		体育Ⅱ	演習			◎		30	1	必修		
		総合表現	演習				○	60	2	選択		
		表現活動研究	演習				○	30	1	選択		
		乳幼児保育Ⅰ	講義			○		30	2	選択		
		身体機能と障害	演習		○			30	2	選択		
		知的発達と障害	講義		○			30	2	選択		

履修方法

幼稚園教諭一種免許状取得のために必要な修得単位数は下記の59単位とする。

①教職教育科目 計51単位

④別表1の共通教育科目から計8単位

日本国憲法2単位

健康スポーツA、健康スポーツB 計2単位

English Language Program 1、English Language Program 2 計2単位

コンピュータ演習Ⅰ、コンピュータ演習Ⅱ 計2単位



表2 保育士の資格を取得するために必要な授業科目及び単位数

保育士を養成する学校の修業教科目 (平成13年厚生労働省告示第198号)		R3年 子ども学科における開設科目等			備考		
教育内容	授業科目等の名称	授業の方法	配当単位数	開講時間数			
教養科目	外国語	English Language Program 1	演習	1	30	左記の授業科目を必ず履修し、 修得すること。  12単位	
		English Language Program 2	演習	1	30		
	体育	スポーツ科学	講義	1	15		
		健康スポーツA	実技	1	30		
	その他	心理学	講義	2	30		
		日本国憲法	講義	2	30		
		人文・社会科学要論	講義	2	30		
	自然科学要論	講義	2	30			
必修科目 5 1	保育の本質・目的に関する科目	保育原理	保育原理	講義	2	30	左記の授業科目を必ず履修し、 修得すること。  62単位
		教育原理	教育基礎論	講義	2	30	
		子ども家庭福祉	児童・家庭福祉 I	講義	2	30	
		社会福祉	社会福祉の原理と政策 I	講義	2	30	
		子ども家庭支援論	子ども家庭支援論	講義	2	30	
		社会的養護 I	社会的養護 I	講義	2	30	
		保育者論	教師論	講義	2	30	
	保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	教育心理学	講義	2	30	
		子ども家庭支援の心理学	子ども家庭支援の心理学	講義	2	30	
		子どもの理解と援助	幼児理解の理論と方法	演習	2	30	
		子どもの保健	子どもの保健	講義	2	30	
		子どもの食と栄養	子どもの食と栄養 I	演習	1	15	
		子どもの食と栄養 II	演習	1	15		
	保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	カリキュラム論	講義	2	30	
		保育内容総論	保育内容総論	演習	2	30	
		保育内容演習	幼児と健康	演習	1	15	
			幼児と人間関係	演習	1	15	
			幼児と環境	演習	1	15	
			幼児と言葉	演習	1	15	
			幼児と表現A	演習	1	15	
			幼児と表現B	演習	1	15	
		保育内容の理解と方法	幼児と表現C	演習	1	15	
			保育内容(健康)の指導法	演習	1	15	
			保育内容(人間関係)の指導法	演習	1	15	
			保育内容(環境)の指導法	演習	1	15	
			保育内容(言葉)の指導法	演習	1	15	
			保育内容(音楽表現)の指導法	演習	1	15	
			保育内容(造形表現)の指導法	演習	1	15	
			保育内容(身体表現)の指導法	演習	1	15	
		保育内容総合演習	演習	2	30		
		乳児保育 I	乳幼児保育 I	講義	2	30	
		乳児保育 II	乳幼児保育 II	演習	2	30	
		子どもの健康と安全	子どもの健康と安全	演習	1	15	
障害児保育	子どもの障害と支援	演習	2	30			
社会的養護 II	社会的養護 II	演習	2	30			
子育て支援	子ども家庭支援演習	演習	1	15			
保育実習	保育実習 I	保育実習 I A	実習	2	90		
		保育実習 I B	実習	2	90		
	保育実習指導 I	保育実習指導 I A	演習	1	30		
		保育実習指導 I B	演習	1	30		
総合演習	保育実践演習	演習	2	30			
保育に関する科目 (上記の系列より科目設定)  ※18単位以上の開講必要	保育の本質・目的に関する科目	社会福祉の原理と政策 II	講義	2	30	左記の授業科目から2単位以上履修し、 修得すること。	
		児童・家庭福祉 II	講義	2	30		
		地域福祉と包括的支援体制 I	講義	2	30		
		地域福祉と包括的支援体制 II	講義	2	30		
	保育の対象の理解に関する科目	子ども学概論	講義	2	30	左記の授業科目から2単位以上履修し、 修得すること。	
		身体機能と障害	講義	2	30		
		知的発達と障害	講義	2	30		
	保育の内容・方法に関する科目	臨床心理学	講義	2	30	左記の授業科目から2単位以上履修し、 修得すること。	
		総合表現	演習	2	60		
		表現活動研究	演習	1	30		
保育実習 II 又は III	多文化保育	演習	1	15	左記の授業科目から2単位以上履修し、 修得すること。		
	保育実習 II	実習	2	90			
	保育実習 III	実習	2	90			
保育実習指導 II 又は III	保育実習指導 II	演習	2	30	保育実習 II 及び保育実習指導 II、または、 保育実習 III 及び保育実習指導 III のいずれ かを履修し、修得すること。		
	保育実習指導 III	演習	2	30			

(注) 1. 他大学における授業科目の履修等については、学則第36条第3項、第37条第2項及び第38条第2項中の「60単位」は、「30単位」と読み替えてこの表を適用する。 2. 子ども学科以外の学生は、原則として子ども学科の専門科目の演習・実習の授業科目を履修できない。

(8) 子ども学科 カリキュラムマップ及びカリキュラムツリー

授業科目の名称		学位授与の方針に対する関与の程度 ◎:各方針と関係が深い科目 ○:各方針と関係する科目								
		A	B	C-1	C-2	D	E	F	G	
コア1	教育の基礎	教育基礎論	◎		◎					
		教師論		◎	○					
		教育と社会	◎		◎					
		教育心理学	◎		◎					
		特別支援教育の理解			◎					
		カリキュラム論			○					
		幼児教育方法論			○		◎			
		幼児理解の理論と方法			◎					
		保育・教育相談		◎	○					
		保育・教職実践演習			◎					
	領域と指導法	幼児と健康				◎				
		幼児と人間関係				◎				
		幼児と環境				◎				
		幼児と言葉				◎				
		幼児と表現A				◎				
		幼児と表現B				◎				
		幼児と表現C				◎				
		保育内容総論				◎				
		保育内容(健康)の指導法				○	◎			
		保育内容(人間関係)の指導法				○	◎			
コア2	保育と福祉	保健福祉学		◎						
		保育原理			◎					
		社会福祉の原理と政策Ⅰ		◎		◎				
		社会福祉の原理と政策Ⅱ			◎					
		児童・家庭福祉Ⅰ	◎							
		児童・家庭福祉Ⅱ			◎					
		社会的養護Ⅰ			◎					
		社会的養護Ⅱ			◎					
		子ども家庭支援の心理学			◎					
		子どもの保健			◎					
スキルアップ	基礎技能	子どもの食と栄養Ⅰ			◎					
		子どもの食と栄養Ⅱ				◎				
		乳幼児保育Ⅰ			◎					
		乳幼児保育Ⅱ				◎				
		子どもの健康と安全			◎					
		子ども家庭支援論			◎					
		子ども家庭支援演習				◎				
		子どもの障害と支援				◎				
		身体機能と障害				◎				
		知的発達と障害				◎				
フィールドチャレンジ	教育実習・保育実習	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ			◎					
		地域福祉と包括的支援体制Ⅱ			◎					
		子ども学概論			◎					
		臨床心理学				◎				
		音楽Ⅰ				◎				
		音楽Ⅱ				◎				
		音楽Ⅲ				◎				
		音楽Ⅳ				◎				
		図画工作Ⅰ				◎				
		図画工作Ⅱ				◎				
研究	研究	体育Ⅰ			◎					
		体育Ⅱ			◎					
		総合表現			◎				○	
		表現活動研究			◎					
		教育実習				◎			○	
		教育実習指導				◎				
		保育実習ⅠA				◎			○	
		保育実習指導ⅠA				◎				
		保育実習ⅠB				◎			○	
		保育実習指導ⅠB				◎				
保育実習Ⅱ					◎		○			
保育実習指導Ⅱ					◎					
保育実習Ⅲ					◎		○			
保育実習指導Ⅲ					◎					
研究	研究	子ども臨床基礎演習Ⅰ		◎	◎				◎	
		子ども臨床基礎演習Ⅱ		◎	◎				◎	
		地域保健福祉演習							○	◎
		子育て支援プロジェクト研究A							○	◎
		子育て支援プロジェクト研究B							○	◎
		海外研修(保健福祉学)							◎	
		多文化保育							◎	
		フードビジネス学			○	○				
		未来型プロジェクト<食>		○						○
		入門ゼミナール		◎						
基礎ゼミナール					◎					
専門ゼミナール						◎				
研究ゼミナール							◎			

DP(学位授与の方針)

A 【人間・社会・自然の理解】  
人文科学、社会科学、自然科学、健康科学の知識を通して、人間・社会・自然を理解する力を身に付けている。

B 【倫理観】  
幼児教育・保育に携わる専門職業人として必要な倫理観と豊かな人間性を身に付けている。

C-1 【専門的知識・技能1】  
幼児教育学・保育学の専門職として、幅広く社会に貢献するために必要な基礎的知識と技能を身に付けている。

C-2 【専門的知識・技能2】  
幼児教育・保育について、科学的・論理的な視点による事象の理解、及び課題解決のための応用的な専門的知識と技能を身に付けている。

D 【論理的思考力・判断力・実践力】  
子どもの豊かな育成環境を考え創造し表現する能力、及び幼児教育・保育の知識・技能を活用して実践的な援助や判断ができる能力を身に付けている。

E 【課題発見・解決力】【主体性】  
幼児教育学・保育学、並びにその関連分野における課題を発見し解決できる能力を身に付けている。

F 【コミュニケーション力】  
地域の様々な人との交流から学び、課題に対して主体的に介入できるコミュニケーションの技術を身に付けている。

G 【多様な人々と協働する力】  
保健、医療、福祉、教育関連分野で貢献するための課題解決に必要な自己管理能力及びマネジメント力や、自他の役割を理解し、多様な人々と協調・協働して課題を解決する力を身に付けている。

DP (学位授与 方針)	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
修学基礎	大学で学ぶ フレッシュマンセミナー	社会を生きる力を学ぶ						
A	教育基礎論	教育心理学	児童・家庭福祉Ⅰ	教育と社会	人文・社会科学科目群			
					自然科学科目群			
					健康科学科目群			
					複合PBL科目群			
B	保健福祉学 子ども臨床基礎演習Ⅰ	日本国憲法 社会福祉の原理と政策Ⅰ 子ども臨床基礎演習Ⅱ 入門ゼミナール	保育・教育相談	教師論	未来型プロジェクト<食>			
	教育基礎論 子ども臨床基礎演習Ⅰ	教育心理学 保育原理 子ども臨床基礎演習Ⅱ	特別支援教育の理解 保育・教育相談 社会的養護Ⅰ 子どもの保健	教師論 教育と社会 幼児理解の理論と方法 社会的養護Ⅱ 子ども家庭支援の心理学 児童・家庭福祉Ⅱ 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	カリキュラム論 子どもの食と栄養Ⅰ 乳幼児保育Ⅰ 子ども学概論 社会福祉の原理と政策Ⅱ フードビジネス学	子どもの健康と安全 子ども家庭支援論	幼児教育方法論 保育・教職実践演習	
C-2	音楽Ⅰ 身体機能と障害	保育内容総論 幼児と人間関係 保育内容(人間関係)の指導法 幼児と言葉 社会福祉の原理と政策Ⅰ 音楽Ⅱ 知的発達と障害	幼児と表現A 保育内容(音楽表現)の指導法 幼児と表現C 保育内容(身体表現)の指導法 保育内容(言葉)の指導法	幼児と表現B 保育内容(造形表現)の指導法 幼児と健康 保育内容(健康)の指導法 音楽Ⅲ 保育実習ⅠA 保育実習指導ⅠA	保育内容総合演習 音楽Ⅳ 図画工作Ⅰ 体育Ⅰ 臨床心理学 教育実習 保育実習指導ⅠB フードビジネス学	幼児と環境 保育内容(環境)の指導法 子どもの食と栄養Ⅱ 乳幼児保育Ⅱ 子どもの障害と支援 図画工作Ⅱ 体育Ⅱ 保育実習ⅠB 保育実習指導ⅠB	子ども家庭支援演習 総合表現 表現活動研究	
	コンピュータ演習Ⅰ 健康スポーツA	コンピュータ演習Ⅱ 健康スポーツB 保育内容(人間関係)の指導法	保育内容(音楽表現)の指導法 保育内容(身体表現)の指導法 保育内容(言葉)の指導法 基礎ゼミナール	保育内容(造形表現)の指導法 保育内容(健康)の指導法	カリキュラム論 保育内容総合演習	保育内容(環境)の指導法	幼児教育方法論 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ	
D					カリキュラム論 保育内容総合演習	保育内容(環境)の指導法	幼児教育方法論 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ	
E					専門ゼミナール	研究ゼミナール		
F	ELP1 ELP2 心理学 子ども臨床基礎演習Ⅰ	ELP3 ELP4 子ども臨床基礎演習Ⅱ 海外研修(保健福祉学)(集中)	ELP5	ELP6 多文化保育				
	子育て支援プロジェクト研究A(集中) 社会連携要論 地域資源論	子育て支援プロジェクト研究B(集中) 地域インターンシップ			地域保健福祉演習(集中)	未来型プロジェクト<食>		
G	社会連携要論 地域資源論		子育て支援プロジェクト研究B(集中) 地域インターンシップ		地域保健福祉演習(集中)		未来型プロジェクト<食>	
社会連携科目群								
共通教育科目		子ども学科必修科目	現代福祉学科関連科目	子ども学科選択科目				

(9) 子ども学科履修モデル

1) 幼稚園・保育所・認定こども園の保育者をを目指す場合  
(幼稚園教諭一種免許状、及び保育士資格の両方を取得する)

	1年次		2年次		3年次		4年次	
共通教育科目	◎ 大学で学ぶ[共]	1	◎ English Language Program 5[共]	1				
	◎ フレッシュマンセミナー[共]	1	◎ English Language Program 6[共]	1				
	◎ 人文・社会科学要論[共]	2						
	◎ 心理学[共]	2						
	◎ 日本国憲法[共]	2						
	◎ 自然科学要論[共]	2						
	◎ コンピュータ演習Ⅰ[共]	1						
	◎ コンピュータ演習Ⅱ[共]	1						
	◎ 健康スポーツA[共]	1						
	◎ 健康スポーツB[共]	1						
	◎ スポーツ科学[共]	1						
	◎ English Language Program 1[共]	1						
	◎ English Language Program 2[共]	1						
	◎ English Language Program 3[共]	1						
	◎ English Language Program 4[共]	1						
	◎ 社会連携要論[共]	1						
	◎ 地域創世演習[共]	2						
	小計	22	小計	2	小計	0	小計	0
全カテゴリーから4単位								4
共通教育科目合計								28
専門科目	◎ 教育基礎論	2	◎ 教師論	2	◎ カリキュラム論	2	◎ 幼児教育方法論	2
	◎ 教育心理学	2	◎ 教育と社会	2	◎ 幼児と環境	1	◎ 保育・教職実践演習	2
	◎ 幼児と人間関係	1	◎ 特別支援教育の理解	2	◎ 保育内容（環境）の指導法	1	○ 子ども家庭支援演習	1
	◎ 幼児と言葉	1	◎ 幼児理解の理論と方法	2	◎ 保育内容総合演習	1	○ 総合表現	2
	◎ 保育内容総論	2	◎ 保育・教育相談	1	○ 子どもの食と栄養Ⅰ	1	○ 保育実習Ⅱ	2
	◎ 保育内容（人間関係）の指導法	1	◎ 幼児と健康	1	○ 子どもの食と栄養Ⅱ	1	○ 保育実習指導Ⅱ	2
	◎ 保健福祉学	2	◎ 幼児と表現A	1	○ 乳幼児保育Ⅰ	2	◎ 研究ゼミナール	4
	◎ 保育原理	2	◎ 幼児と表現B	1	○ 乳幼児保育Ⅱ	1		
	◎ 社会福祉の原論と政策Ⅰ	2	◎ 幼児と表現C	1	○ 子どもの健康と安全	1		
	◎ 音楽Ⅰ	1	◎ 保育内容（健康）の指導法	1	○ 子ども家庭支援論	2		
	◎ 音楽Ⅱ	1	◎ 保育内容（言葉）の指導法	1	○ 子どもの障害と支援	2		
	◎ 子ども臨床基礎演習Ⅰ	2	◎ 保育内容（音楽表現）の指導法	1	○ 子ども学概論	2		
	◎ 子ども臨床基礎演習Ⅱ	1	◎ 保育内容（造形表現）の指導法	1	○ 音楽Ⅳ	1		
	○ 子育て支援プロジェクト演習A	1	◎ 保育内容（身体表現）の指導法	1	◎ 図画工作Ⅰ	1		
	◎ 入門ゼミナール	1	◎ 児童・家庭福祉Ⅰ	2	◎ 図画工作Ⅱ	1		
			◎ 社会的養護Ⅰ	2	◎ 体育Ⅰ	1		
			◎ 社会的養護Ⅱ	2	◎ 体育Ⅱ	1		
			◎ 子ども家庭支援の心理学	2	◎ 教育実習	4		
			◎ 子どもの保健	2	◎ 教育実習指導	2		
			○ 知的発達と障害	2	○ 保育実習ⅠB	2		
			○ 音楽Ⅲ	1	○ 保育実習指導ⅠB	2		
			◎ 保育実習ⅠA	2	◎ 専門ゼミナール	2		
			◎ 保育実習指導ⅠA	2				
		○ 子育て支援プロジェクト演習B	1					
		○ 多文化保育	2					
		◎ 基礎ゼミナール	2					
	小計	22	小計	40	小計	34	小計	15
専門科目及び下記の履修可能な選択科目の中から10単位								0
専門科目合計単位数								111
合計卒業単位数								139
履修可能な 選択科目	社会福祉学専攻専門科目	10単位まで履修可能（但し、講義科目のみ）						
	他学部・他学科科目	4単位まで履修可能						

2) 児童養護施設・児童発達支援センターなどの施設保育士を目指す場合  
(幼稚園教諭一種免許状、及び保育士資格の両方を取得する)

	1年次		2年次		3年次		4年次		
共通教育科目	◎ 大学で学ぶ[共]	1	◎ English Language Program 5[共]	1					
	◎ フレッシュマンセミナー[共]	1	◎ English Language Program 6[共]	1					
	◎ 人文・社会科学要論[共]	2							
	◎ 心理学[共]	2							
	◎ 日本国憲法[共]	2							
	◎ 自然科学要論[共]	2							
	◎ コンピュータ演習Ⅰ[共]	1							
	◎ コンピュータ演習Ⅱ[共]	1							
	◎ 健康スポーツA[共]	1							
	◎ 健康スポーツB[共]	1							
	◎ スポーツ科学[共]	1							
	◎ English Language Program 1[共]	1							
	◎ English Language Program 2[共]	1							
	◎ English Language Program 3[共]	1							
	◎ English Language Program 4[共]	1							
	◎ 社会連携要論[共]	1							
	◎ 地域創世演習[共]	2							
	小計	22	小計	2	小計	0	小計	0	
全カテゴリーから4単位								4	
共通教育科目合計								28	
専門科目	◎ 教育基礎論	2	◎ 教師論	2	◎ カリキュラム論	2	◎ 幼児教育方法論	2	
	◎ 教育心理学	2	◎ 教育と社会	2	◎ 幼児と環境	1	◎ 保育・教職実践演習	2	
	◎ 幼児と人間関係	1	◎ 特別支援教育の理解	2	◎ 保育内容（環境）の指導法	1	◎ 子ども家庭支援演習	1	
	◎ 幼児と言葉	1	◎ 幼児理解の理論と方法	2	◎ 保育内容総合演習	1	◎ 総合表現	2	
	◎ 保育内容総論	2	◎ 保育・教育相談	1	◎ 社会福祉の原理と政策Ⅱ	2	◎ 保育実習Ⅲ	2	
	◎ 保育内容（人間関係）の指導法	1	◎ 幼児と健康	1	◎ 子どもの食と栄養Ⅰ	1	◎ 保育実習指導Ⅲ	2	
	◎ 保健福祉学	2	◎ 幼児と表現A	1	◎ 子どもの食と栄養Ⅱ	1	◎ 研究ゼミナール	4	
	◎ 保育原理	2	◎ 幼児と表現B	1	◎ 乳幼児保育Ⅰ	2			
	◎ 社会福祉の原論と政策Ⅰ	2	◎ 幼児と表現C	1	◎ 乳幼児保育Ⅱ	1			
	◎ 音楽Ⅰ	1	◎ 保育内容（健康）の指導法	1	◎ 子どもの健康と安全	1			
	◎ 音楽Ⅱ	1	◎ 保育内容（言葉）の指導法	1	◎ 子ども家庭支援論	2			
	◎ 子ども臨床基礎演習Ⅰ	2	◎ 保育内容（音楽表現）の指導法	1	◎ 子ども家庭支援	2			
	◎ 子ども臨床基礎演習Ⅱ	1	◎ 保育内容（造形表現）の指導法	1	◎ 子ども学概論	2			
	◎ 子育て支援プロジェクト演習A	1	◎ 保育内容（身体表現）の指導法	1	◎ 臨床心理学	1			
	◎ 入門ゼミナール	1	◎ 児童・家庭福祉Ⅰ	2	◎ 図画工作Ⅰ	1			
			◎ 児童・家庭福祉Ⅱ	2	◎ 図画工作Ⅱ	1			
			◎ 社会的養護Ⅰ	2	◎ 体育Ⅰ	1			
			◎ 社会的養護Ⅱ	2	◎ 体育Ⅱ	1			
			◎ 子ども家庭支援の心理学	2	◎ 教育実習	4			
			◎ 子どもの保健	2	◎ 教育実習指導	2			
			◎ 身体機能と障害	2	◎ 保育実習ⅠB	2			
			◎ 知的発達と障害	2	◎ 保育実習指導ⅠB	2			
			◎ 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2	◎ 専門ゼミナール	2			
			◎ 保育実習ⅠA	2					
			◎ 保育実習指導ⅠA	2					
			◎ 子育て支援プロジェクト演習B	1					
			◎ 多文化保育	2					
			◎ 基礎ゼミナール	2					
		小計	22	小計	45	小計	36	小計	15
	専門科目及び下記の履修可能な選択科目の中から10単位								0
	専門科目合計単位数								118
	合計卒業単位数								146
	履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園教諭一種免許状の取得は卒業要件である。</li> <li>・ 幼稚園教諭免許状取得のための履修科目は表4を参照のこと。</li> <li>・ 幼稚園教育実習の履修条件は、(5) 資格取得1)⑤を参照のこと</li> <li>・ 保育・教職実践演習の履修条件は、(5) 資格取得1)⑥を参照のこと</li> </ul>							
履修可能な選択科目	社会福祉学専攻専門科目	10単位まで履修可能（但し、講義科目のみ）							
	他学部・他学科科目	4単位まで履修可能							

